

平成 27 年度
栃木県観光動態調査

報告書

平成 28 年 3 月
栃木県産業労働観光部観光交流課

目次

第1章 調査の概要	1
1.調査の目的及び方法	1
2.調査報告書の見方	3
第2章 観光客調査 調査結果.....	7
1.日帰り客.....	7
(1)県全体	7
①平成27年度調査結果	7
②過去調査との比較.....	13
(2)エリアごと	16
i.那須エリア	16
ii.日光エリア	24
iii.県央エリア	32
iv.県東エリア	40
v.県南エリア	48
2.宿泊客	56
(1)県全体	56
①平成27年度調査結果	56
②過去調査との比較.....	62
(2)エリアごと	66
i.那須エリア	66
ii.日光エリア	71
iii.県央エリア	76
iv.県東エリア	81
v.県南エリア	86
参考資料.....	91

第1章 調査の概要

1. 調査の目的及び方法

(1) 調査目的

栃木県を訪れる旅行者の流動実態について、観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」、「観光入込客統計に関する共通基準調査要領」等に基づき、栃木県を訪れる観光客に対するアンケートを行い、栃木県の観光実態を把握し、観光動向を分析する。

(2) 調査概要

①観光地点調査

調査手法：県内の観光地点（15カ所）にて調査員が聞き取り（土日祝日から1日）

調査地点：

エリア	調査観光地点名
那須エリア 計3カ所	①道の駅那須高原友愛の森
	②那須ガーデンアウトレット
	③アグリパル塩原
日光エリア 計3カ所	④二社一寺（日光東照宮）
	⑤華厳の滝（県営華厳第2駐車場）
	⑥東武ワールドスクエア
県央エリア 計3カ所	⑦道の駅うつのみや ろまんちっく村
	⑧道の駅きつれがわ
	⑨道の駅ばとう
県東エリア 計3カ所	⑩道の駅「もてぎ」
	⑪陶芸メッセ・益子
	⑫道の駅はが
県南エリア 計3カ所	⑬足利学校
	⑭佐野プレミアム・アウトレット
	⑮とちぎ山車会館

②調査対象

調査地点に訪れる全ての方（日本人のみ）

③調査時期

第1回：平成27年6月

第2回：平成27年8月／9月

第3回：平成27年11月

第4回：平成28年1月

(3) アンケート回答状況

有効サンプル数：3,266 票

	第一回調査	第二回調査	第三回調査	第四回調査	合計
観光地点調査	768 件	863 件	840 件	795 件	3,266 件

①調査地点別回収結果

エリア	調査観光地点名	回収数	合計
那須エリア	①道の駅那須高原友愛の森	231	714
	②那須ガーデンアウトレット	241	
	③アグリパル塩原	242	
日光エリア	④二社一寺（日光東照宮）	241	726
	⑤華厳の滝（県営華厳第2駐車場）	251	
	⑥東武ワールドスクエア	234	
県央エリア	⑦道の駅うつのみや ろまんちっく村	247	669
	⑧道の駅きつれがわ	191	
	⑨道の駅ばとう	231	
県東エリア	⑩道の駅「もてぎ」	212	582
	⑪陶芸メッセ・益子	162	
	⑫道の駅はが	208	
県南エリア	⑬足利学校	172	575
	⑭佐野プレミアム・アウトレット	302	
	⑮とちぎ山車会館	101	

2. 調査報告書の見方

本調査では、構成比などの数値は、原則として単位未満四捨五入で表記しており、合計や積算などの計算値は、紙面上に表記された数値による計算値と一致しないことがある。

なお、件数が0件の項目については、グラフ上は非表示とする。

(1) 調査地域区分

今回の調査では、調査対象の観光地点の地域を以下のとおり区分した。

- ・ 那須、日光、県央、県東、県南の5エリア

なお、各観光地点に対する周辺地域の考え方は〈表1〉のとおり。

観光地点調査における調査地点と周辺地域の考え方

〈表1〉 調査観光地点周辺地域

観光地点 エリア	観光地点名	周辺地域の範囲
那須エリア	①道の駅那須高原友愛の森	那須町
	②那須ガーデンアウトレット	那須塩原市
	③アグリパル塩原	
日光エリア	④二社一寺（日光東照宮）	日光市
	⑤華厳の滝（県営華厳第2駐車場）	
	⑥東武ワールドスクエア	
県央エリア	⑦道の駅うつのみや ろまんちっく村	宇都宮市
	⑧道の駅きつれがわ	さくら市、高根沢町、那珂川町 那須烏山市
	⑨道の駅ばとう	那珂川町、那須烏山市
県東エリア	⑩道の駅「もてぎ」	真岡市、芳賀町、市貝町、益子町、茂木町
	⑪陶芸メッセ・益子	益子町
	⑫道の駅はが	真岡市、芳賀町、市貝町、益子町、茂木町
県南エリア	⑬足利学校	足利市
	⑭佐野プレミアム・アウトレット	佐野市
	⑮とちぎ山車会館	栃木市

(2) 集計内容

集計項目	集計方法	備考
お住まい	県全体 エリアごと エリア比較	回答者の住所を都道府県単位で集計し、栃木県を含む関東7都県、および福島県を表示、それ以外を「その他」として集計。
性別・年代別	県全体 エリアごと エリア比較	回答者の性別、および年代を集計。なお性別は男性、女性の2区分、年代は以下の5区分。 10・20代、30代、40代、50代、60代以上
栃木県での滞在時間	県全体 エリアごと エリア比較 エリア比較 (季節別/年代別)	栃木県内の最初の「目的地」から最終「目的地」を離れるまで時間を集計。なお区分は以下の5区分。 2時間以上～4時間未満 4時間以上～6時間未満 6時間以上～8時間未満 8時間以上～10時間未満 10時間以上
旅程	県全体 エリアごと	日帰り・県内のみの宿泊を集計
栃木県内での宿泊日数	県全体	今回の旅行(居住地を出てから居住地に戻るまで)の栃木県内での宿泊数を集計。なお区分は以下の5区分。 1泊、2泊、3泊、4泊、5泊以上
栃木県内での宿泊施設数	県全体	今回の旅行(居住地を出てから居住地に戻るまで)の宿泊した施設の数を集計。なお区分は以下の5区分。 1施設、2施設、3施設、4施設、5施設以上
栃木県内での利用宿泊施設数	県全体	宿泊施設の分類を集計。なお区分は10区分(具体的な項目は調査票参照)。
旅行先に選んだ理由	県全体 エリアごと エリア比較 エリア比較 (季節別/年代別)	調査地点の周辺地域を旅行先に選んだ理由を集計。なお区分は15区分(具体的な項目は調査票参照)。 ※「エリア比較」では選択肢「その他」「不明」は非表示。
同行者数	県全体 エリアごと エリア比較	今回の旅行の回答者を含む同行人数を集計。なお区分は以下の8区分。 1人、2人、3人、4人、5人、6～10人、11～30人、31人以上
同行者の関係	県全体 エリアごと エリア比較	今回の旅行の同行者の関係を集計。なお区分は8区分(具体的な項目は調査票参照)。
県外客の栃木県への来訪回数	県全体	栃木県への来訪回数を集計。なお区分は以下の5区分。 初めて、二回目、三回目、四回目、五回目以上
調査地域周辺への来訪回数	エリアごと エリア比較	調査地域周辺への来訪回数を集計。現在地周辺とは調査地点の「周辺地域」を示す。なお、観光地点調査の各観光地点に対する周辺地域の考え方はP.3<表2>の区分のとおり。
交通機関	県全体 エリアごと	今回の旅行で利用した交通機関を集計。なお区分は12区分(具体的な項目は調査票参照)。 選択肢で示した交通機関利用の有無を集計。旅程内で一度でも利用すれば集計の対象とし、二度以上使った場合も1として集計。

集計項目	集計方法	備考
立ち寄り 観光施設数	県全体 エリア比較	今回の旅行での立ち寄り先（これからの予定も含む）の合計数を集計。 ここで対象としている観光施設（地点数）は栃木県作成の『観光地点等名簿に掲載の観光地点等名』を参照している。そのため栃木県外の観光地点や下記のような観光施設とみなさない場所、不明確な場所は対象外としている。 ・ 宿泊施設、実家、友人の家 ・ コンビニ、飲食店 ・ 鉄道の駅、高速道路のサービスエリア ・ 宇都宮、日光、鬼怒川、那須などの地名 なお、調査に回答した観光地点はその数には含まない。 ※調査地点以外に立ち寄りがない場合は0地点と表す。
立ち寄り 観光施設	エリアごと	今回の旅行での立ち寄り先（これからの予定も含む）。上記「立ち寄り観光施設数」と同様、ここで対象としている観光施設は栃木県作成の『観光地点等名簿に掲載の観光地点等名』を参照している。
旅行先に選んだ 情報源	県全体 エリアごと	調査地点の周辺地域を旅行先として選んだ際の情報源を集計。なお区分は13区分（具体的な項目は調査票参照）。
旅行先を選んだ “決め手”となった 情報源	県全体 エリアごと	調査地点の周辺地域を旅行先として選んだ際の情報源のうち“決め手”となったものを集計。なお区分は13区分（具体的な項目は調査票参照）。
消費支出（平均）	県全体 エリアごと（問 9） エリア比較	栃木県内で消費した支出の総額およびその内訳を集計。内訳として表示する項目は以下の6項目。 県内交通費、宿泊費、土産代、飲食代、入場料、その他 なお、内訳項目のうちひとつでも記入がある場合には、それを総額とする。 県内交通費については、以下の考えかたにより集計。 回答者の回答がある場合：回答を集計。 交通費総額のみ回答の場合：居住地・立ち寄り地より県内外の距離を算出し按分し集計。 利用駅等のみ回答の場合：運賃等より類推し集計。
調査地域の総合満足 度／再来訪意向	県全体 エリアごと	総合的な満足度：調査地点の周辺地域への訪問後の総合満足度を5段階で回答。 また訪れたいか：調査地点の周辺地域への再来訪意向を5段階で回答。 ※「県全体」ではグラフの下に各項目の加重平均を表示。 加重平均：肯定意見「大いに（大変）～」を+2、「やや（ほぼ）～」を+1に、中間意見「どちらでもない」を0、否定意見「あまり（やや）～ない」を-1、「全く（大変）～ない」を-2に置き換えて算出した平均値で、+の数値で肯定的、-の数値で否定的な度合いとなる。

集計項目	集計方法	備考
項目別満足度（加重平均値）	エリアごと	（エリアごと） 調査地域に対する15の項目別の「満足度」についてまとめて表示。また、グラフの1行目には比較用として「調査地域の総合満足度」を表示し、グラフ右側には加重平均を表示。
調査地域の総合満足度・再来訪意向	エリアごと エリア比較（季節別/年代別）	（エリアごと） 調査地域の総合満足度と再来訪意向を加重平均値で表示。 （エリア比較） 季節別、年代別に調査地域の総合満足度と再来訪意向を加重平均値で表示。

(3) 集計対象サンプル数

調査区分	アンケート 回収状況	集計区分	
		日帰り客	宿泊客（県内）
全体	3,266	2,117	1,081
那須エリア	714	377	329
日光エリア	726	217	485
県央エリア	669	527	135
県東エリア	582	523	53
県南エリア	575	473	79

(5) 集計値の誤差について

- 集計値は小数点第2位を四捨五入とする。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- 基数となるべき実数はnとして表示した。その比率は、nを100.0%として算出した

第2章 観光客調査 調査結果

1. 日帰り客

(1) 県全体

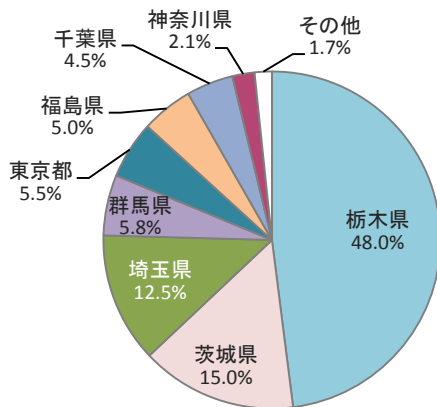
① 平成27年度調査結果

お住まいは「栃木県」が48.0%で最も多く、次いで「茨城県」が15.0%、「埼玉県」が12.5%であった。

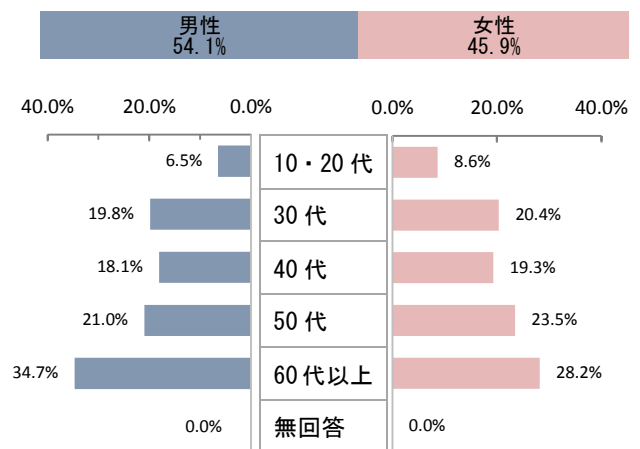
性別は、「男性」が54.1%、「女性」が45.9%であった。

年代は、男性は「60歳代以上」が34.7%で最も多く、女性は「60歳代」が28.2%で最も多かった。

お住まい (n=2117)

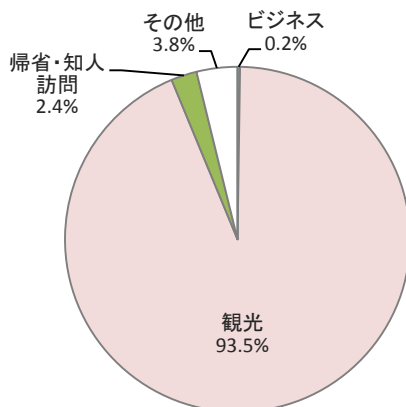


性別・年代 (n=2117)

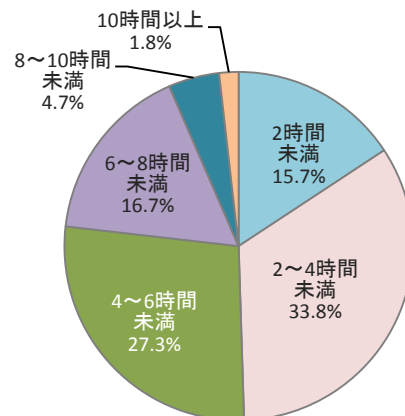


旅行の主要目的は、「観光」が93.5%と9割を超えた。栃木県での滞在時間は、「2時間以上4時間未満」が33.8%で最も多く、次いで「4時間以上6時間未満」が27.3%であった。平均滞在時間は、4時間18分であった。

旅行の主要目的 (n=2117)



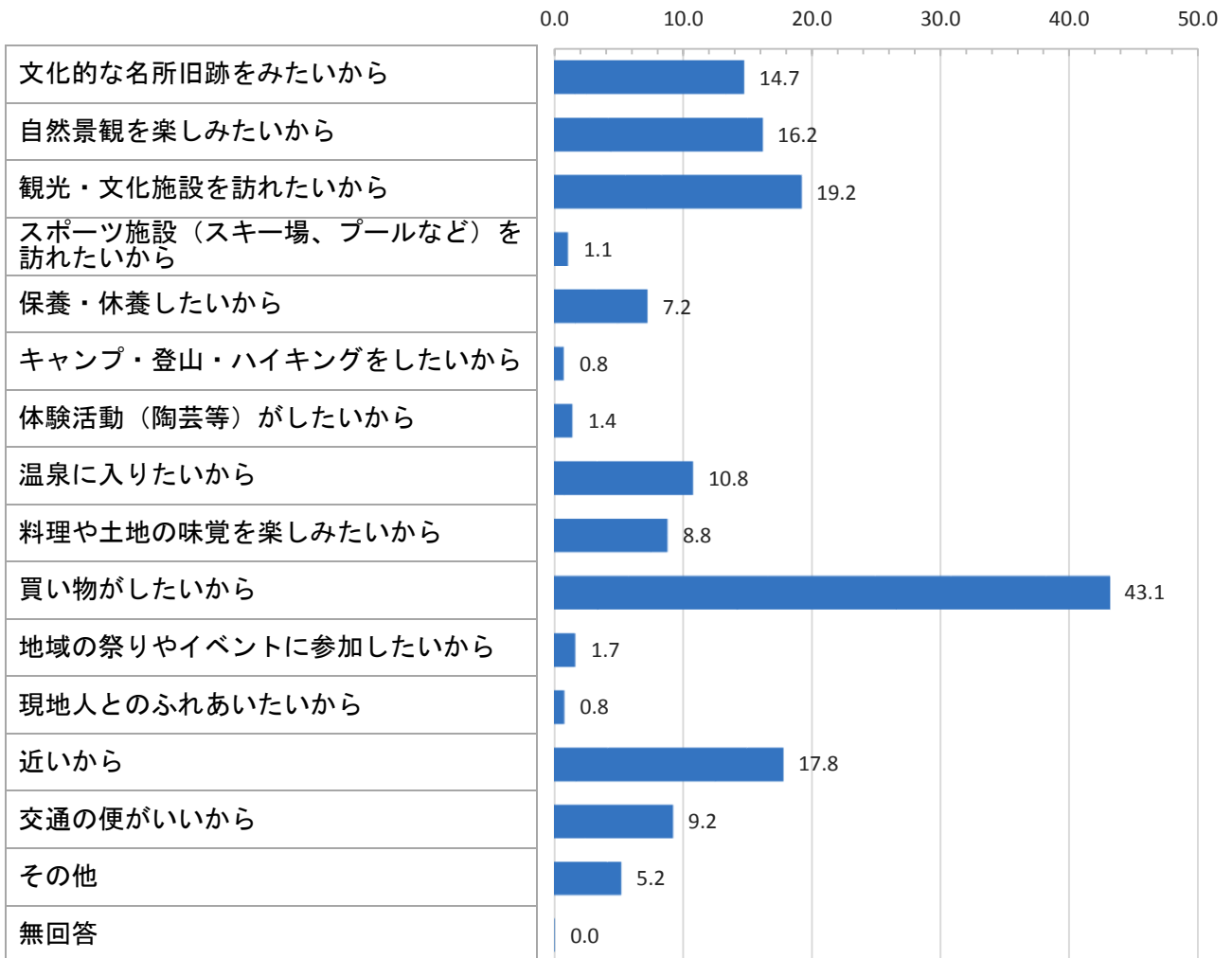
栃木県での滞在時間 (n=2117)



平均滞在時間：4時間18分

旅行先に選んだ理由は、「買い物がしたいから」が43.1%で最も多く、次いで「観光・文化施設を訪れたいから」が19.2%、「近いから」が17.8%、「自然景観を楽しみたいから」が16.2%であった。

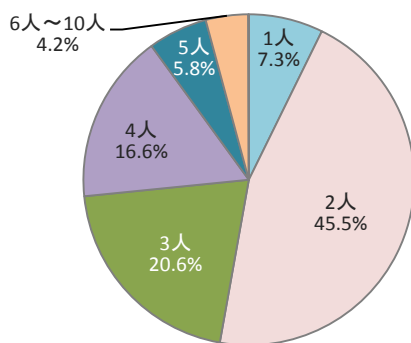
旅行先に選んだ理由（複数回答）（n=2117）



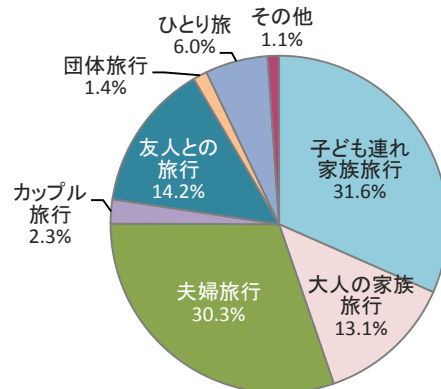
回答者を含む同行者数は、「2人」が45.5%で最も多く、次いで「3人」が20.6%、「4人」が16.6%であった。

同行者の関係は、「子ども連れの家族旅行」が31.6%で最も多く、次いで「夫婦旅行」が30.3%、「友人との旅行」が14.2%、「大人の家族旅行」が13.1%であった。

同行者数 ※回答者を含む（n=2117）

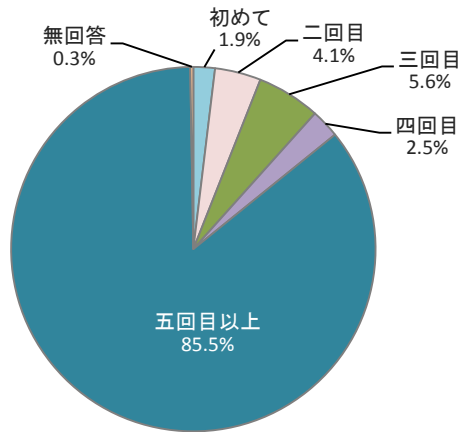


同行者の関係（n=2117）



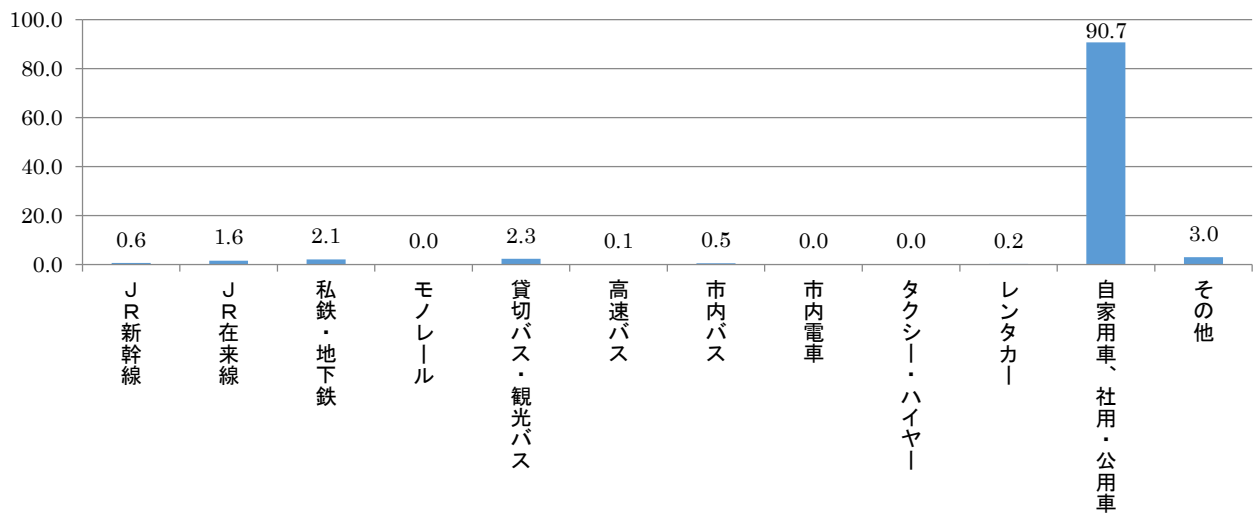
県外客の栃木県への来訪回数は、「五回目以上」が85.5%と8割を超えた。一方、「初めて」は1.9%であった。

県外客の栃木県への来訪回数 (n=1100)



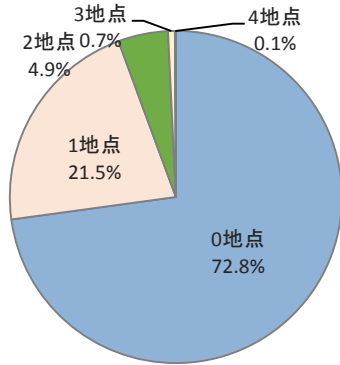
利用交通機関は、「自家用車、車用・公用車」が90.7%で大半を占めた。その他の交通機関としては「貸切バス・観光バス」が2.3%、「私鉄・地下鉄」が2.1%、「JR在来線」が1.6%であった。

利用交通機関 (複数回答) (n=2117)

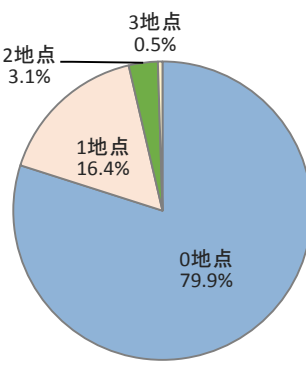


立ち寄り観光施設は、「0 地点（調査地点以外立ち寄りなし）」が 72.8%で最も多く、次いで「1 地点」が 21.5%であった。調査地点も含め 1 地点～2 地点が大半であった。

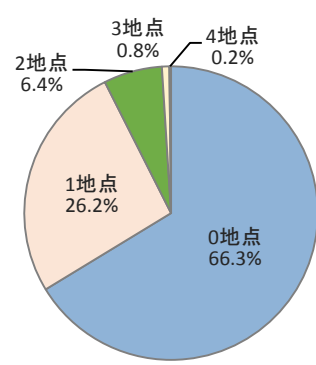
立ち寄り観光施設数
(n=2117)



県内容の立ち寄り観光施設数
(n=1016)



県外客の立ち寄り観光施設数
(n=1101)



旅行先に選んだ情報源は、「以前来訪した際の自身の経験」が 67.5%で最も多く、次いで「家族や友人知人からの紹介・推奨」が 16.4%であった。

“決めて”となった情報源も、旅行先に選んだ情報源とほぼ同様の傾向で、「以前来訪した際の自身の経験」が 59.9%で最も多く、次いで「家族や友人知人からの紹介・推奨」が 11.8%であった。

旅行先に選んだ情報源
(複数回答) (n=2117)

“決め手”となった情報源
(n=2117)

80.0 60.0 40.0 20.0 0.0

0.0 20.0 40.0 60.0 80.0



旅行先を選んだ“決め手”となった情報源 年代別

NO.	全体 (n=2117)	
1	以前来訪した際の自身の経験	59.9
2	家族や友人知人からの紹介・推奨	11.8
3	特に理由はないが、なんとなく	5.8
4	地域や施設の公式 Web サイトの情報	5.3
5	旅行雑誌・ガイドブックの記事	4.0
6	個人のブログやインターネット掲示板	4.0
7	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	3.2
8	自分の意志外 (団体・ビジネス・帰省など)	1.6
9	その他の Web サイトの情報	1.4
10	旅行会社の旅行パンフレット	0.9
11	割引券や優待券	0.7
12	旅行会社の店員からの勧め	0.2

NO.	10・20代 (n=158)	
1	以前来訪した際の自身の経験	39.9
2	家族や友人知人からの紹介・推奨	19.6
3	個人のブログやインターネット掲示板	10.1
4	地域や施設の公式 Web サイトの情報	7.6
5	特に理由はないが、なんとなく	7.6
6	旅行雑誌・ガイドブックの記事	7.0
7	その他の Web サイトの情報	2.5
8	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	1.9
9	自分の意志外 (団体・ビジネス・帰省など)	1.9
10	旅行会社の旅行パンフレット	1.3
11	割引券や優待券	0.6
12	旅行会社の店員からの勧め	0.0

NO.	30代 (n=425)	
1	以前来訪した際の自身の経験	59.8
2	家族や友人知人からの紹介・推奨	12.5
3	地域や施設の公式 Web サイトの情報	5.9
4	特に理由はないが、なんとなく	5.4
5	個人のブログやインターネット掲示板	5.2
6	旅行雑誌・ガイドブックの記事	2.8
7	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	2.8
8	その他の Web サイトの情報	2.6
9	割引券や優待券	0.9
10	自分の意志外 (団体・ビジネス・帰省など)	0.9
11	旅行会社の旅行パンフレット	0.5
12	旅行会社の店員からの勧め	0.0

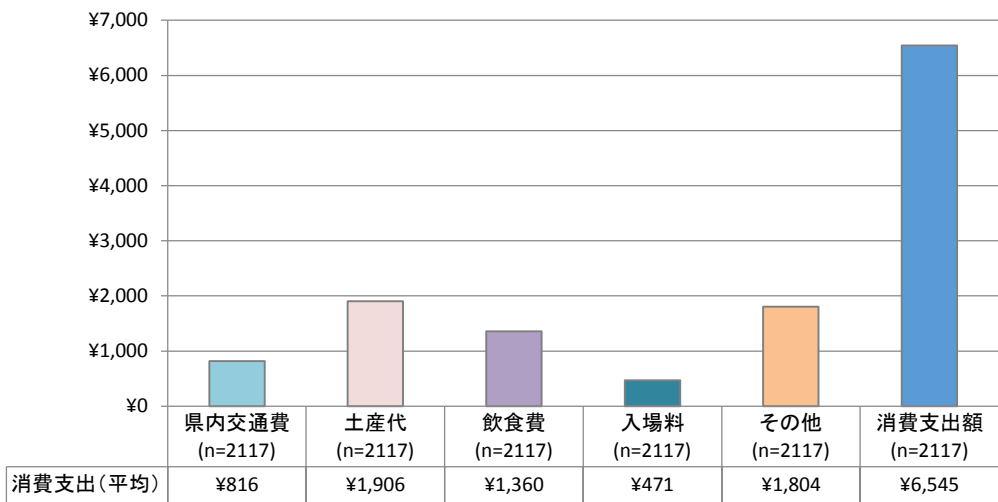
NO.	40代 (n=395)	
1	以前来訪した際の自身の経験	60.0
2	家族や友人知人からの紹介・推奨	8.1
3	地域や施設の公式 Web サイトの情報	7.6
4	特に理由はないが、なんとなく	7.6
5	個人のブログやインターネット掲示板	5.6
6	旅行雑誌・ガイドブックの記事	4.1
7	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	2.8
8	自分の意志外 (団体・ビジネス・帰省など)	1.5
9	旅行会社の旅行パンフレット	0.8
10	割引券や優待券	0.8
11	その他の Web サイトの情報	0.5
12	旅行会社の店員からの勧め	0.0

NO.	50代 (n=468)	
1	以前来訪した際の自身の経験	61.5
2	家族や友人知人からの紹介・推奨	10.9
3	地域や施設の公式 Web サイトの情報	5.6
4	旅行雑誌・ガイドブックの記事	5.1
5	個人のブログやインターネット掲示板	4.3
6	特に理由はないが、なんとなく	4.3
7	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	3.4
8	その他の Web サイトの情報	1.7
9	旅行会社の旅行パンフレット	1.1
10	自分の意志外 (団体・ビジネス・帰省など)	0.6
11	割引券や優待券	0.4
12	旅行会社の店員からの勧め	0.2

NO.	60代 (n=671)	
1	以前来訪した際の自身の経験	63.6
2	家族や友人知人からの紹介・推奨	12.4
3	特に理由はないが、なんとなく	5.7
4	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	3.7
5	旅行雑誌・ガイドブックの記事	3.3
6	地域や施設の公式 Web サイトの情報	3.0
7	自分の意志外 (団体・ビジネス・帰省など)	2.7
8	旅行会社の旅行パンフレット	1.2
9	その他の Web サイトの情報	0.7
10	割引券や優待券	0.7
11	個人のブログやインターネット掲示板	0.6
12	旅行会社の店員からの勧め	0.4

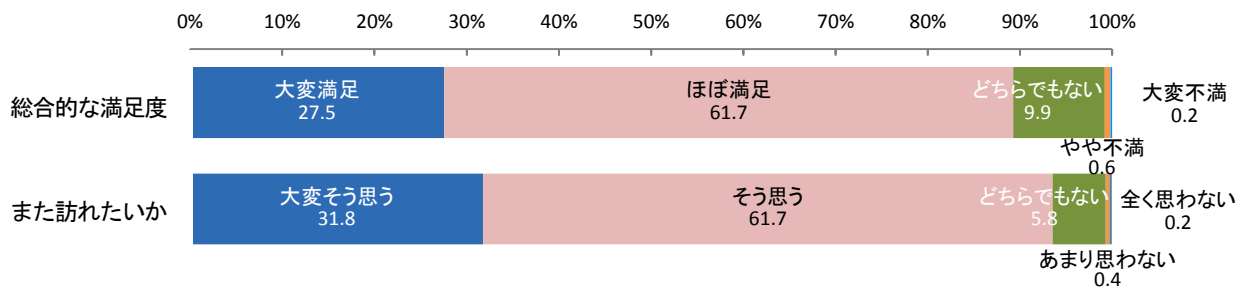
日帰り客一人当たりの消費支出平均は、総額で6,545円であった。
内訳は、「土産代」の消費支出平均が1,906円で最も多く、次いで「飲食費」が1,360円であった。

消費支出（平均）



調査地域への総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】は89.2%であった。また訪れたいかは、「大変そう思う」「そう思う」をあわせた【再来訪希望層】は93.5%であった。

調査地域の総合満足度／再来訪意向 (n=2117)



【加重平均値】

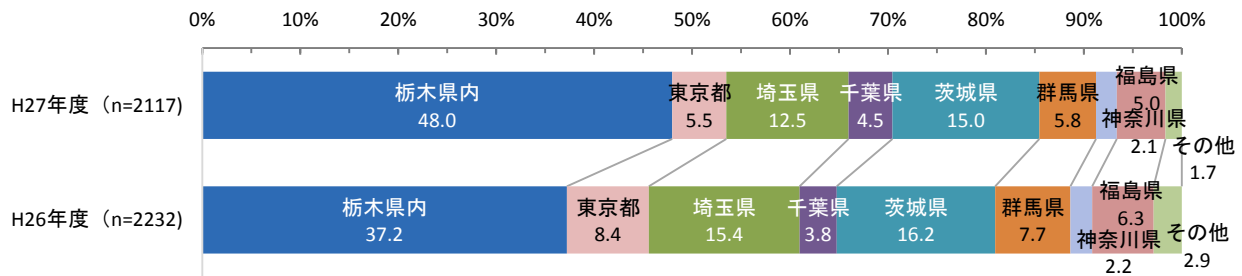
総合的な満足度	また訪れたいか
1.16	1.25

②過去調査との比較

お住まいは、平成26年度調査では栃木県外が62.9%であったが、平成27年度調査では52.1%と10.8ポイント増加した。

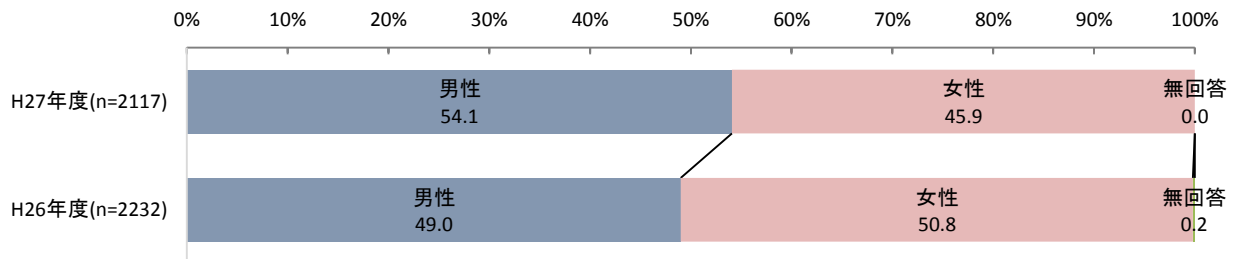
一方「東京都」が平成26年度調査では8.4%であったが、平成27年度調査では5.5%、「埼玉県」も15.4%から12.5%で、ともに3ポイント程度減少した。

お住まい



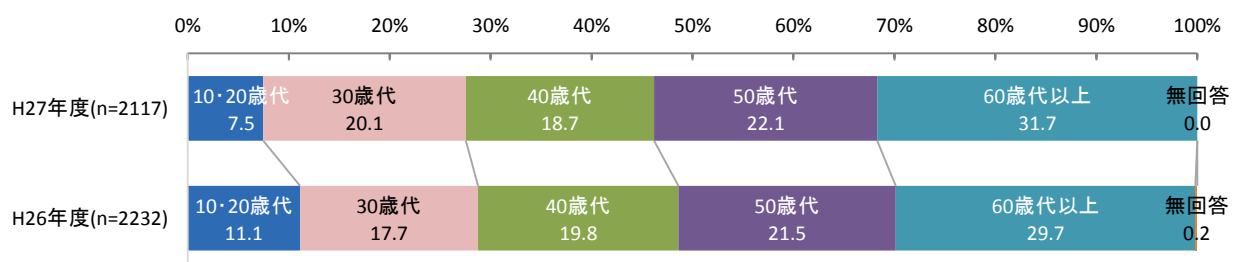
性別は、平成26年度の調査でも平成27年度調査でもほぼ半数となっている。

性別



年代は、「30歳代」が平成26年度調査では17.7%であったが、平成27年度調査では20.1%と2.4ポイント増加した。一方、「10・20歳代」が平成26年度調査では11.1%であったが平成27年度調査では7.5%と3.6ポイント減少した。

年代



第2章 観光客調査 調査結果

1. 日帰り客 (1) 県全体

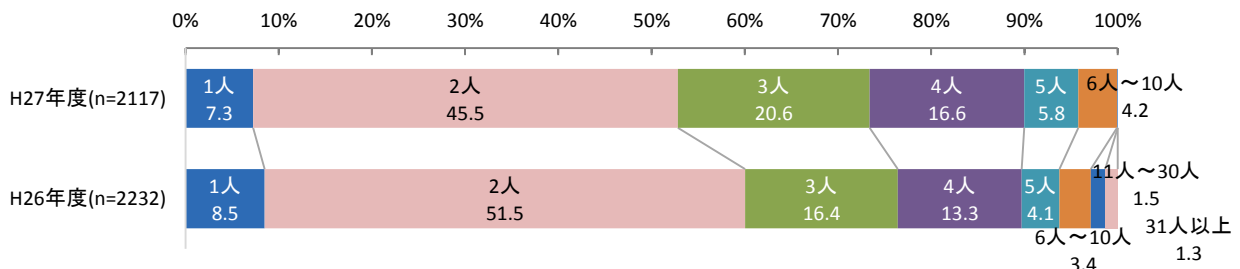
旅行先に選んだ情報源は、平成26年度調査では「以前来訪した際の自身の経験」が最も多く55.6%であったが、平成27年度調査では67.5%と11.9ポイント増加した。次いで「家族や友人知人からの紹介」は平成26年度調査では17.6%であったが、平成27年度調査では16.4%と1.2ポイント減少した。

旅行先に選んだ情報源

平成27年度調査 (n=2117)		平成26年度調査 (n=2232)	
1	以前来訪した際の自身の経験 67.5	1	以前来訪した際の自身の経験 55.6
2	家族や友人知人からの紹介・推奨 16.4	2	家族や友人知人からの紹介・推奨 17.6
3	特に理由はないが、なんとなく 9.7	3	地域や施設の公式Webサイトの情報 7.2
4	地域や施設の公式Webサイトの情報 7.8	4	旅行雑誌・ガイドブックの記事 6.4
5	旅行雑誌・ガイドブックの記事 6.0	5	テレビや映画での紹介、ロケ地情報 5.8
6	個人のブログやインターネット掲示板 5.4	6	その他のWebサイトの情報 5.6
7	テレビや映画での紹介、ロケ地情報 5.0	7	特に理由はないが、なんとなく 5.5
8	その他のWebサイトの情報 2.6	8	個人のブログやインターネット掲示板 4.3
9	自分の意志外(団体・ビジネス・帰省など) 1.7	9	自分の意志外(団体・ビジネス・帰省など) 3.2
10	旅行会社の旅行パンフレット 1.4	10	旅行会社の旅行パンフレット 2.2
11	割引券や優待券 0.9	11	割引券や優待券 0.8
12	旅行会社の店員からの勧め 0.2	12	旅行会社の店員からの勧め 0.4

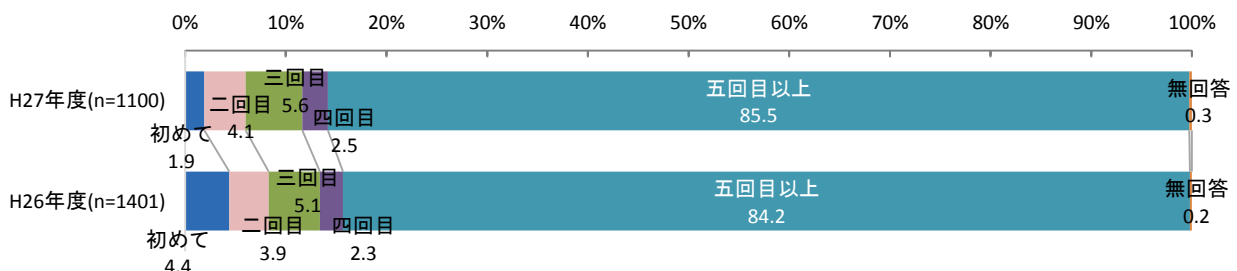
回答者を含む同行者数は、「3人」が平成26年度調査では16.4%であったが、平成27年度調査では20.6%と4.2ポイント増加した。一方、「2人」が平成26年度調査では51.5%であったが、平成27年度調査では45.5%と6.0ポイント減少した。

同行人数 ※回答者を含む



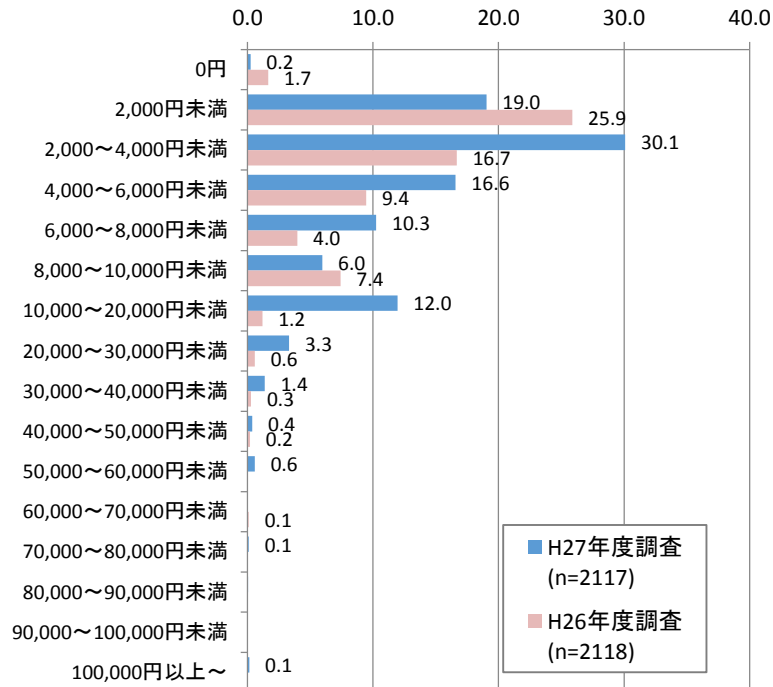
県外客の栃木県への来訪回数は、「五回目以上」が平成26年度調査では84.2%であったが、平成27年度調査では85.5%と1.3ポイント増加した。一方「初めて」が平成26年度調査では4.4%であったが、平成27年度調査では1.9%と2.5ポイント減少した。

県外客の栃木県への来訪回数



消費支出の総額は、「2,000～4,000 未満」は平成 26 年度調査の 16.7%に対し、平成 27 年度は 30.1%で 3.1%減少し、「2,000 円未満」も平成 26 年度の 25.9%に対し、平成 27 年度は 19.0%で 6.9 ポイント減少した。一方、「10,000～20,000 未満」は平成 26 年度の 1.2%に対し、平成 27 年度は 12.0%で 10.8 ポイント増加した。

消費支出 総額

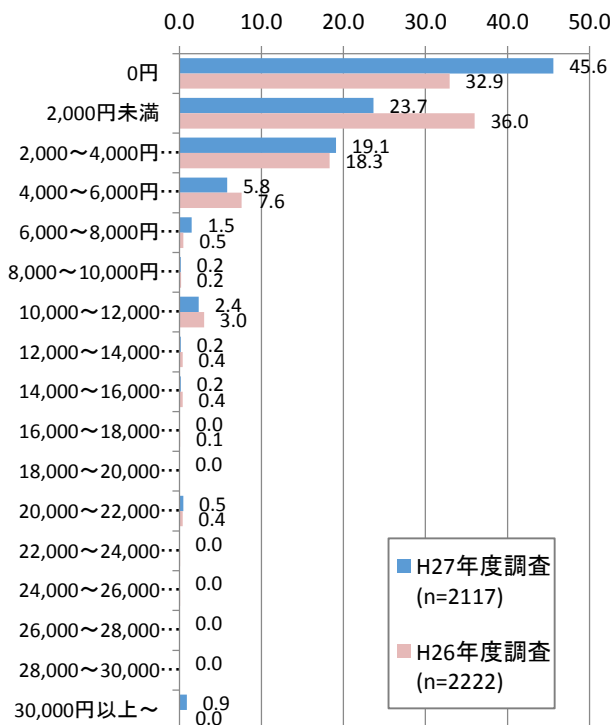


日帰り客の一人当たり平均

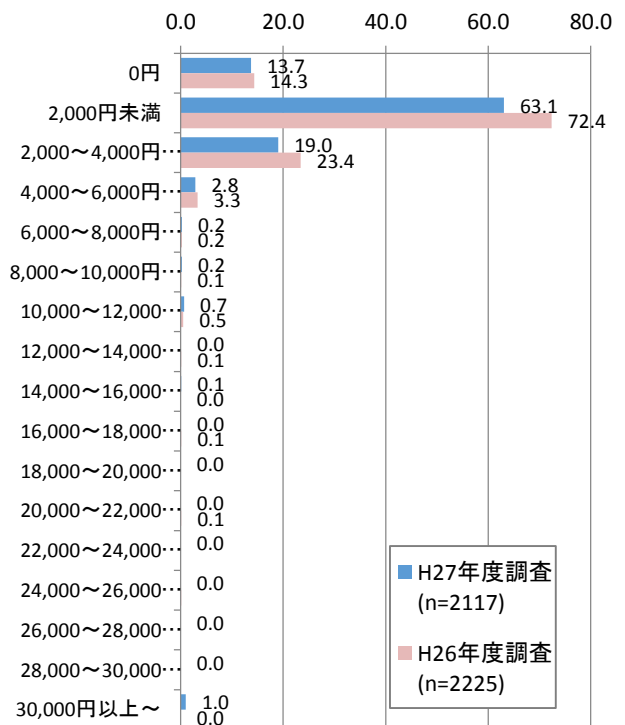
平成 27 年度調査 : 6,545 円
平成 26 年度調査 : 4,813 円

土産代は、「2,000 円未満」が平成 26 年度調査の 53.1%に対し、平成 27 年度は 69.2%で 16.1 ポイント増加した。飲食費も「2,000 円未満」が平成 26 年度調査の 72.4%に対し、平成 27 年度は 76.8%で 4.4 ポイント増加した。

消費支出 土産代



消費支出 飲食費



(2) エリアごと

i. 那須エリア

① 平成27年度調査結果

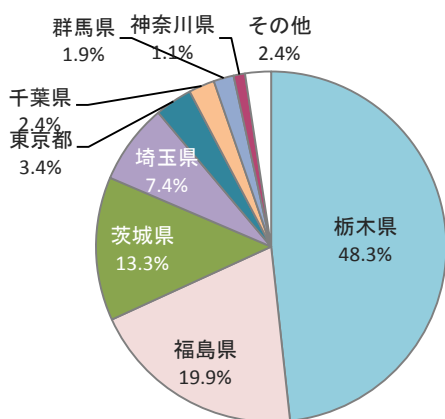
日帰り客 (那須エリア)

サンプル数 : 377

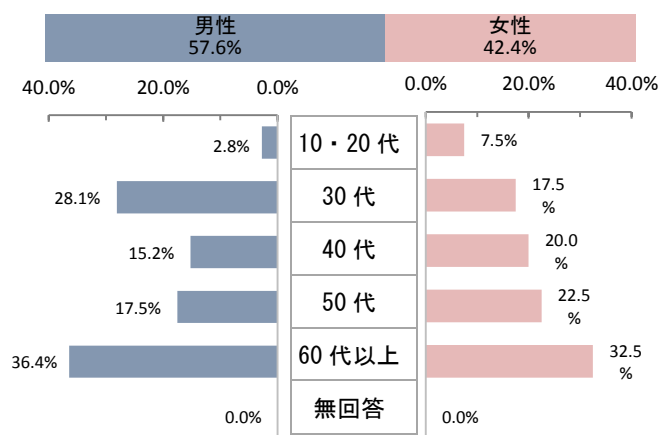
お住まいは「栃木県」が最も多く 48.3%であった。年代は、男女ともに「60代以上」が最も多く「男性」が 36.4%、「女性」が 32.5%であった。

調査地域周辺への来訪回数は、「五回目以上」が 72.0%で最も多く、栃木県での滞在時間は、「4～6時間未満」が 31.0%で最も多かった。また、同行者数は「2人」が 35.0%で最も多く、同行者の関係は「子ども連れ家族旅行」が 33.4%、次いで、「夫婦旅行」が 27.3%であった。

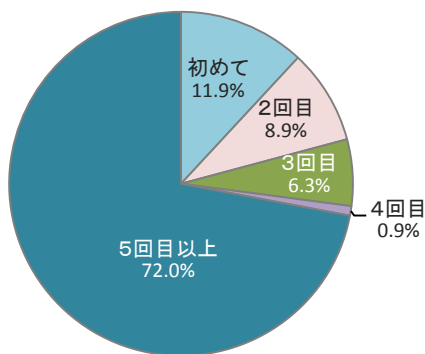
お住まい (n=377)



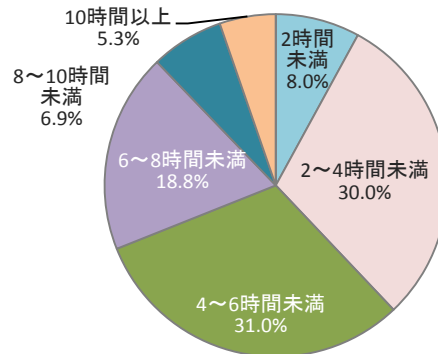
性別・年代 (n=377)



調査地域周辺への来訪回数 (n=336)

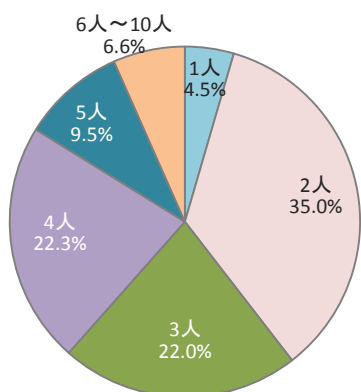


栃木県での滞在時間 (n=377)

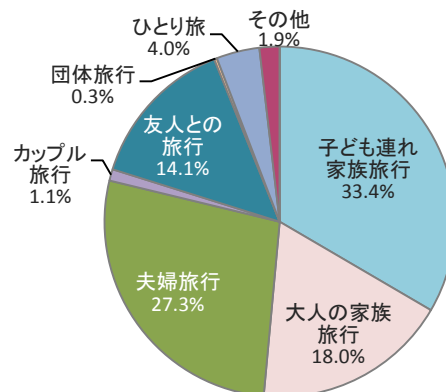


平均滞在時間 : 5 時間 00 分

同行者数 ※回答者を含む (n=377)

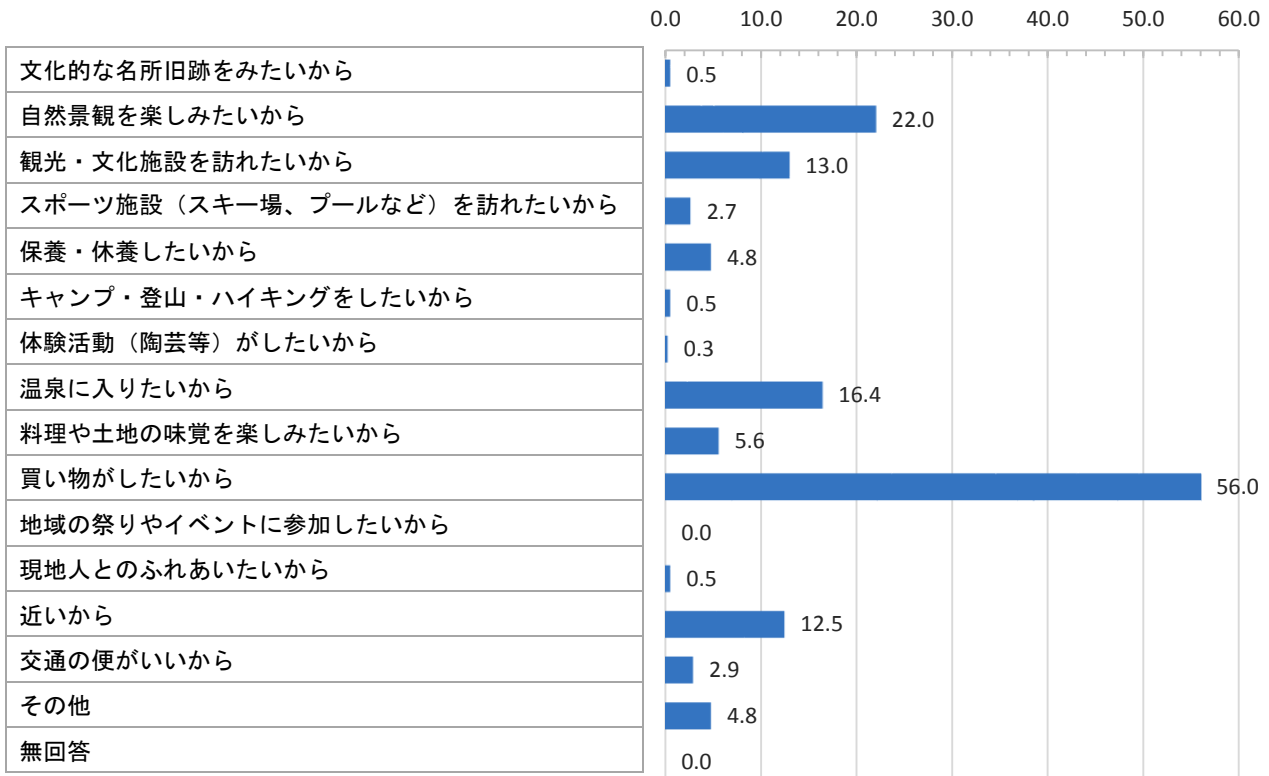


同行者の関係 (n=377)



旅行先に選んだ理由は「買い物がしたいから」が56.0%で最も多く、次いで「自然景観を楽しみたいから」が22.0%であった。旅行先に選んだ情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が68.2%で最も多く、決め手となった情報源も「以前来訪した際の自身の経験」が59.2%で最も多かった。

旅行先に選んだ理由（複数回答）(n=377)



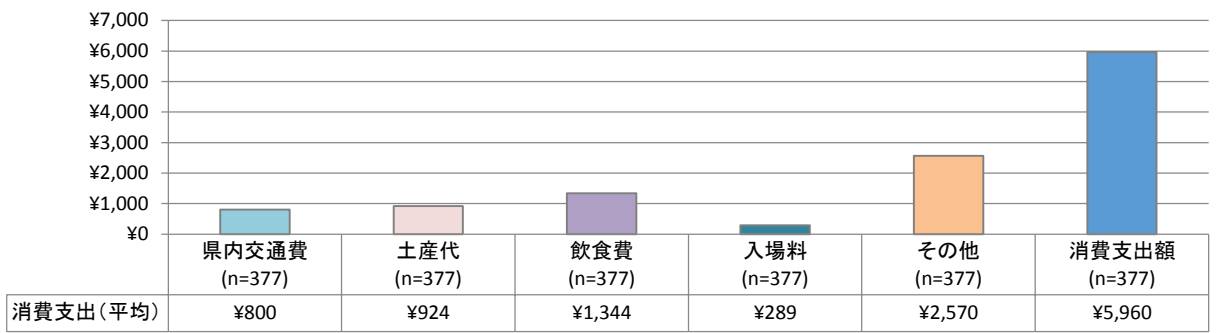
旅行先に選んだ情報源（複数回答）(n=377)

“決め手”となった情報源（単一回答）(n=377)

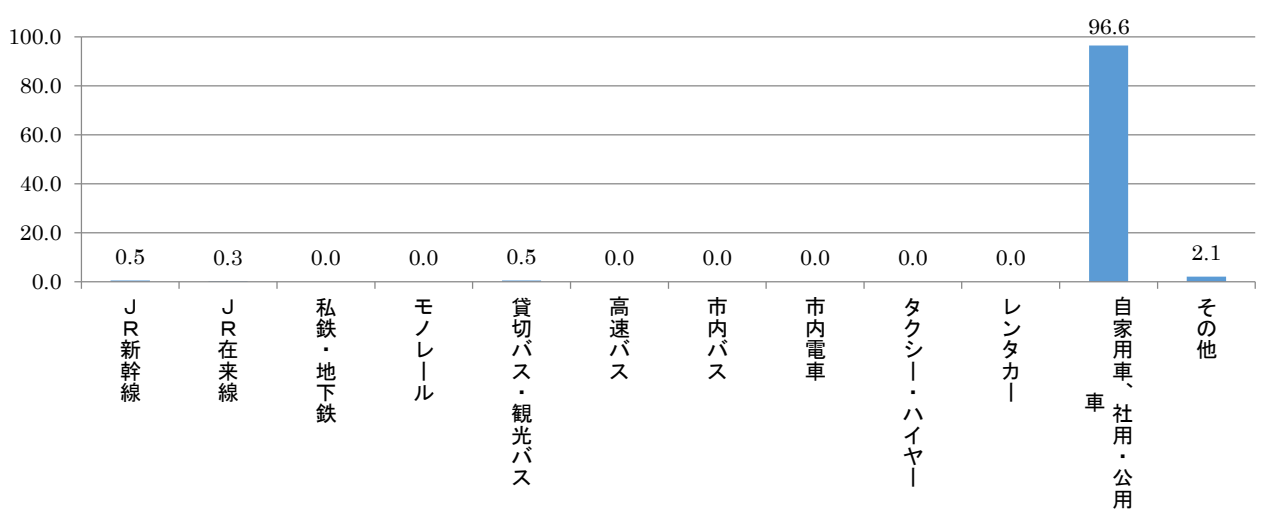


消費支出の平均は、総額で 5,960 円であった。内訳は、「飲食費」が 1,344 円で最も多く、次いで「土産代」が 924 円であった。利用交通機関は、「自家用車・社用・公用車」が 96.6%であった。
立ち寄り観光施設は、「那須ガーデンアウトレット」が 28 人で最も多く、次いで「塩原温泉郷」が 22 人であった。

消費支出（平均）



利用交通機関（複数回答）(n=377)



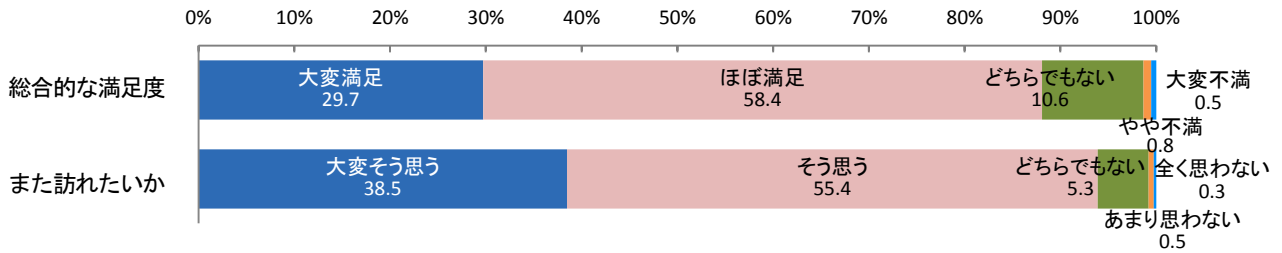
立ち寄り観光施設 (n=377) ※ () 内は施設に立ち寄った人数

那須	那須	日光
那須ガーデンアウトレット(28)	アグリパル塩原(1)	鬼怒川温泉(2)
塩原温泉郷(22)	那須どうぶつ王国(1)	霧降の滝(1)
千本松牧場(15)	りんどう湖ファミリー牧場(1)	
南ヶ丘牧場(9)	那須オルゴール美術館(1)	
ハンターマウンテン塩原(8)	那須ティニーベア・ミュージアム(1)	
鹿の湯(7)	ホテルエピナール那須(1)	
もみじ谷大吊橋(4)	ホテルサンバレー那須(1)	
那須岳(茶臼岳)(3)		
那須ハイランドパーク(3)		
東山道伊王野(3)		
那須高原友愛の森(3)		
道の駅那須与一の郷(1)		
板室温泉郷(1)		
那須野が原公園オートキャンプ場(1)		

※対象者が現在いる地点（調査地点）は立ち寄り観光施設にカウントしない。
那須高原友愛の森（111）、那須ガーデンアウトレット（161）、アグリパル塩原（105）

調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた満足層が 88.1%であった。また訪れたいかは、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた再来訪意向層が 93.9%であった。

調査地域の総合満足度／再来訪意向 (n=377)

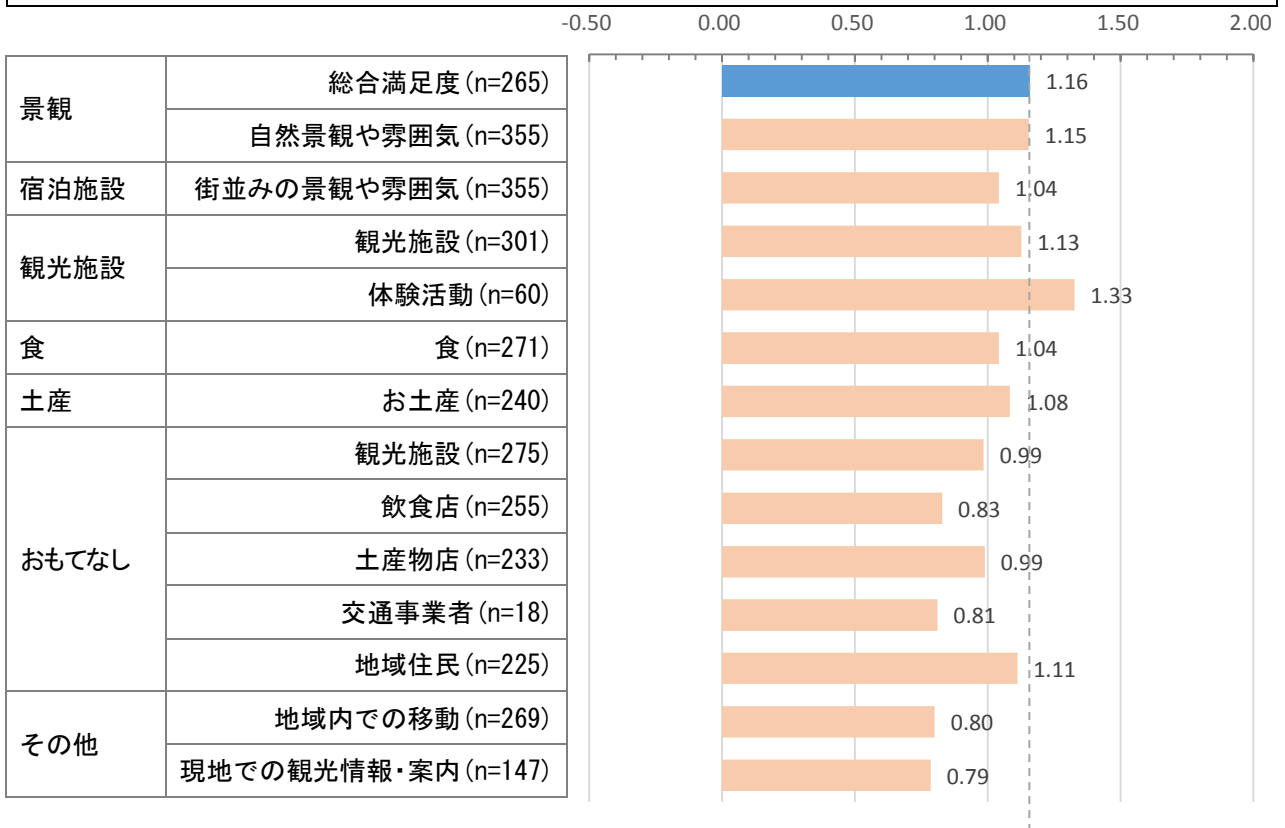


【加重平均値】

総合的な満足度	また訪れたいか
1.16	1.31

「総合満足度」は 1.16 であった。満足度を項目別にみると、「観光施設 体験活動」に対する満足度が 1.33 で最も高く、次いで、「景観 自然景観や雰囲気」が 1.15 と高い。

項目別満足度 (加重平均値)

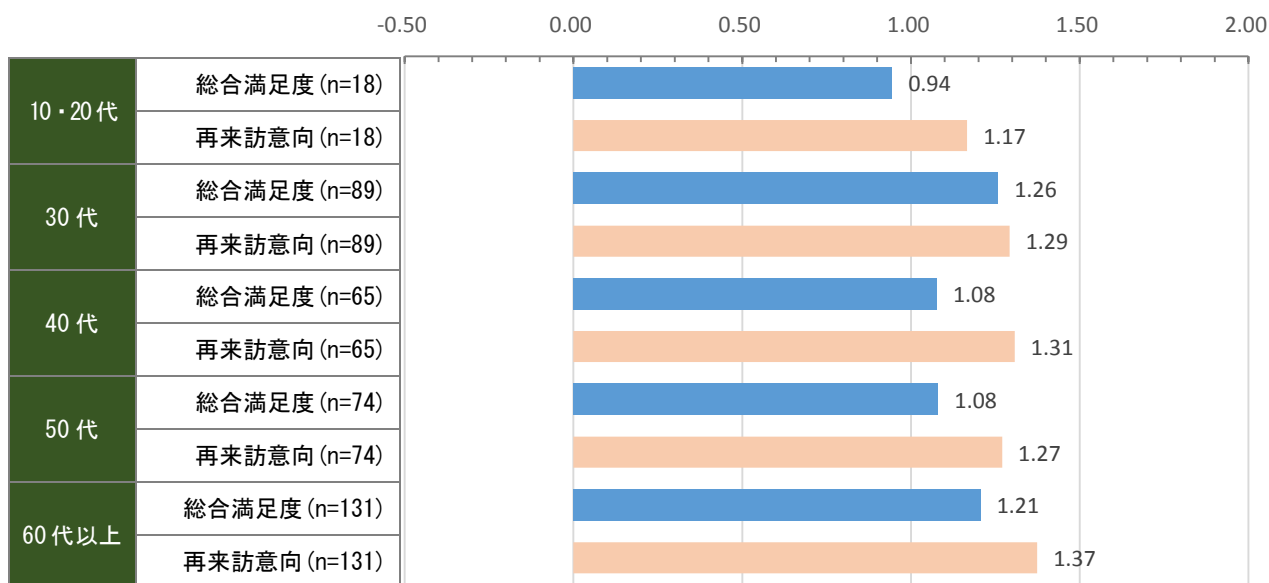
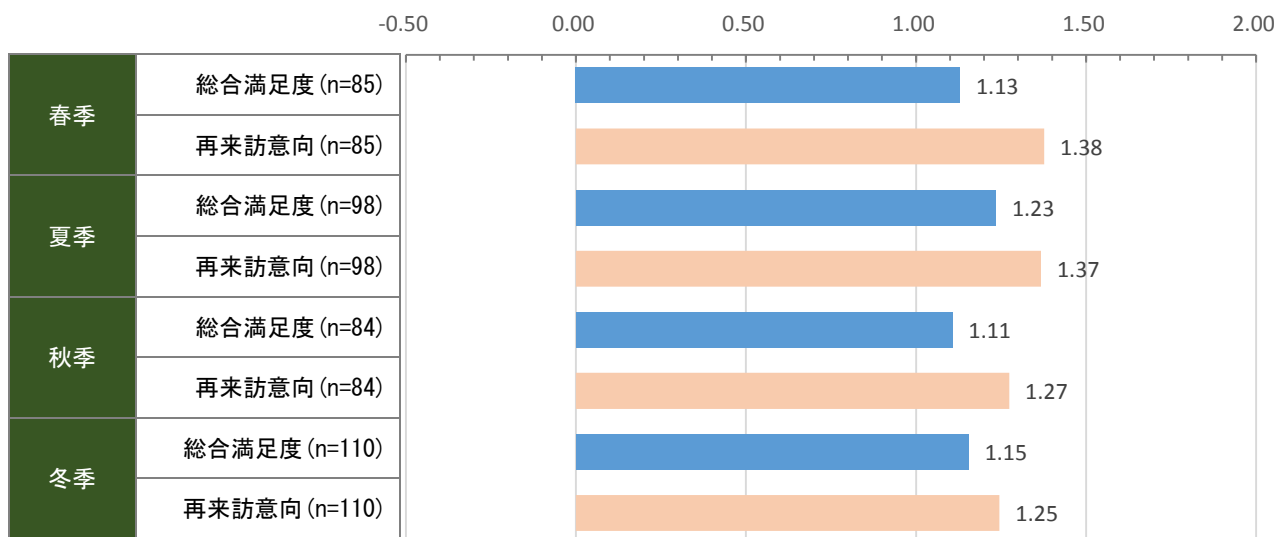
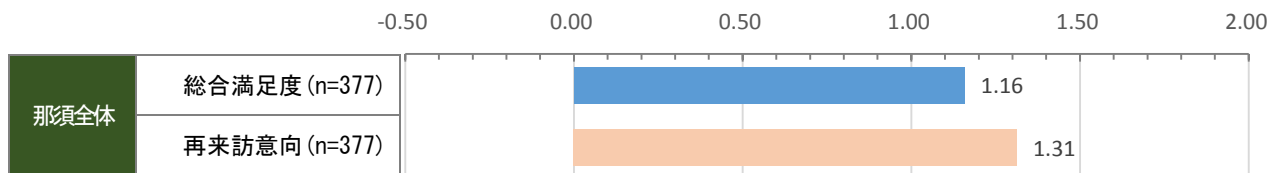


調査地域の総合満足度／再来訪意向（季節別・年代別）

総合満足度を季節別にみると、「夏季」が1.23で最も高いが、四季による変動はほとんどない。

再来訪意向についても「春季」が1.38で最も高く、四季による変動はほとんどない。

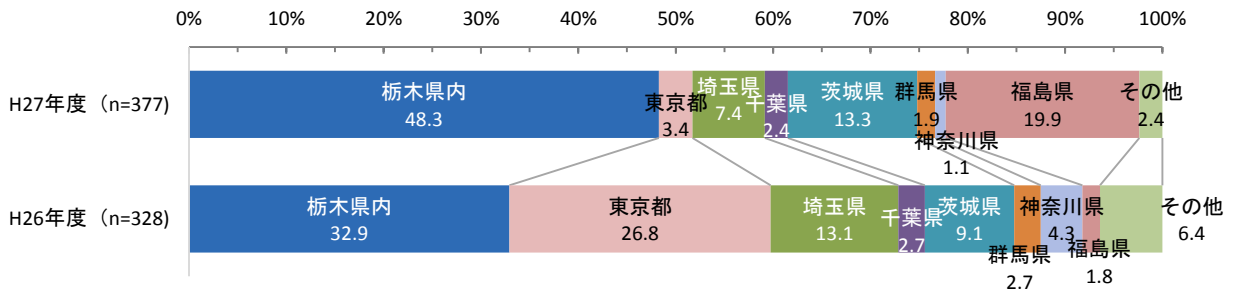
年代別にみると、総合満足度は「30代」が1.26で最も高く、「20代」が0.94で最も低かった。また、再来訪意向は、「60歳以上」が1.37で最も高く、「10・20代」が1.17で最も低かった。



②過去調査との比較

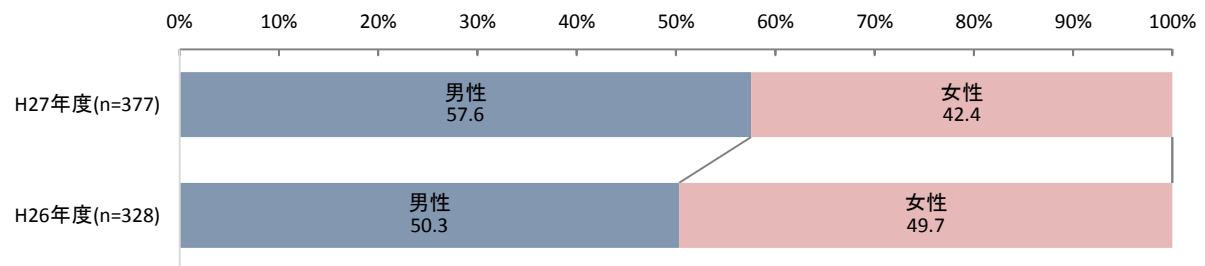
お住まいは、平成 26 年度調査では、栃木県内が 32.9%であったが、平成 27 年度調査では 48.3%と 15.4 ポイント、「福島県」が 1.8%から 19.9%で 18.1 ポイント増加した。一方「東京都」が平成 26 年度調査では 26.8%であったが、平成 27 年度調査では 3.4%と 23.4 ポイント減少した。

お住まい



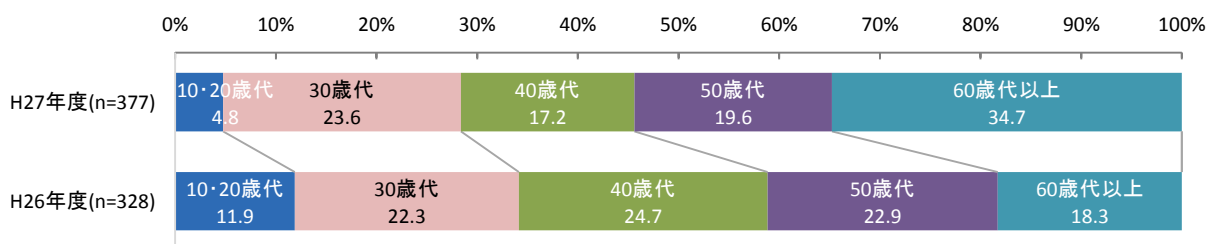
性別は、平成 26 年度の調査では「男性」が 50.3%であったが、平成 27 年度調査では「男性」が 57.6%と 7.3 ポイント増加した。

性別



年代は、「10・20 歳代」が平成 26 年度調査では 11.9%であったが、平成 27 年度調査では 4.8%と減少した。一方、「60 歳代以上」が平成 26 年度調査では 18.3%であったが平成 27 年度調査では 34.7%と増加した。

年代



第2章 観光客調査 調査結果

1. 日帰り客 (2) エリアごと i. 那須エリア

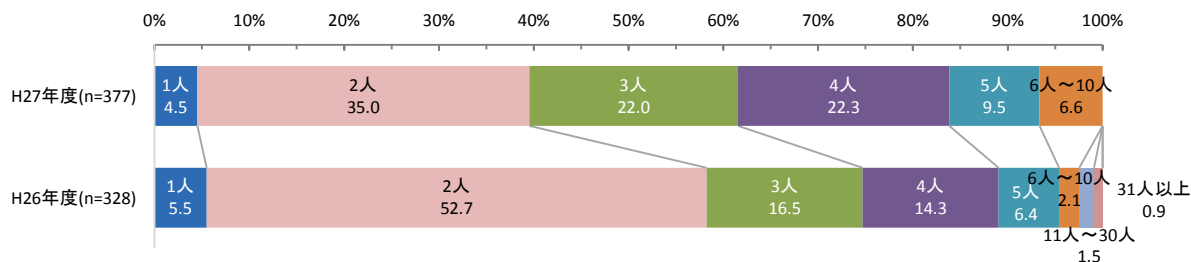
旅行先に選んだ情報源は、平成26年度調査では「以前来訪した際の自身の経験」が最も多く60.7%であったが、平成27年度調査では68.2%と7.5ポイント増加した。次いで「家族や友人知人からの紹介・推奨」は平成26年度調査では14.9%であったが、H27年度調査では22.0%と7.1%増加した。

旅行先に選んだ情報源

平成27年度調査 (n=377)		平成26年度調査 (n=328)	
1	以前来訪した際の自身の経験	68.2	60.7
2	家族や友人知人からの紹介・推奨	22.0	14.9
3	特に理由はないが、なんとなく	15.1	7.0
4	地域や施設の公式 Web サイトの情報	5.3	7.0
5	旅行雑誌・ガイドブックの記事	5.0	6.7
6	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	3.7	6.1
7	その他の Web サイトの情報	2.7	4.6
8	自分の意志外 (団体・ビジネス・帰省など)	1.3	4.3
9	割引券や優待券	0.8	2.7
10	個人のブログやインターネット掲示板	0.5	1.5
11	旅行会社の旅行パンフレット	0.3	1.5
12	旅行会社の店員からの勧め	0.0	0.0

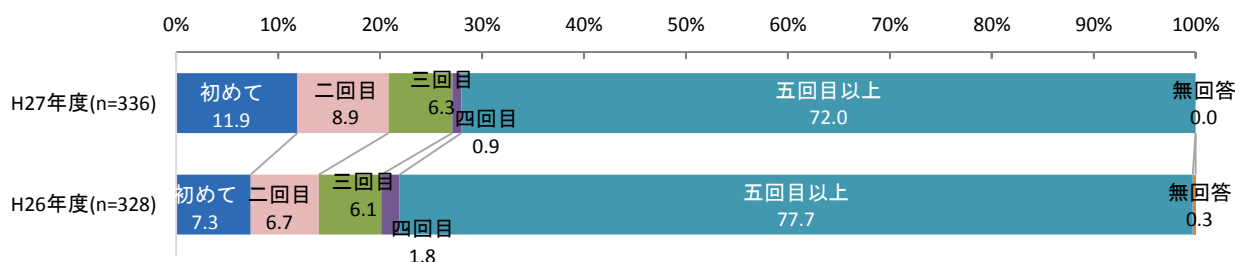
回答者を含む同行者数は、「2人」が平成26年度調査では52.7%であったが、平成27年度調査では35.0%と減少した。一方「3人」が16.5%から22.0%、「4人」が14.3%から22.3%に増加した。

同行人数 ※回答者を含む



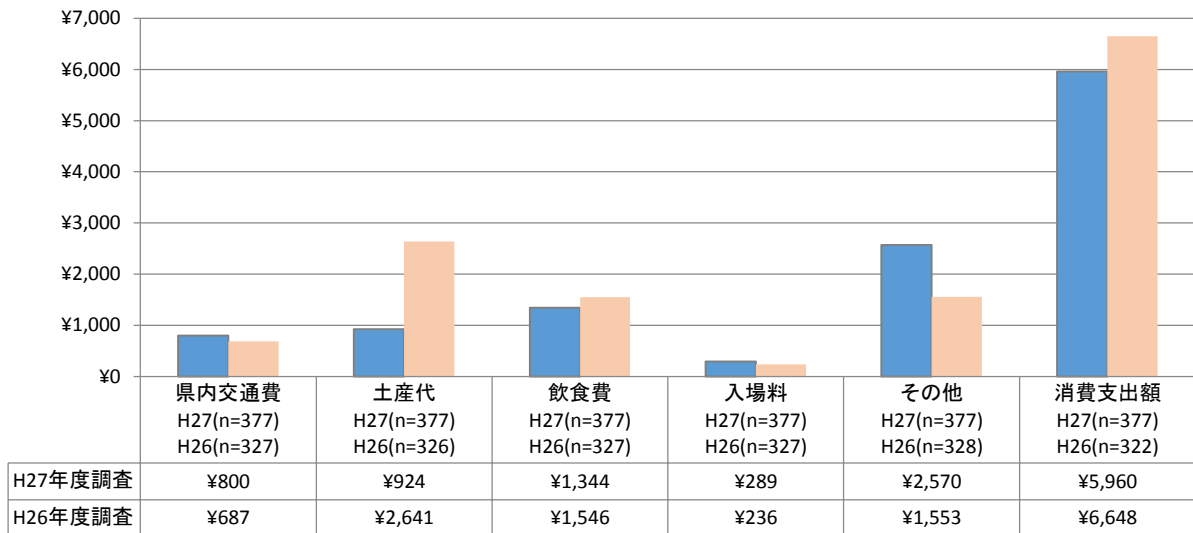
現在地周辺への来訪回数は、「初めて」が平成26年度調査では7.3%であったが、平成27年度調査では11.9%と4.6ポイント増加した。一方「五回目以上」が平成26年度調査では77.7%であったが、平成27年度調査では72.0%と5.7ポイント減少した。

現在地周辺への来訪回数※周辺住民を除く



消費支出の総額は、平成 26 年度調査では 6,648 円であったが、平成 27 年度調査では 5,960 円に減少した。

消費支出（平均）



ii. 日光エリア

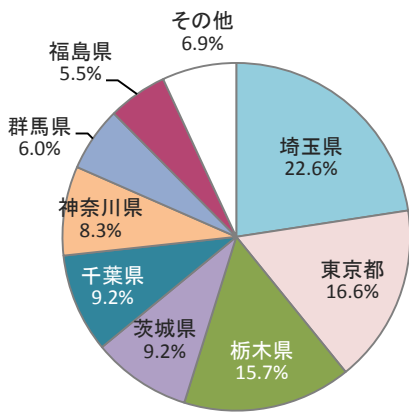
①平成27年度調査結果

日帰り客 (日光エリア) サンプル数 : 217

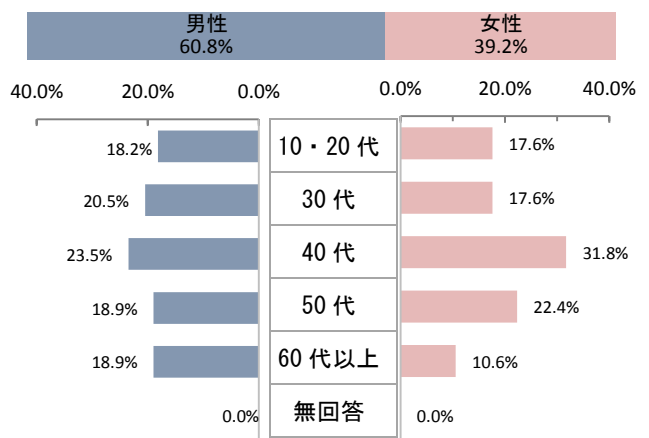
お住まいは「埼玉県」が最も多く 22.6%、次いで「東京都」が 16.6%、「栃木県」が 15.7%であった。性別は、「男性」が 60.8%であり、年代は、男女ともに「40歳代」が最も多く、男性が 23.5%、女性が 31.8%であった。

調査地域周辺への来訪回数は、「二回目」が 28.1%で最も多く、次いで「五回目以上」のリピーターが 26.3%であった。栃木県での滞在時間は、「6～8時間未満」が 44.7%で最も多くかった。また、同行者数は「2人」が 56.7%で最も多く、同行者の関係は「夫婦旅行」が 27.2%、次いで、「子ども連れ家族旅行」「友人との旅行」がともに 22.1%であった。

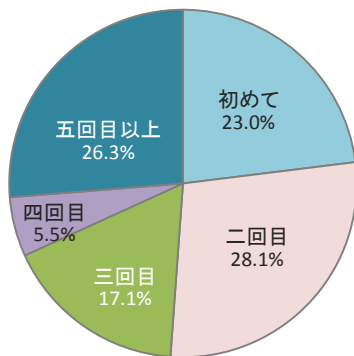
お住まい (n=217)



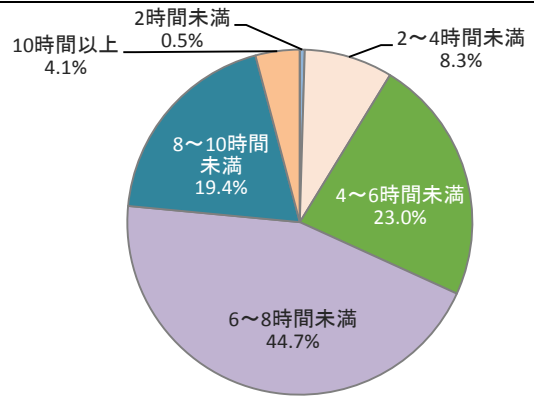
性別・年代 (n=217)



調査地域周辺への来訪回数 (n=217)

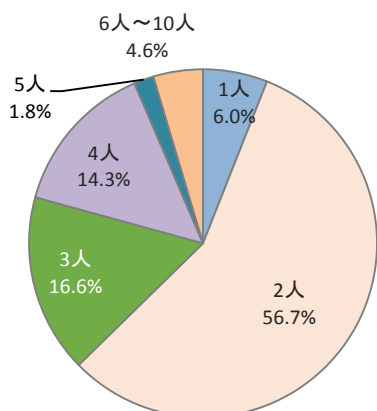


栃木県での滞在時間 (n=217)

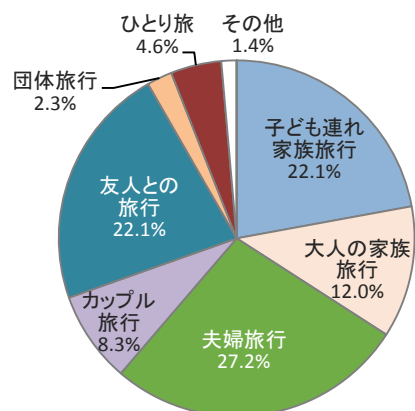


平均滞在時間 : 6 時間 41 分

同行人数 ※回答者を含む (n=217)

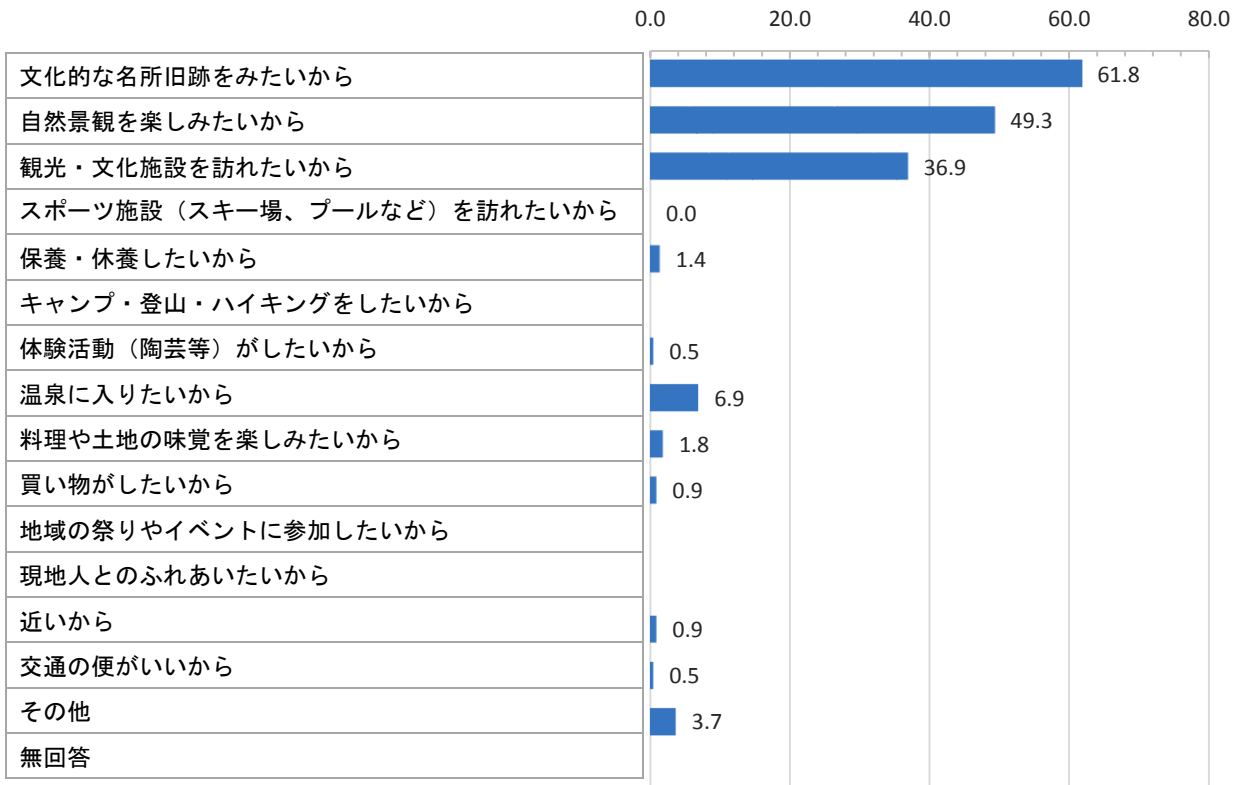


同行者の関係 (n=217)



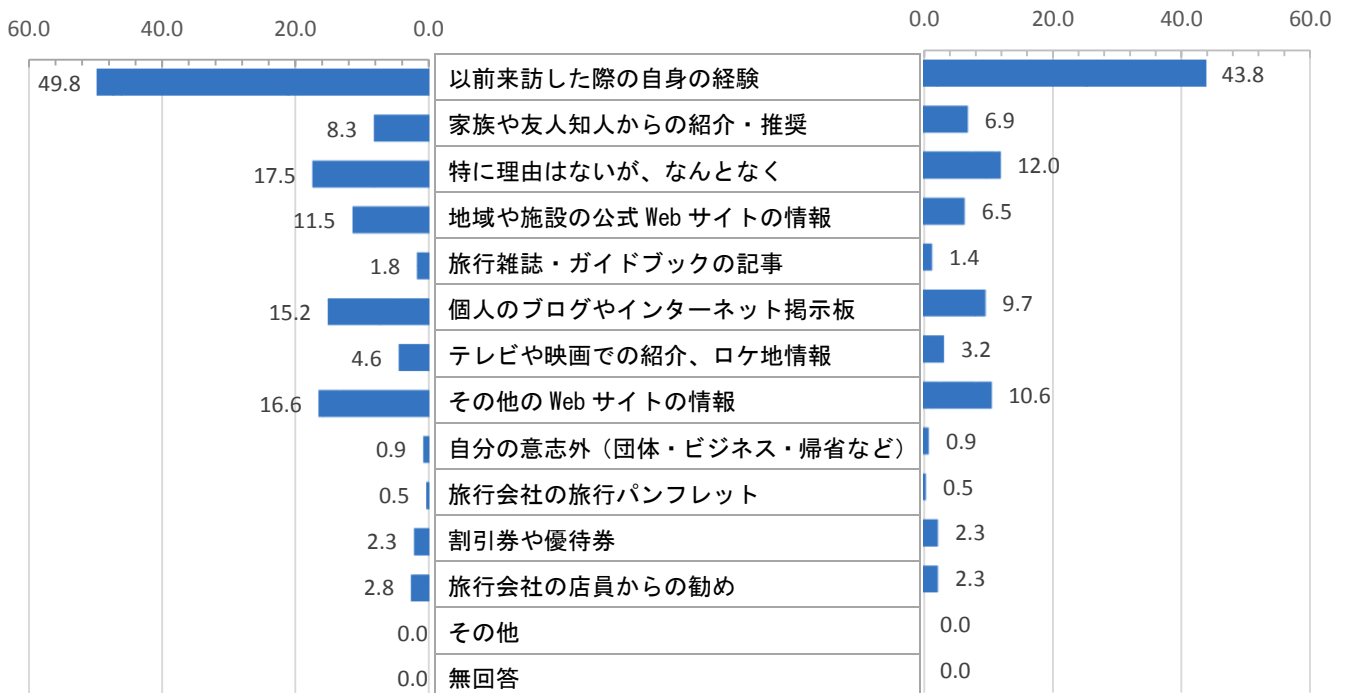
旅行先に選んだ理由は「文化的な名所旧跡をみたいから」が61.8%で最も多く、次いで「自然景観を楽しみたいから」が49.3%であった。旅行先に選んだ情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が49.8%で最も多く、決め手となった情報源も「以前来訪した際の自身の経験」が43.8%で最も多かった。

旅行先に選んだ理由（複数回答）(n=217)



旅行先に選んだ情報源（複数回答）(n=217)

“決め手”となった情報源（単一回答）(n=217)

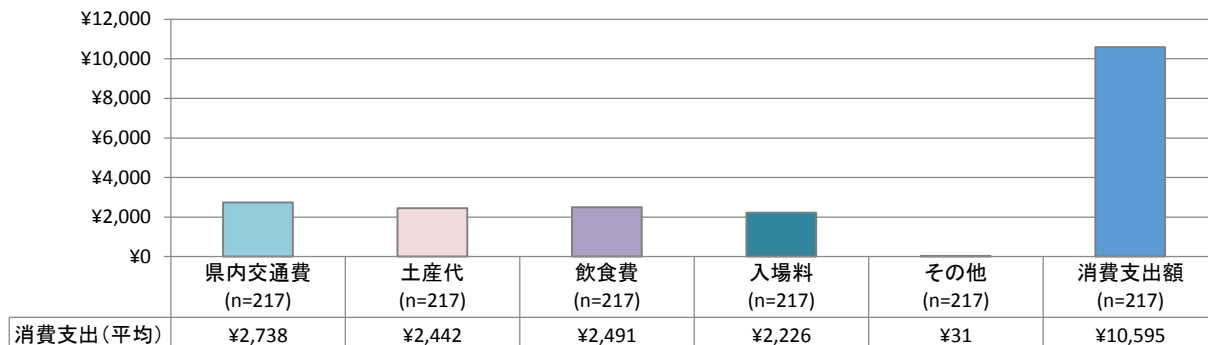


第2章 観光客調査 調査結果

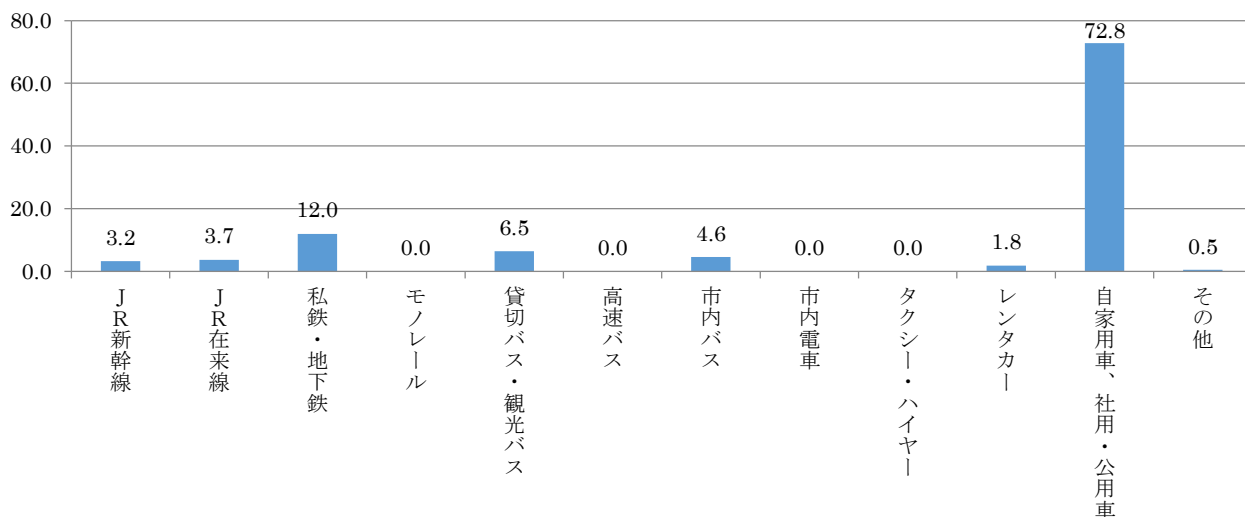
1. 日帰り客 (2) エリアごと ii. 日光エリア

消費支出の平均は、総額で 10,595 円であった。内訳は、「県内交通費」「土産代」「飲食費」「入場料」がそれぞれ 2 千円台であった。利用交通機関は、「自家用車・社用・公用車」が 72.8% で最も多かった。

消費支出（平均）



利用交通機関（複数回答）(n=217)



立ち寄り観光施設 (n=217) ※ () 内は施設に立ち寄った人数

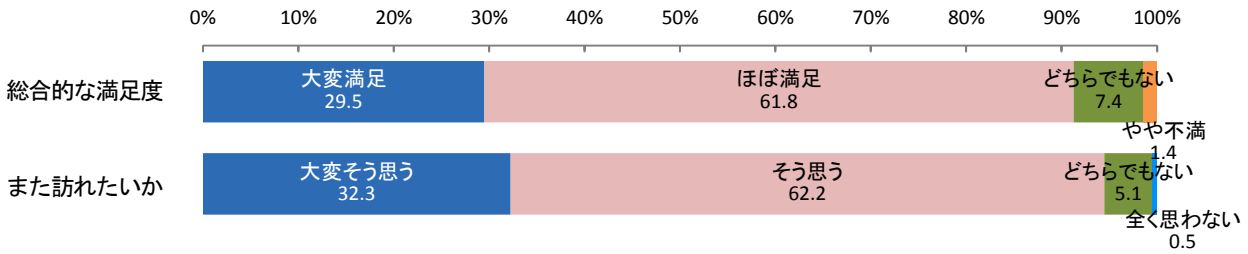
日光	日光	県央
二社一寺参拝者 (64)	日光江戸村 (3)	ろまんちっく村 (1)
中禅寺湖 (38)	霧降の滝 (2)	
華厳滝 (18)	東武ワールドスクウェア (2)	
鬼怒川温泉 (10)	足尾銅山観光 (2)	
日光湯元温泉 (7)	日光田母沢御用邸記念公園 (1)	
明智平 (7)	イタリア大使館別荘記念公園 (1)	
戦場ヶ原・小田代原 (5)	二荒山神社中宮祠 (1)	
湯滝・湯の湖 (3)		

※対象者が現在いる地点（調査地点）は立ち寄り観光施設にカウントしない。

二社一寺 (93)、華厳の滝 (84)、東武ワールドスクウェア (40)

調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた満足層が 91.3%で 9 割を超えた。また、訪れたいかは「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた再来訪意向層が 94.5%であった。

調査地域の総合満足度／再来訪意向 (n=217)

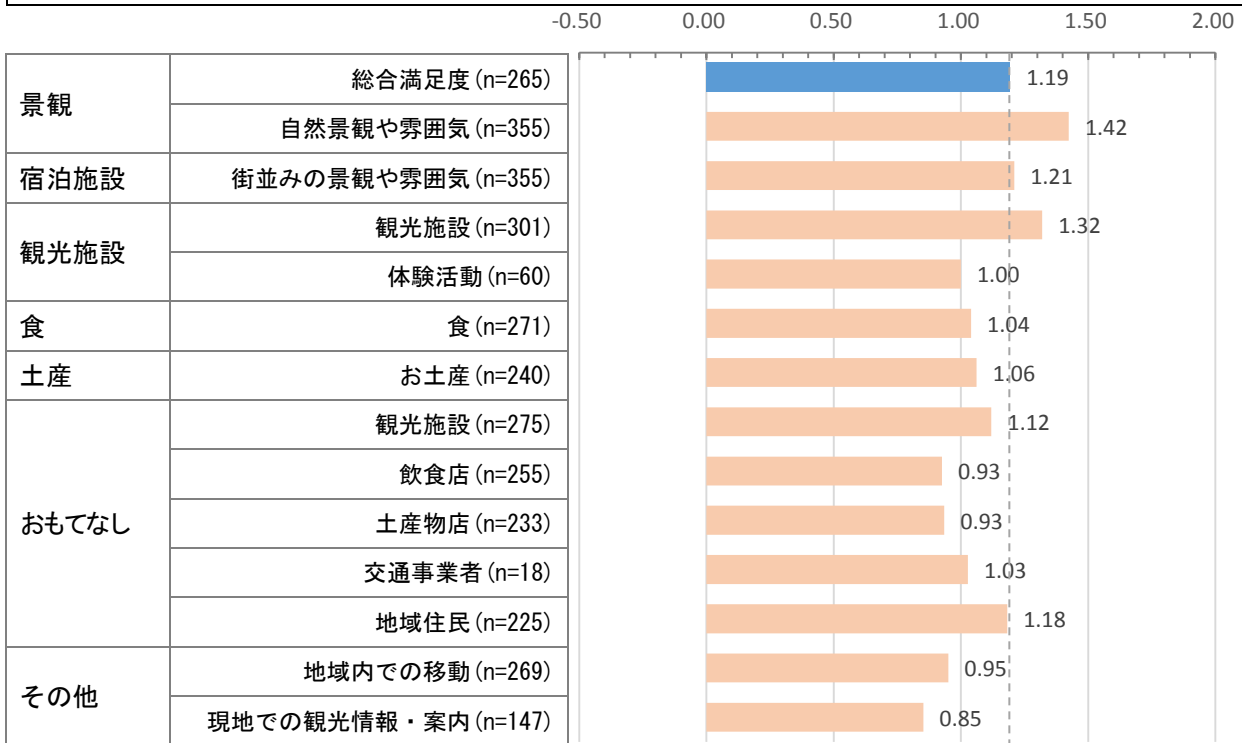


【加重平均値】

総合的な満足度	また訪れたいか
1.19	1.26

満足度を項目別にみると、「総合満足度」は 1.19 であった。項目別にみると、「景観 自然景観や雰囲気」「観光施設観光施設」に対する満足度は高い傾向にある。

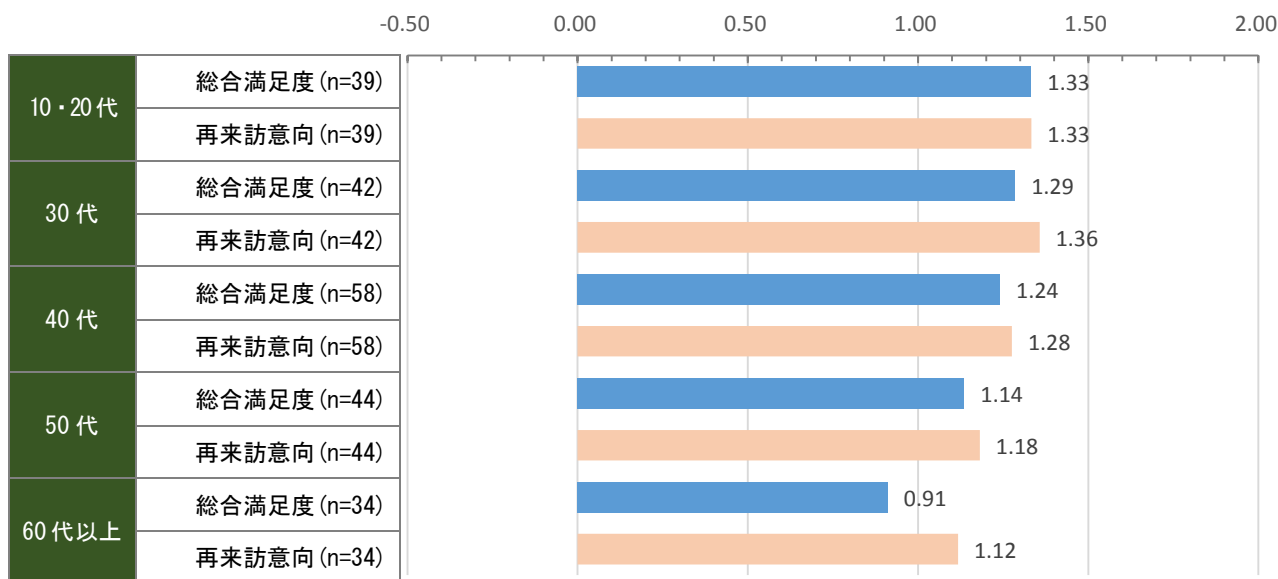
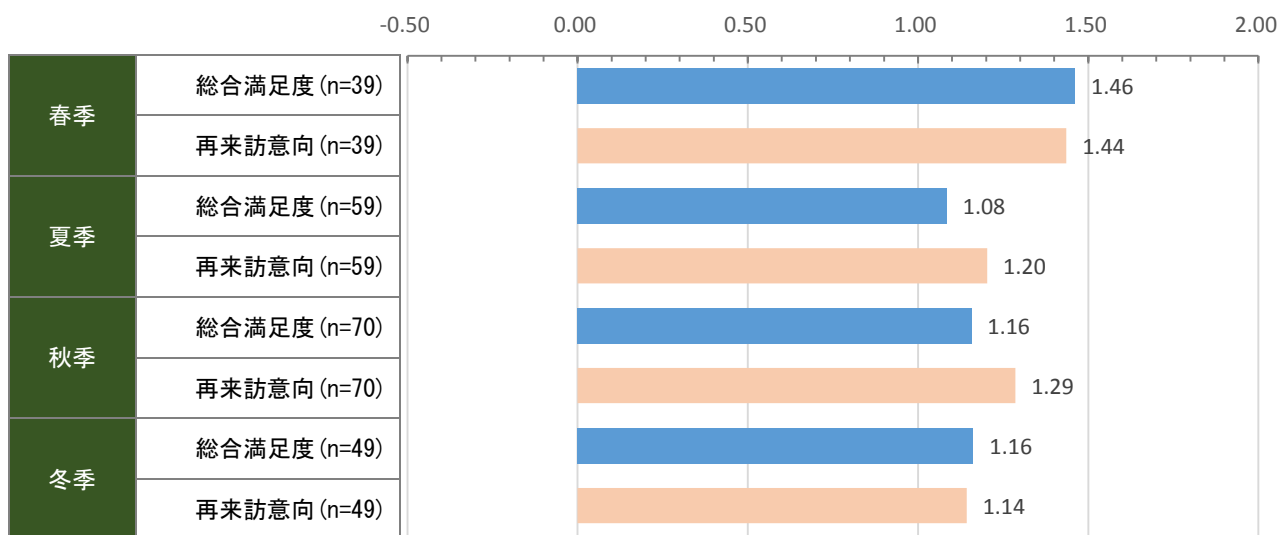
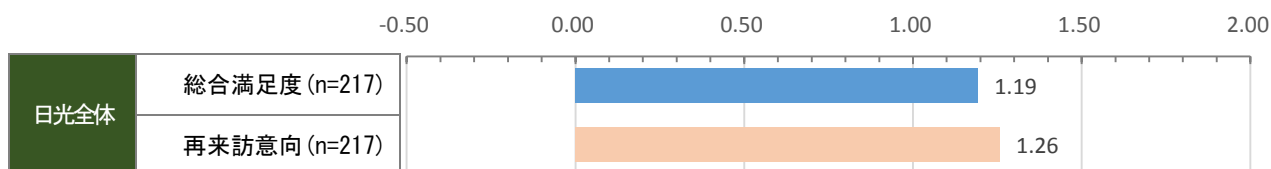
項目別満足度 (加重平均値)



調査地域の総合満足度／再来訪意向（季節別・年代別）

総合満足度を季節別にみると、「春季」が1.46で最も高いが、「夏季」「秋季」「冬季」はほぼ同様の傾向であった。また、再来訪意向も、「春季」が1.44で最も高く、「冬季」が1.14で最も低かった。

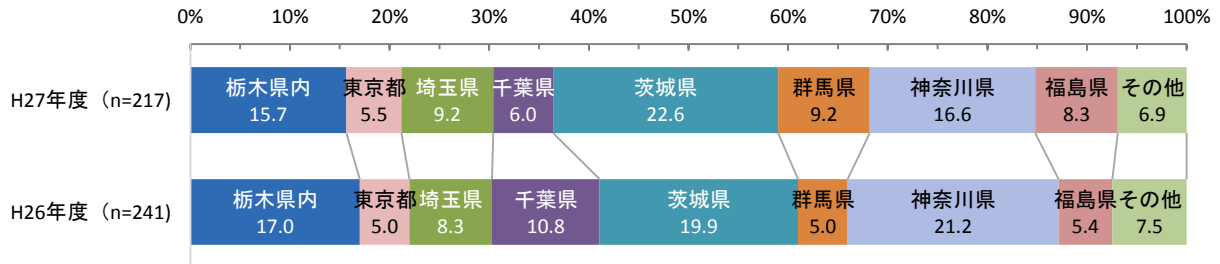
年代別にみると、総合満足度は「10・20代」が1.33で最も高く、「60代」が0.91で最も低かった。また、再来訪意向も「10・20代」が1.33で最も高く、「60代」が1.12で最も低かった。



②過去調査との比較

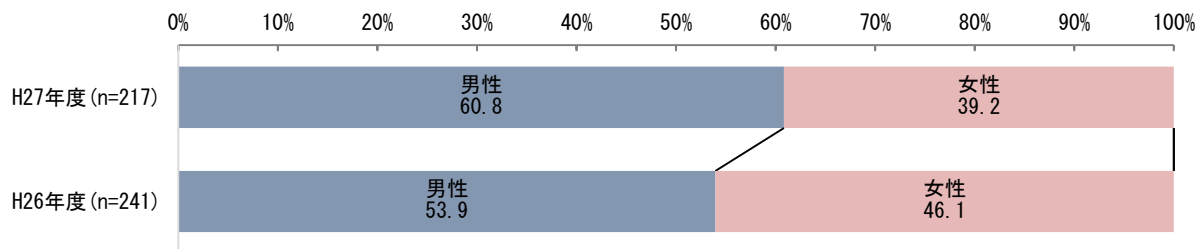
お住まいは、平成26年度調査では、栃木県外が83.1%であったが、平成27年度調査では84.3%と1.2ポイント増加した。一方、「神奈川県」が21.2から16.6%で4.6ポイント減少した。

お住まい



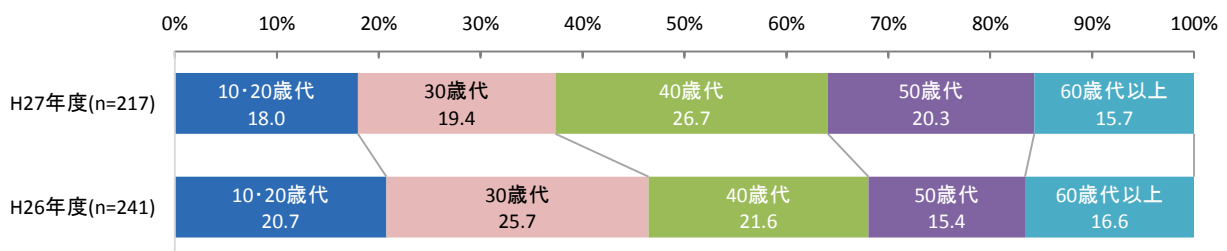
性別は、平成26年度の調査では、「男性」が53.3%であったが、平成27年度調査では「男性」が60.8%と7.5ポイント増加した。

性別



年代は、「30歳代」が平成26年度調査では25.7%であったが、平成27年度調査では19.4%と6.3ポイント減少した。一方、「50歳代」が平成26年度調査では15.4%であったが平成27年度調査では20.3%と、5.1増加した。

年代



第2章 観光客調査 調査結果

1. 日帰り客 (2) エリアごと ii. 日光エリア

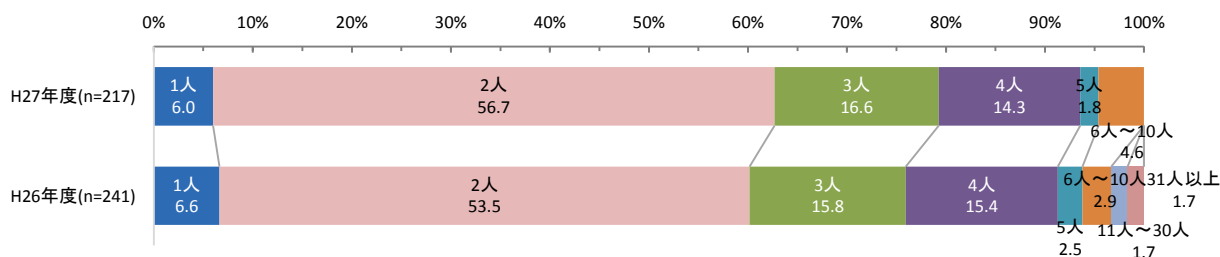
旅行先に選んだ情報源は、平成26年度調査では「以前来訪した際の自身の経験」が最も多く46.1%であったが、平成27年度調査では49.8%と3.7ポイント増加した。また、「家族や友人知人からの紹介・推奨」は平成26年度調査では17.8%であったが、平成27年度調査では8.3%と9.5ポイント増加した。

旅行先に選んだ情報源

平成27年度調査 (n=217)		平成26年度調査 (n=241)	
1	以前来訪した際の自身の経験 49.8	1	以前来訪した際の自身の経験 46.1
2	個人のブログやインターネット掲示板 17.5	2	家族や友人知人からの紹介・推奨 17.8
3	テレビや映画での紹介、ロケ地情報 16.6	3	テレビや映画での紹介、ロケ地情報 12.4
4	旅行雑誌・ガイドブックの記事 15.2	4	地域や施設の公式Webサイトの情報 12.0
5	地域や施設の公式Webサイトの情報 11.5	5	その他のWebサイトの情報 11.2
6	家族や友人知人からの紹介・推奨 8.3	6	旅行雑誌・ガイドブックの記事 11.2
7	旅行会社の旅行パンフレット 4.6	7	個人のブログやインターネット掲示板 10.8
8	特に理由はないが、なんとなく 2.8	8	特に理由はないが、なんとなく 4.6
9	自分の意志外(団体・ビジネス・帰省など) 2.3	9	旅行会社の旅行パンフレット 4.1
10	その他のWebサイトの情報 1.8	10	自分の意志外(団体・ビジネス・帰省など) 2.9
11	旅行会社の店員からの勧め 0.9	11	割引券や優待券 2.5
12	割引券や優待券 0.5	12	旅行会社の店員からの勧め 0.4

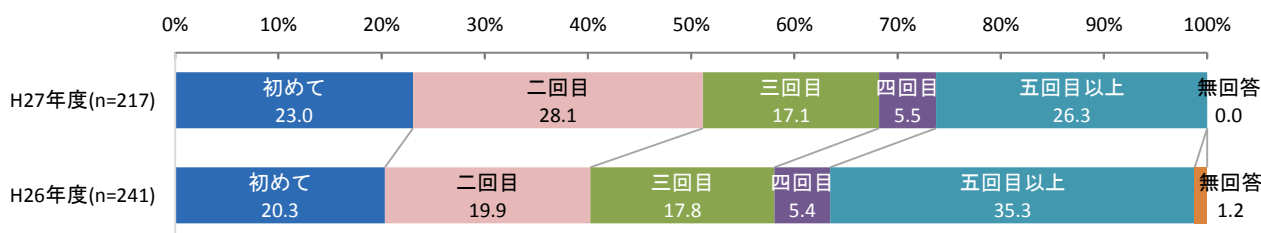
回答者を含む同行者数は、「2人」が平成26年度調査では53.5%であったが、平成27年度調査では56.7%と3.2ポイント増加した。一方「4人」が15.4%から14.3%で1.1ポイント減少した。

同行人数 ※回答者を含む



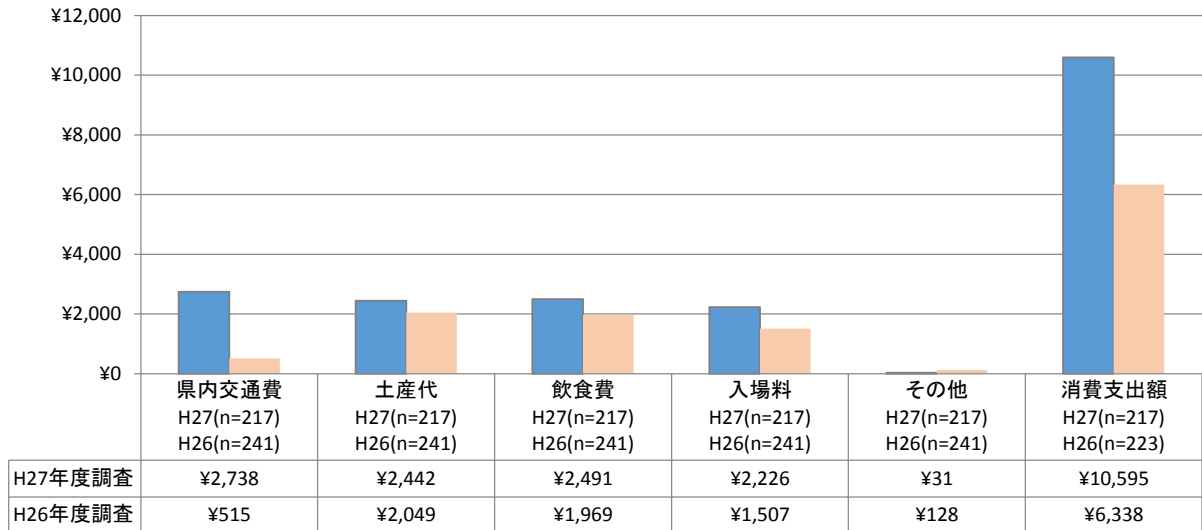
現在地周辺への来訪回数は、「二回目」が平成26年度調査では19.9%であったが、平成27年度調査では28.1%と8.2ポイント増加した。一方「五回目以上」が平成26年度調査では35.3%であったが、平成27年度調査では26.3%と9ポイント減少した。

現在地周辺への来訪回数※周辺住民を除く



消費支出の総額は、平成26年度調査では6,338円であったが、平成27年度調査では10,595円に増加した。

消費支出 総額



iii. 県央エリア

①平成27年度調査結果

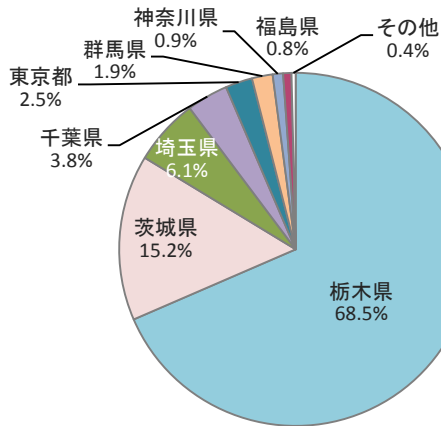
日帰り客 (県央エリア)

サンプル数：527

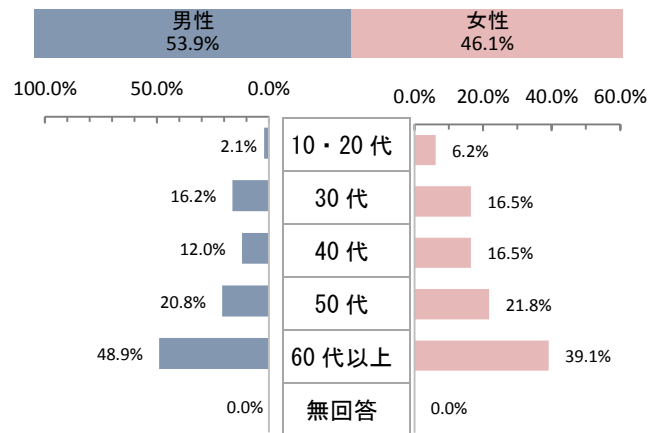
お住まいは「栃木県」が最も多く68.5%、次いで「茨城県」が15.2%、「埼玉県」が6.1%であった。性別は、「男性」が53.9%であり、年代は、男女ともに「60歳代」が最も多く、男性が48.9%、女性が39.1%で、シニア層の割合が高い。

調査地域周辺への来訪回数は、「五回目以上」が65.0%で最も多く、栃木県での滞在時間は、「2～4時間未満」が38.3%で最も多かった。また、同行者数は「2人」が46.1%で最も多く、同行者の関係は「夫婦旅行」が32.6%で最も多かった。

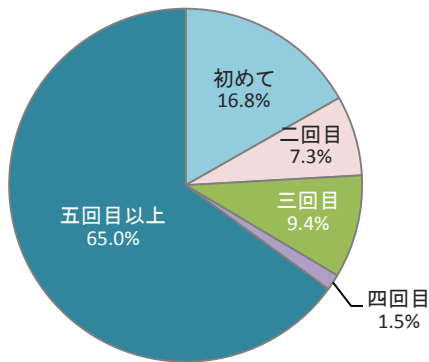
お住まい (n=527)



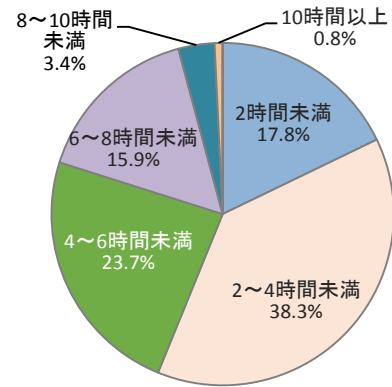
性別・年代 (n=527)



調査地域周辺への来訪回数 (n=477)

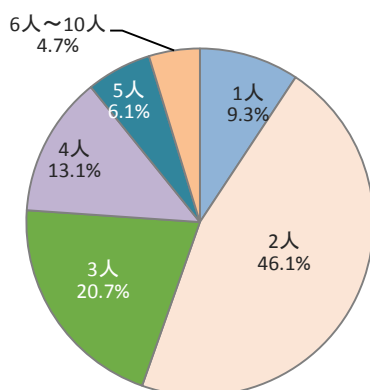


栃木県での滞在時間 (n=527)

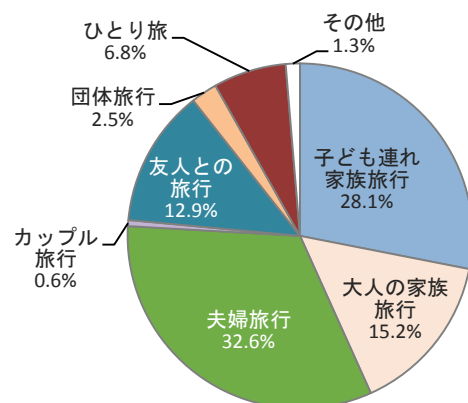


平均滞在時間：4時間00分

同行者数 ※回答者を含む (n=527)

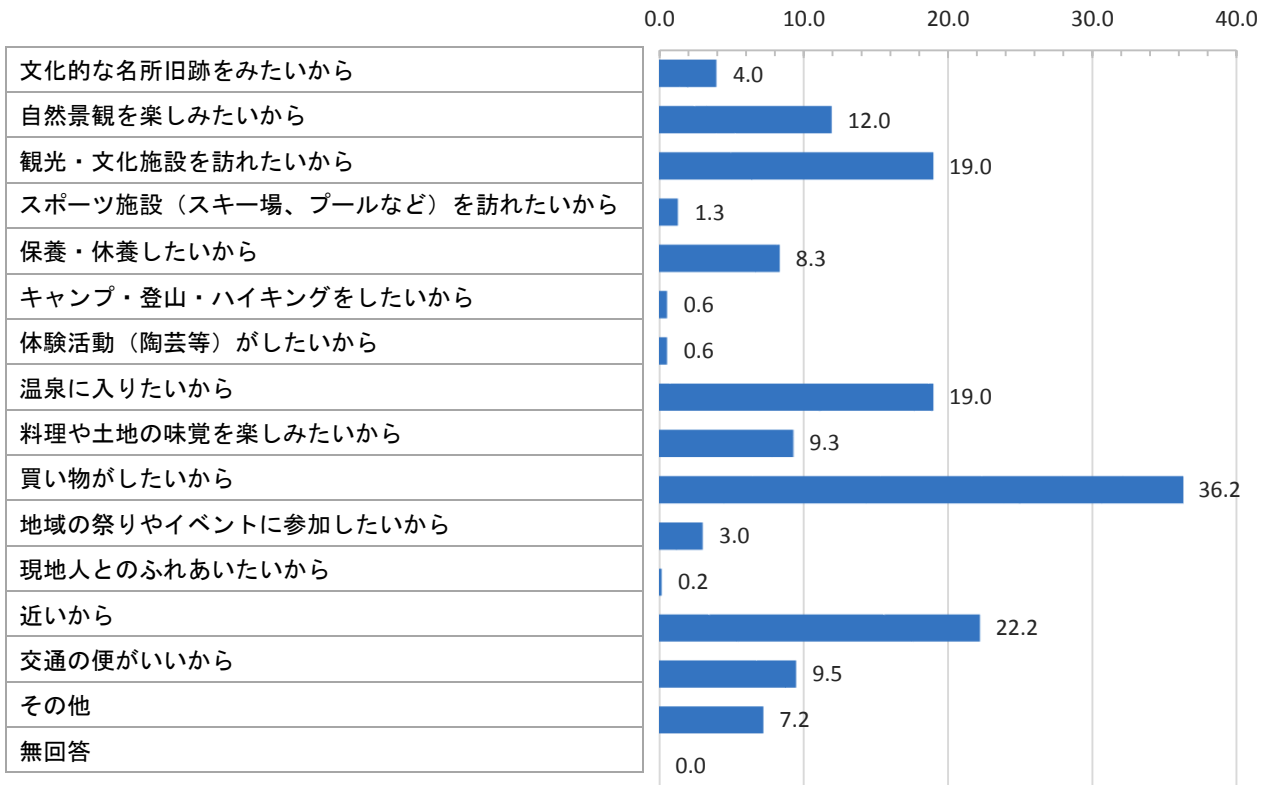


同行者の関係 (n=527)

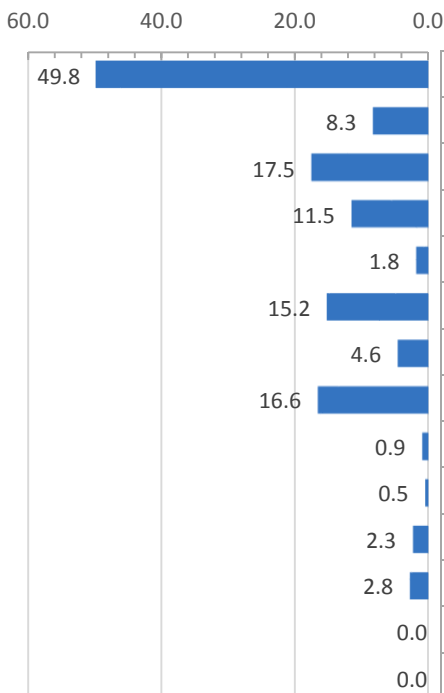


旅行先に選んだ理由は「買い物がしたいから」が36.2%で最も多く、次いで「近いから」が22.2%であった。旅行先に選んだ情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が70.2%で最も多く、決め手となった情報源も「以前来訪した際の自身の経験」が60.9%で最も多かった。

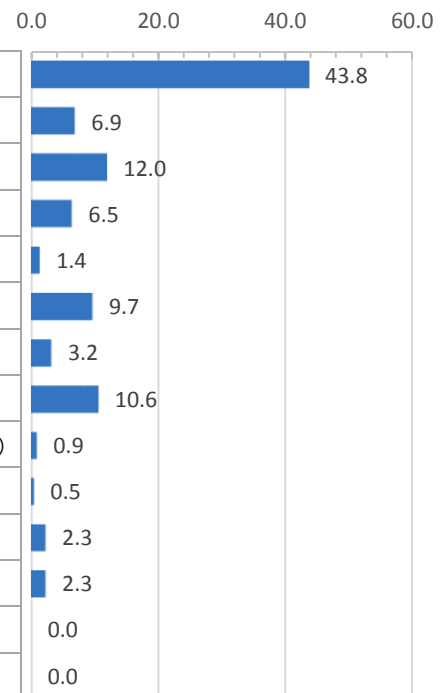
旅行先に選んだ理由（複数回答）（n=527）



旅行先に選んだ情報源（複数回答）（n=217）



“決め手”となった情報源（単一回答）（n=217）



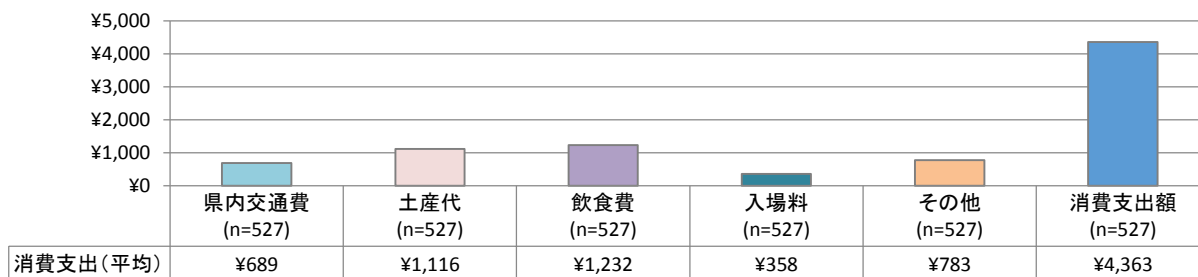
第2章 観光客調査 調査結果

1. 日帰り客 (2) エリアごと iii. 県央エリア

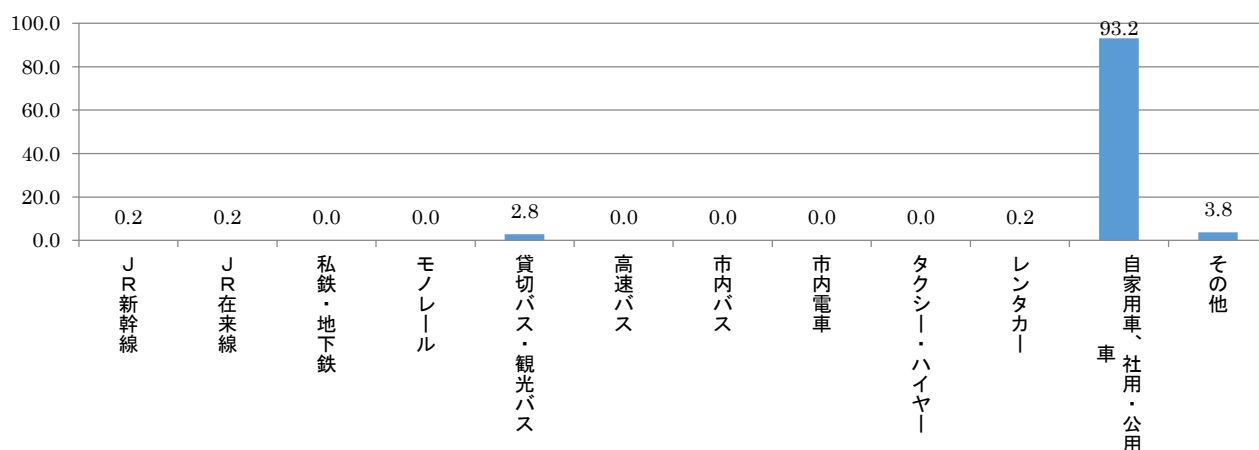
消費支出の平均は、総額で4,363円であった。内訳は、「飲食費」が1,232円で最も多く、次いで「土産代」が1,116円であった。利用交通機関は、「自家用車・社用・公用車」が93.2%で最も多かった。

立ち寄り観光施設は、「道の駅ばとう」が44人で最も多く、次いで「大谷資料館」が16人であった。

消費支出（平均）



利用交通機関（複数回答）(n=527) ※ () 内は施設に立ち寄った人数



立ち寄り観光施設 (n=527) ※ () 内は施設に立ち寄った人数

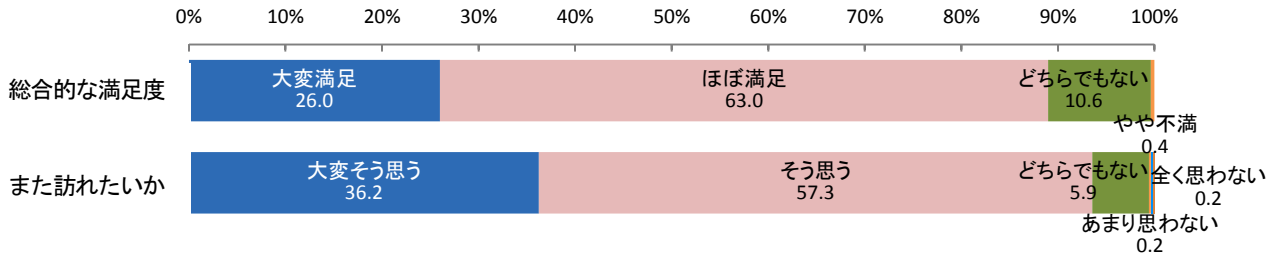
那須	日光	県央
那須ガーデンアウトレット(7)	東武ワールドスクウェア(3)	元気あっぶむら(1)
塩原温泉郷(7)	華厳滝(2)	いわむらかずお絵本の丘美術館(1)
馬頭広重美術館(7)	湯滝・湯の湖(1)	うぐいすの森ゴルフクラブ(1)
栃木県なかがわ水遊園(3)	日光湯元温泉(1)	県東
道の駅那須与一の郷(2)	日光江戸村(1)	道の駅もてぎ(6)
道の駅「明治の森黒磯」(2)	県央	益子焼(2)
黒羽観光やな(1)	道の駅ばとう(44)	道の駅にのみや(1)
雲巖寺(1)	大谷資料館(16)	大瀬観光やな(1)
くろばね紫陽花まつり(1)	鷲子山上神社(9)	道の駅サシバの里いちかい(1)
千本松牧場(1)	馬頭温泉郷(5)	友遊はが(1)
那須ハイランドパーク(1)	まほろばの湯湯親館(4)	県南
東山道伊王野(1)	道の駅きつれがわ(3)	佐野プレミアム・アウトレット(5)
那須高原友愛の森(1)	宇都宮動物園(2)	道の駅 しもつけ(2)
鹿の湯(1)	早乙女温泉(2)	
日光	御前岩(2)	
二社一寺参拝者(8)	栃木県立美術館(1)	
中禅寺湖(3)	古峯神社(1)	
	花木センター(1)	

※対象者が現在いる地点（調査地点）は立ち寄り観光施設にカウントしない。

ろまんちっく村(184)、道の駅きつれがわ(152)、道の駅ばとう(191)

調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた満足層が 89.0%であった。また訪れたいかは、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた再来訪意向層が 93.5%であった。

調査地域の総合満足度／再来訪意向 (n=527)

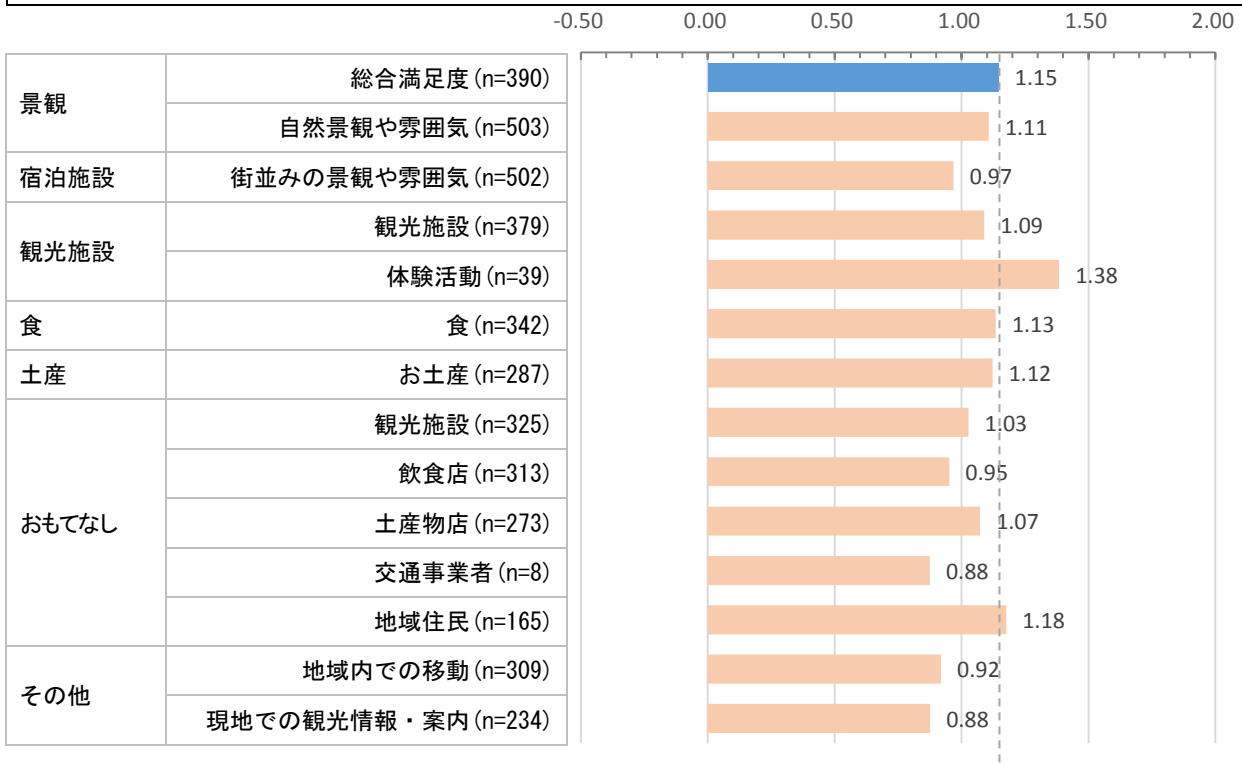


【加重平均値】

総合的な満足度	また訪れたいか
1.15	1.29

「総合満足度」は 1.15 であった。満足度を項目別にみると、「観光施設 体験活動」に対する満足度は 1.38 で高い傾向にある。

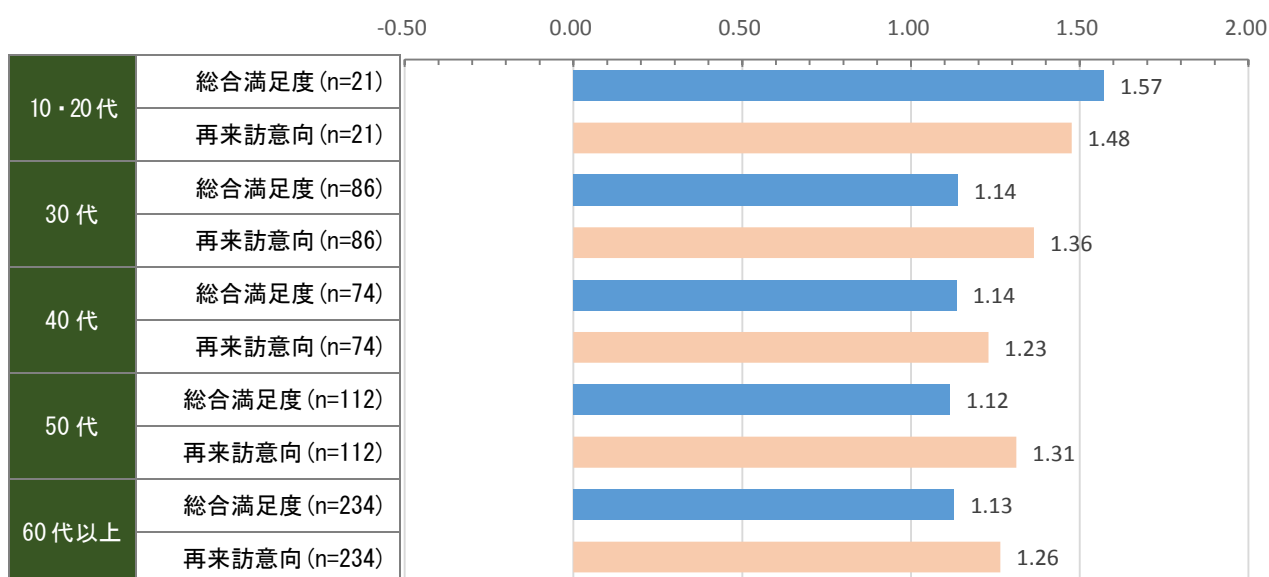
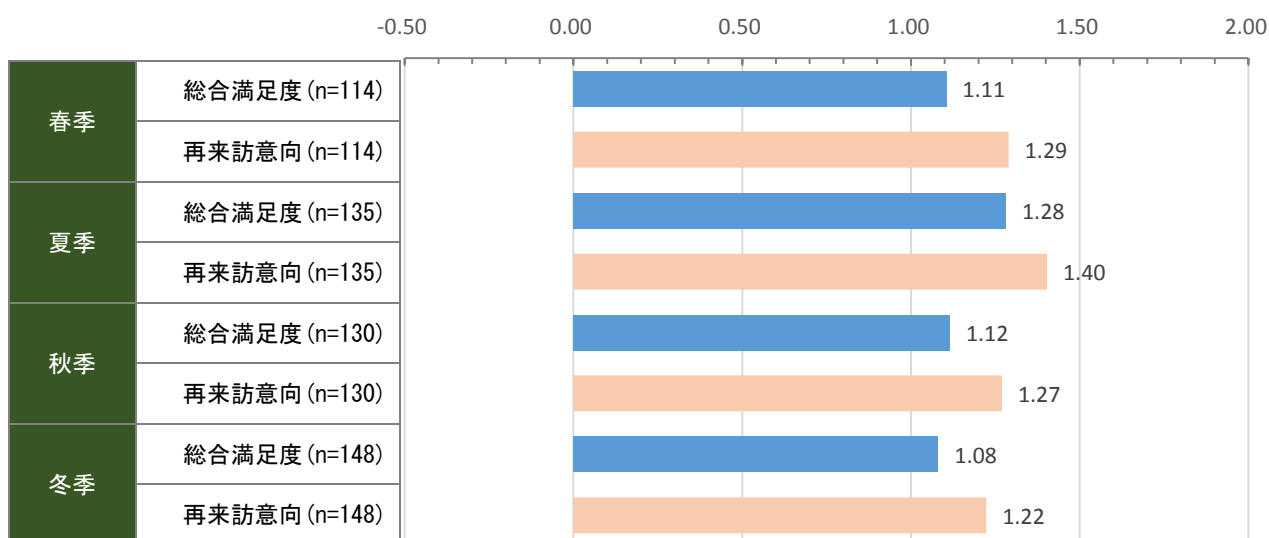
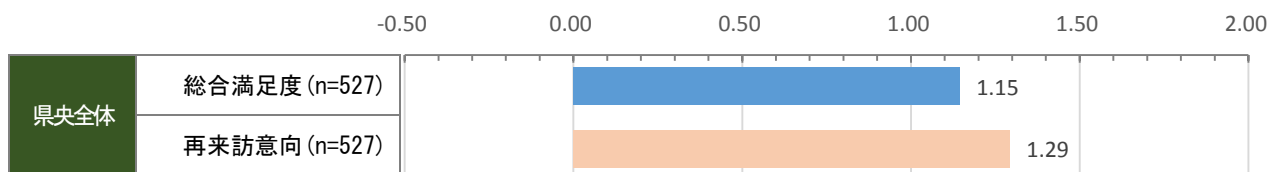
項目別満足度 (加重平均値)



調査地域の総合満足度／再来訪意向（季節別・年代別）

総合満足度を季節別にみると、「夏季」が 1.28 で最も高いが、四季による変動はほとんどない。また、再来訪意向は、「夏季」が 1.40 で最も高いが、四季による変動はほとんどない。

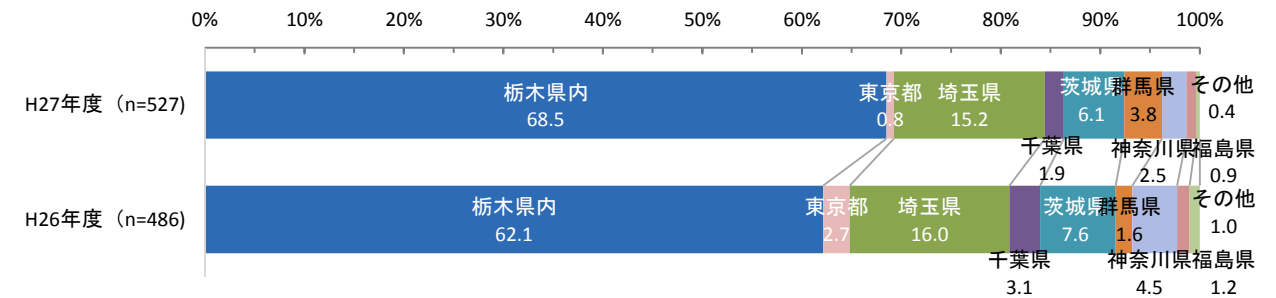
年代別にみると、総合満足度は「10.20 代」が 1.57 で最も高く、再来訪意向については「10.20 代」が 1.48 で最も高い。



②過去調査との比較

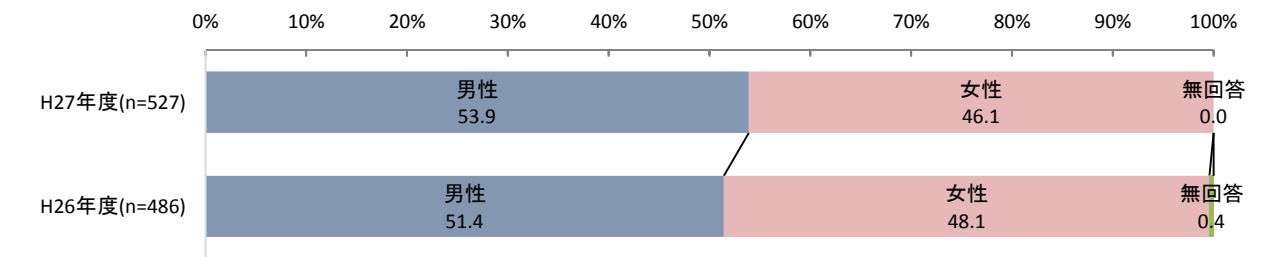
お住まいは、平成 26 年度調査では、栃木県内が 62.1%であったが、平成 27 年度調査では 68.5%と 6.4%ポイント増加した。「東京都」が平成 26 年度調査では 2.7%であったが、平成 27 年度調査では 0.8%と 1.9 ポイント減少した。一方「群馬県」は 1.6%から 3.8%と 2.2 ポイント増加した。

お住まい



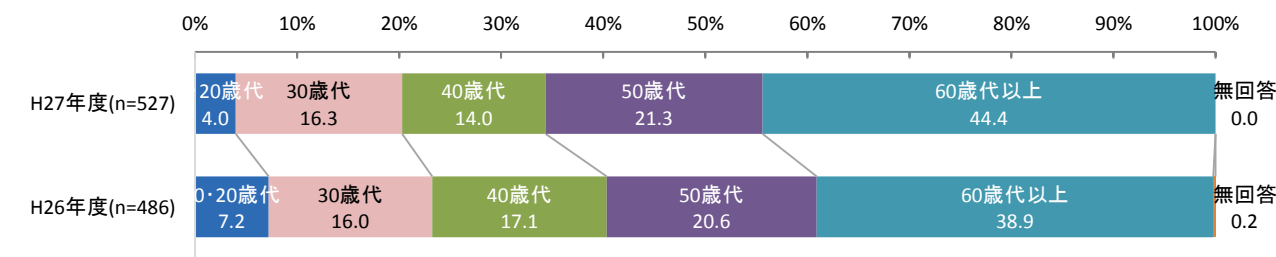
性別は、平成 26 年度の調査でも平成 27 年度調査でも、ほぼ半数であった。

性別



年代は、「10・20 歳代」が平成 26 年度調査では 7.2%であったが、平成 27 年度調査では 4.0%と 3.2 ポイント減少した。一方、「60 歳代以上」は平成 26 年度調査では 38.9%であったが、平成 27 年度調査では 44.4%と 5.5 ポイント増加した。

年代



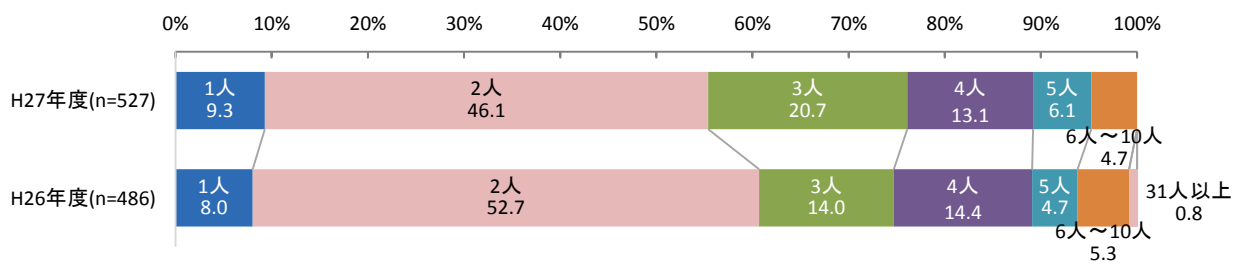
旅行先に選んだ情報源は、平成26年度調査では「以前来訪した際の自身の経験」が最も多く54.1%であったが、平成27年度調査では70.2%と16.1ポイント増加した。次いで「家族や友人知人からの紹介・推奨」は平成26年度調査では16.3%であったが、H27年度調査では18.4%と2.1ポイント増加した。

旅行先に選んだ情報源

平成27年度調査 (n=527)		平成26年度調査 (n=486)	
1	以前来訪した際の自身の経験	70.2	54.1
2	家族や友人知人からの紹介・推奨	18.4	16.3
3	特に理由はないが、なんとなく	10.4	7.0
4	個人のブログやインターネット掲示板	5.3	6.2
5	地域や施設の公式Webサイトの情報	4.0	6.2
6	旅行雑誌・ガイドブックの記事	3.2	5.1
7	自分の意志外(団体・ビジネス・帰省など)	3.0	4.9
8	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	2.1	4.5
9	その他のWebサイトの情報	1.1	3.1
10	割引券や優待券	0.6	1.4
11	旅行会社の旅行パンフレット	0.4	0.8
12	旅行会社の店員からの勧め	0.2	0.6

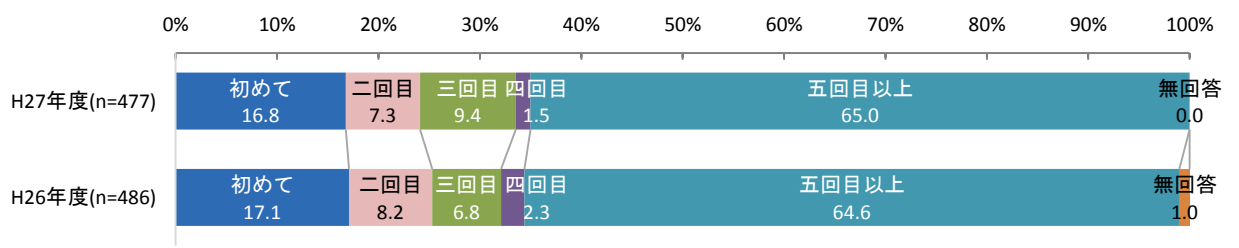
回答者を含む同行者数は、「2人」が平成26年度調査では52.7%であったが、平成27年度調査では46.1%と6.6ポイント減少した。一方「3人」が14.0%から20.7%と6.7ポイント増加した。

同行人数 ※回答者を含む



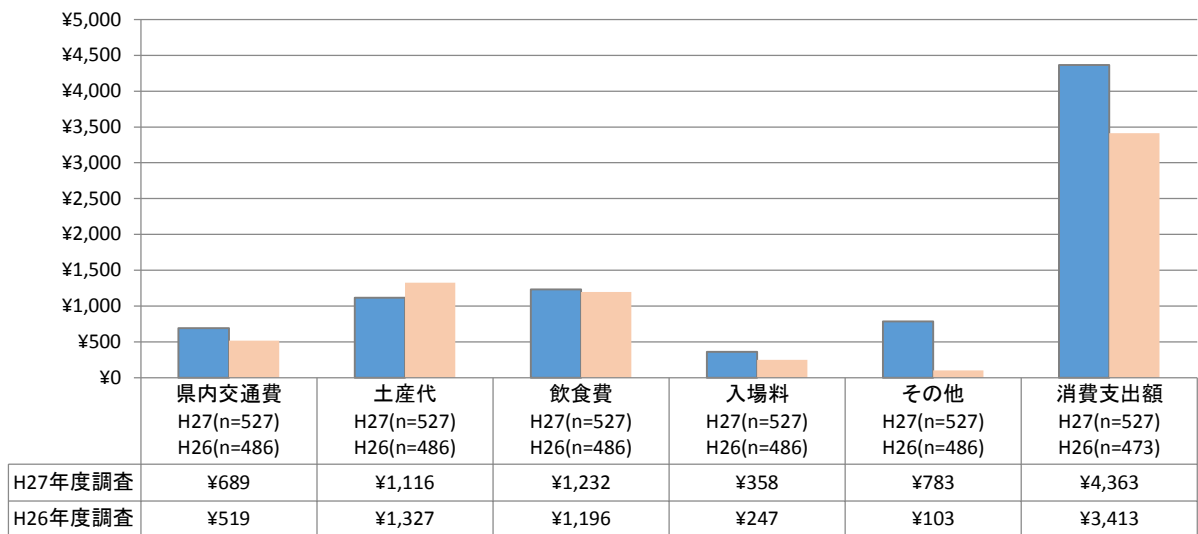
現在地周辺への来訪回数は、平成26年度調査とほぼ同様の傾向であった。

現在地周辺への来訪回数※周辺住民を除く



消費支出の総額は、平成26年度調査では3,413円であったが、平成27年度調査では4,363円に増加した。

消費支出 総額



iv. 県東エリア

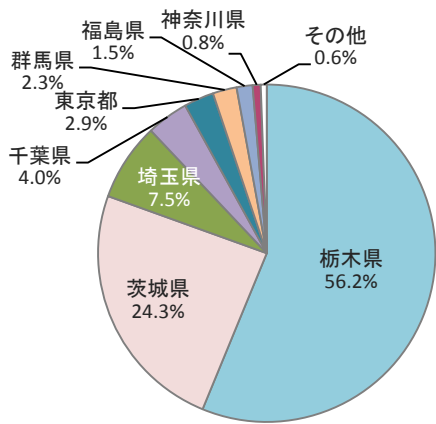
①平成27年度調査結果

日帰り客 (県東エリア) サンプル数 : 523

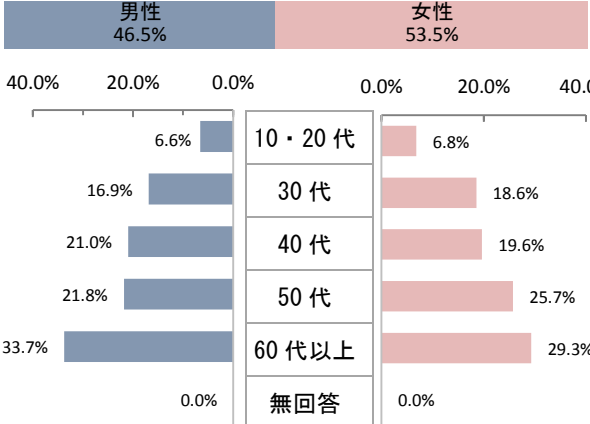
お住まいは「栃木県」が最も多く 56.2%であった。次いで「茨城県」が 24.3%であった。性別は、「男性」が 46.5%であり、年代は、男女ともに「60歳代」が最も多く、男性が 33.7%、女性が 29.3%と、シニア層の割合が高い。

現在地周辺の来訪回数は、「五回目以上」のリピーターが 71.6%で最も多く、栃木県での滞在時間は、「2時間未満」が 34.0%で最も多かった。また、同行者数は「2人」が 48.4%で最も多く、同行者の関係は「夫婦旅行」が 32.9%で最も多く、次いで「子ども連れ家族旅行」が 28.9%であった。

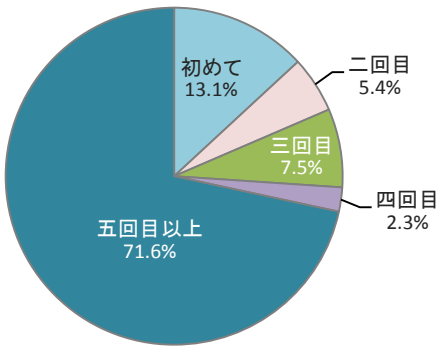
お住まい (n=523)



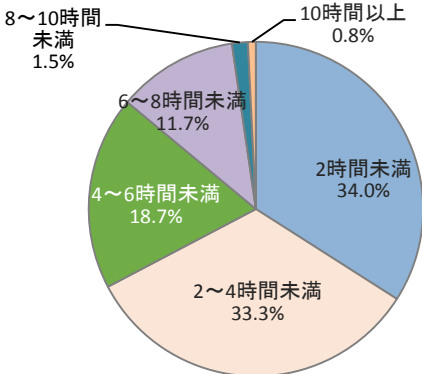
性別・年代 (n=523)



調査地域周辺への来訪回数 (n=518)

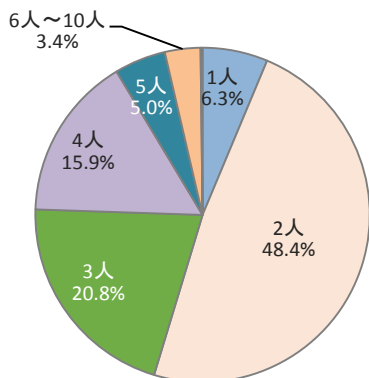


栃木県での滞在時間 (n=523)

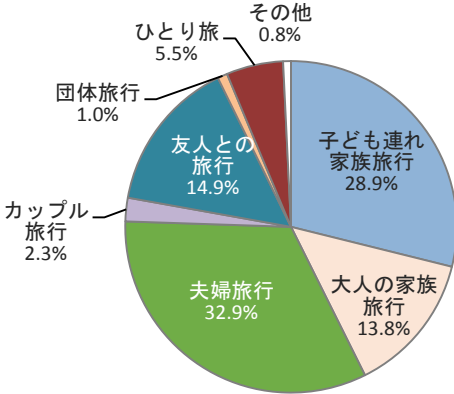


平均滞在時間 : 3 時間 18 分

同行人数 ※回答者を含む (n=523)

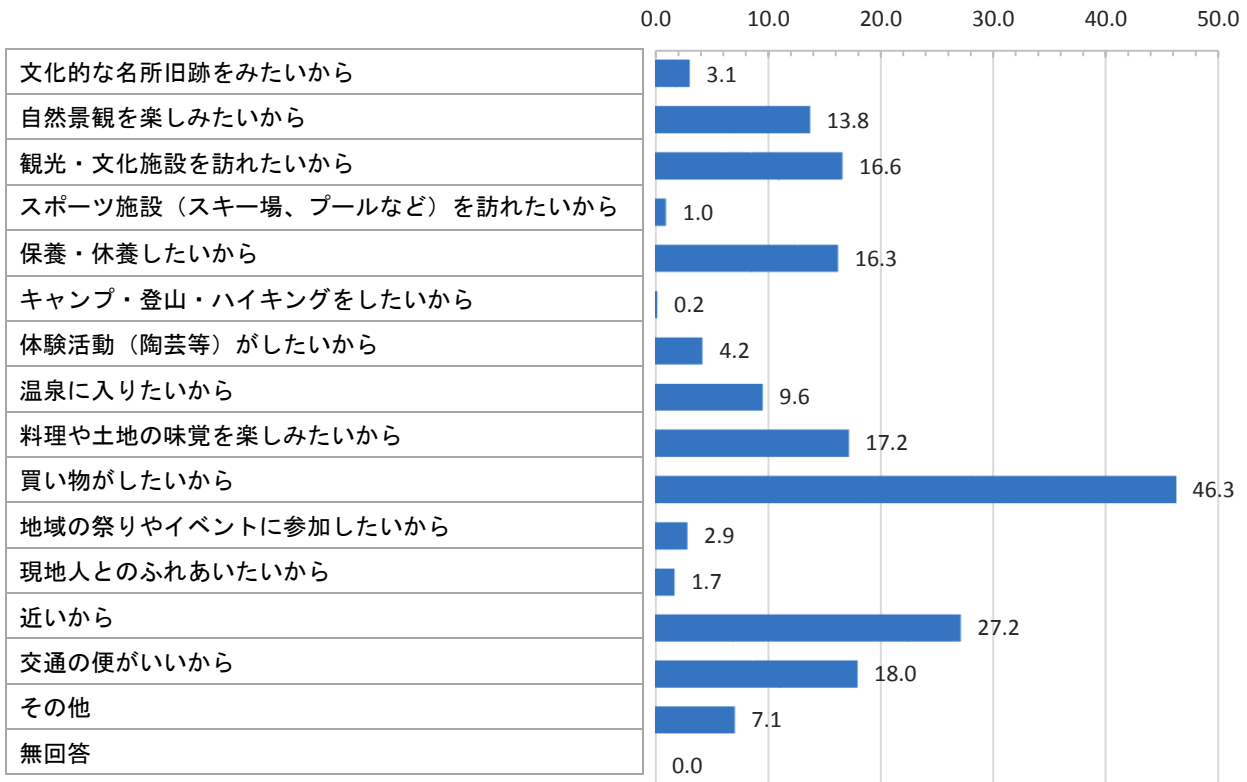


同行者の関係 (n=523)



旅行先に選んだ理由は「買い物がしたいから」が46.3%で最も多く、次いで「近いから」が27.2%であった。旅行先に選んだ情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が71.3%で最も多く、決め手となった情報源も「以前来訪した際の自身の経験」が65.0%で最も多かった。

旅行先に選んだ理由（複数回答）（n=523）



旅行先に選んだ情報源（複数回答）（n=523）

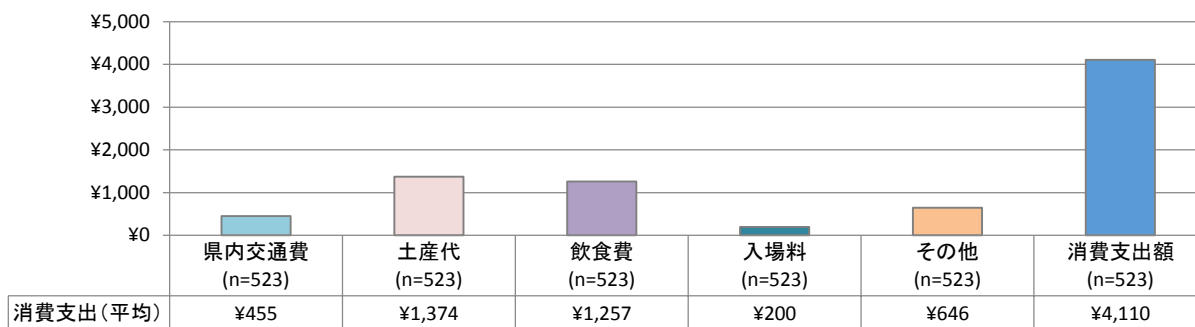
“決め手”となった情報源（単一回答）（n=523）



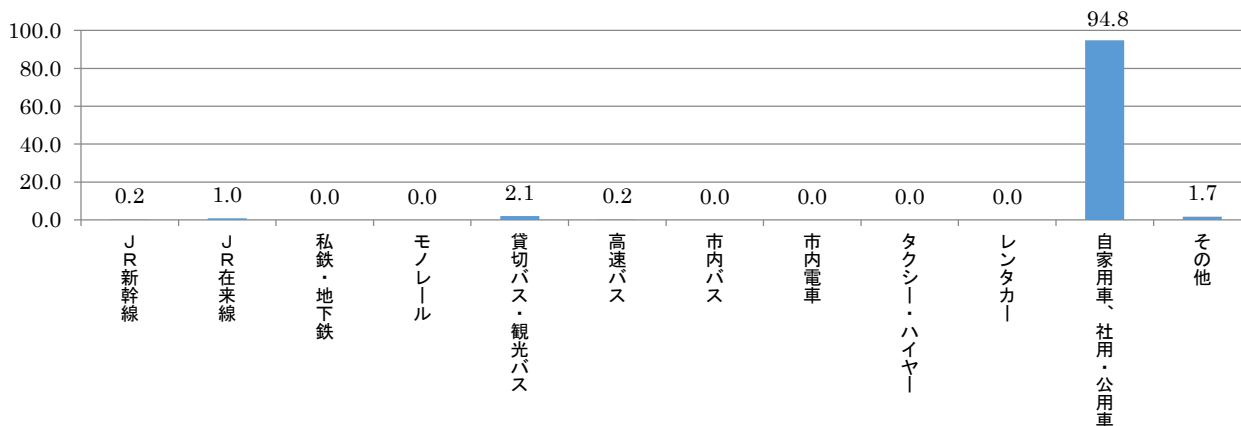
消費支出の平均は、総額で4,110円であった。内訳は、「土産代」が1,374円で最も多く、次いで「飲食費」が1,257円であった。利用交通機関は、「自家用車・社用・公用車」が94.8%で最も多かった。

立ち寄り観光施設は、「道の駅サシバの里いちかい」が23人で最も多く、次いで「道の駅もてぎ」が19人であった。

消費支出（平均）



利用交通機関（複数回答）※（ ）内は施設に立ち寄った人数



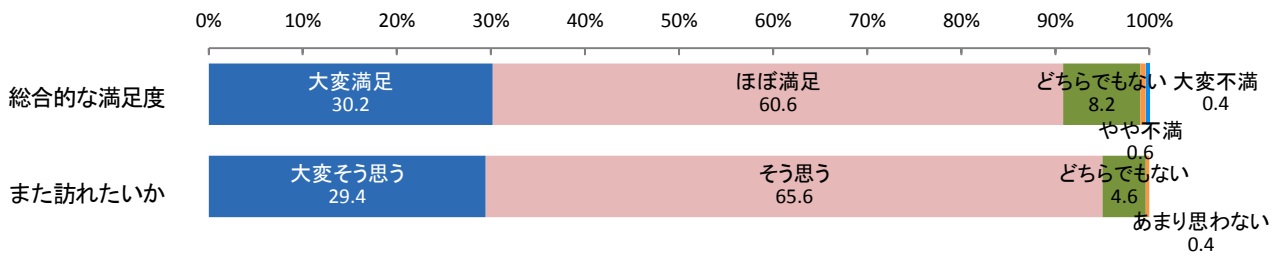
立ち寄り観光施設（n=523）※（ ）内は施設に立ち寄った人数

那須	県央	県東
道の駅那須与一の郷(1)	宇都宮美術館(1)	真岡鐵道(1)
栃木県ながわ水遊園(1)	古峯神社(1)	大前神社(1)
千本松牧場(1)	道の駅きつれがわ(1)	陶芸メッセ・益子(1)
那須高原友愛の森(1)	県東	外池酒造(1)
鹿の湯(1)	道の駅サシバの里いちかい(23)	いい里さかがわ館(1)
馬頭広重美術館(1)	道の駅もてぎ(19)	S L列車（真岡鉄道茂木駅）(1)
日光	ツインリンクもてぎ(14)	学問の神様天満宮(1)
中禅寺湖(1)	大瀬観光やな(8)	県南
鬼怒川温泉(1)	道の駅にのみや(4)	道の駅 しもつけ(5)
県央	益子焼(4)	とちぎあじさいまつり(1)
元気あっぶむら(3)	ひまわり祭り(4)	渡良瀬遊水地のヨシ焼き(1)
道の駅ぱとう(3)	井頭公園(3)	佐野プレミアム・アウトレット(1)
観光やな ひのきや(2)	友遊はが(3)	おもちゃ博物館(1)
矢沢のやな(2)	真岡井頭温泉(2)	道の駅 みぶ(1)
ろまんちっく村(1)	芳賀温泉ロマンの湯(2)	
栃木県立博物館(1)	真岡木綿会館(1)	

※対象者が現在いる地点（調査地点）は立ち寄り観光施設にカウントしない。
道の駅もてぎ（193）、陶芸メッセ益子（133）、道の駅はが（197）

調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた満足層が 90.8%であった。また訪れたいかは、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた再来訪意向層が 95.0%であった。

調査地域の総合満足度／再来訪意向 (n=523)

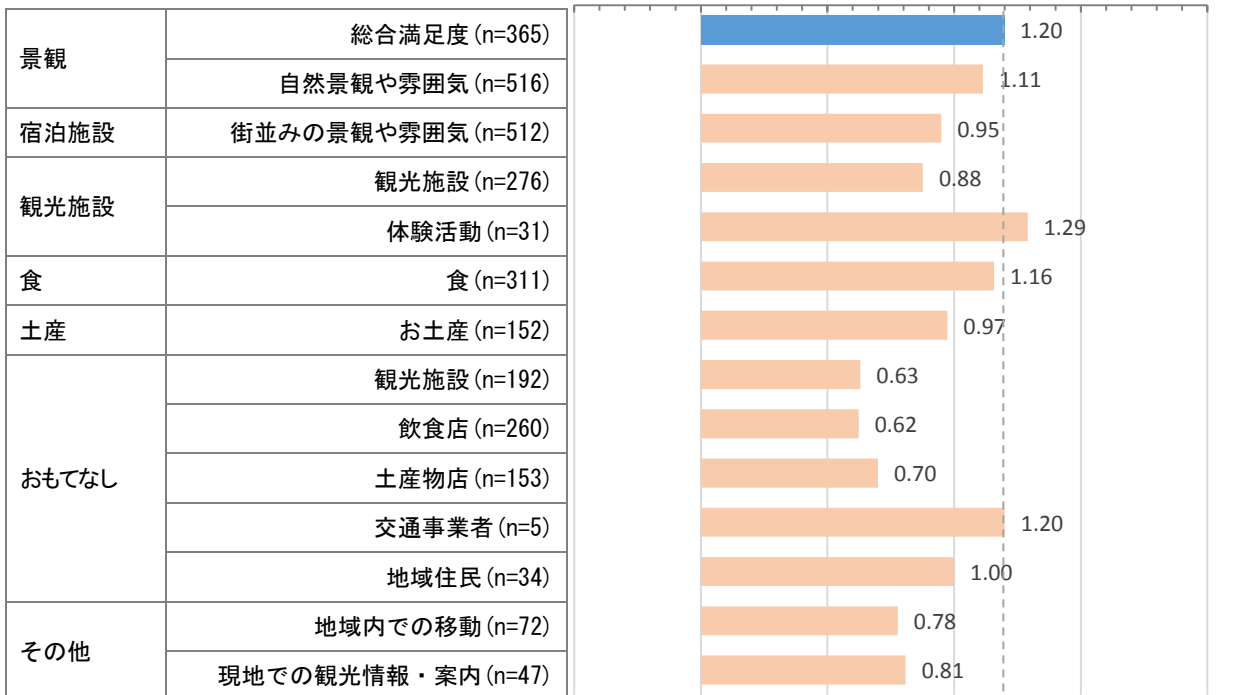


【加重平均値】

項目	加重平均値
総合的な満足度	1.20
また訪れたいか	1.24

「総合満足度」は 1.20 であった。満足度を項目別にみると、「観光施設 体験活動」に対する満足度は 1.29 で高い傾向にある。

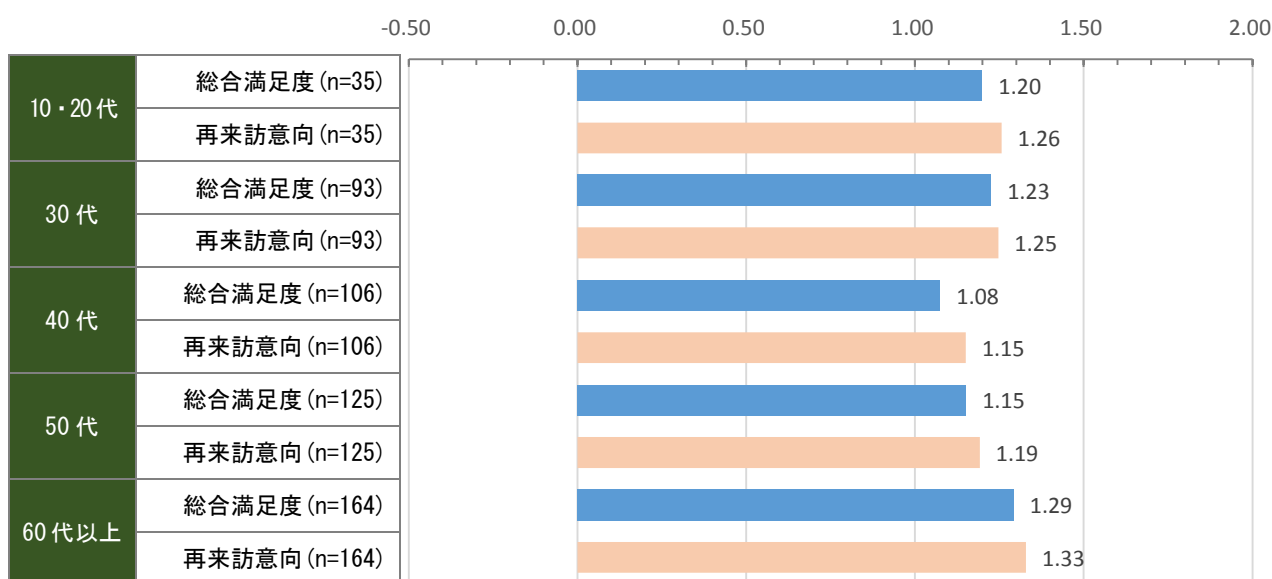
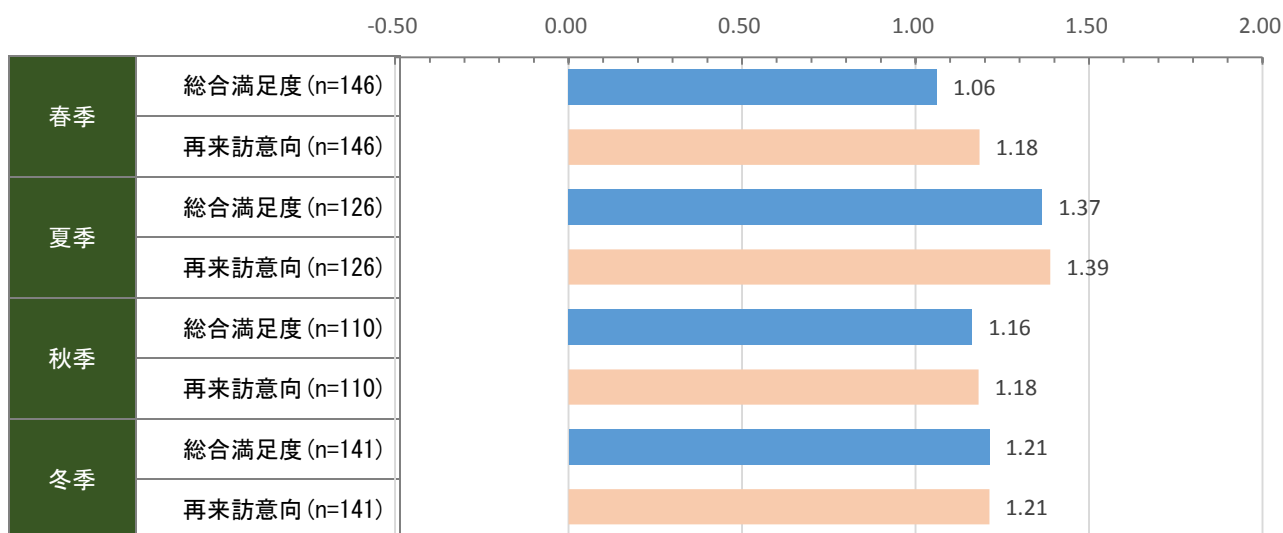
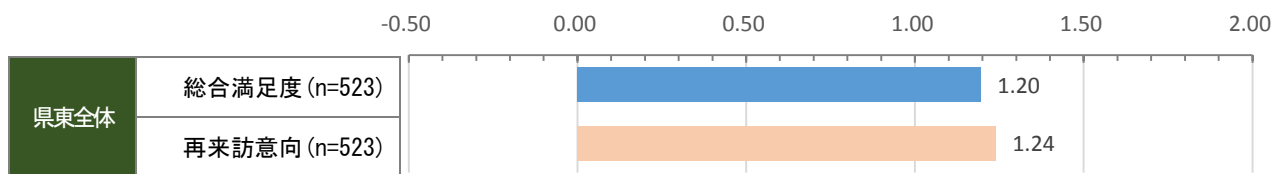
項目別満足度 (加重平均値)



調査地域の総合満足度／再来訪意向（季節別・年代別）

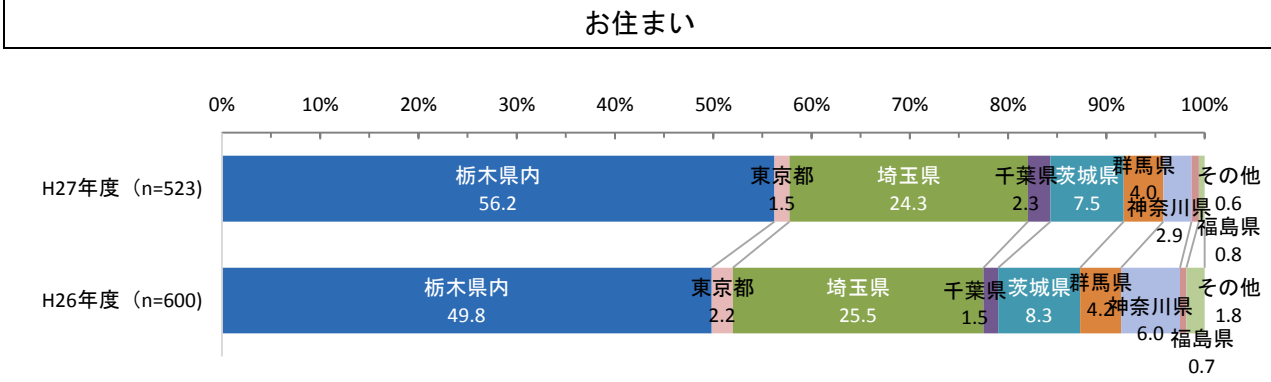
総合満足度を季節別にみると、「夏季」が 1.37 で最も高いが、四季による変動はほとんどない。また、再来訪意向は、「夏季」が 1.39 で最も高く、四季による変動はほとんどない。

年代別にみると、総合満足度は「60 代以上」が 1.39 で最も高く、再来訪意向については、「60 歳以上」が 1.33 で最も高かった。

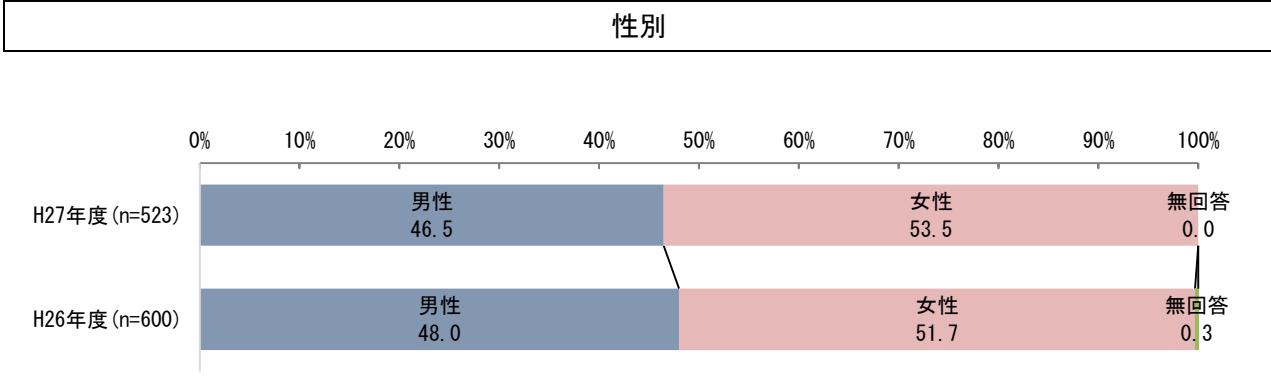


②過去調査との比較

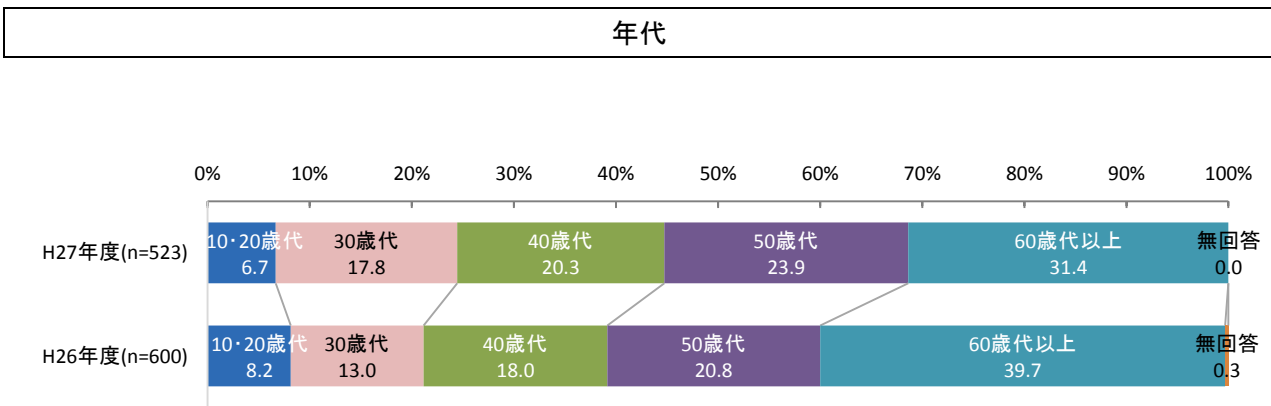
お住まいは、平成26年度調査では、栃木県内49.8であったが、平成27年度調査では56.2%と6.4ポイント増加した。一方「埼玉県」が25.5%から24.3%で1.2ポイント減少、「神奈川県」も6.0%から2.9%と3.1ポイント減少した。



性別は、平成26年度の調査でも平成27年度調査でもほぼ半数であった。



年代は、「50歳代」が平成26年度調査では20.8%であったが、平成27年度調査では23.9%と3.1ポイント増加した。一方、「60歳代以上」は39.7%から31.4%と8.3ポイント減少した。



第2章 観光客調査 調査結果
 1. 日帰り客 (2) エリアごと iv. 県東エリア

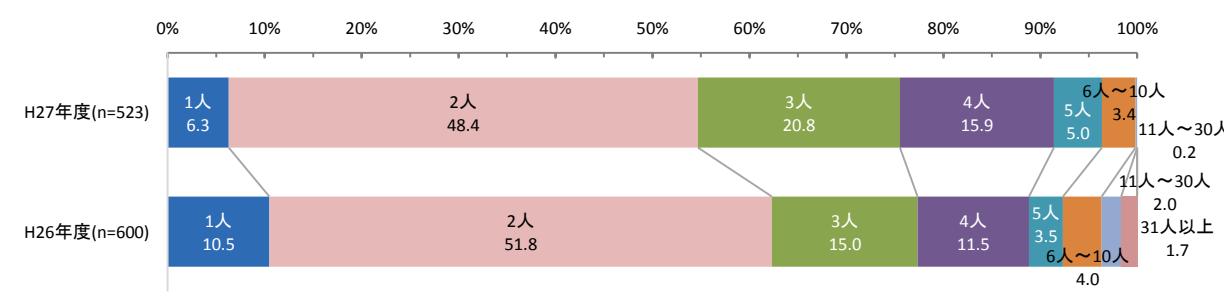
旅行先に選んだ情報源は、平成26年度調査では「以前来訪した際の自身の経験」が最も多く69.0%であったが、平成27年度調査では71.3%と2.3ポイント増加した。次いで「家族や友人知人からの紹介・推奨」は平成26年度調査では14.2%であったが、平成27年度調査では13.0%と1.2ポイント減少した。

旅行先に選んだ情報源

平成27年度調査 (n=523)		平成26年度調査 (n=600)	
1	以前来訪した際の自身の経験 71.3	1	以前来訪した際の自身の経験 69.0
2	特に理由はないが、なんとなく 13.6	2	家族や友人知人からの紹介・推奨 14.2
3	家族や友人知人からの紹介・推奨 13.0	3	旅行雑誌・ガイドブックの記事 5.3
4	地域や施設の公式 Web サイトの情報 6.9	4	個人のブログやインターネット掲示板 4.0
5	個人のブログやインターネット掲示板 6.1	5	自分の意志外 (団体・ビジネス・帰省など) 4.0
6	旅行雑誌・ガイドブックの記事 6.1	6	地域や施設の公式 Web サイトの情報 3.3
7	その他の Web サイトの情報 2.7	7	テレビや映画での紹介、ロケ地情報 2.8
8	テレビや映画での紹介、ロケ地情報 1.5	8	特に理由はないが、なんとなく 2.8
9	旅行会社の旅行パンフレット 1.3	9	旅行会社の旅行パンフレット 2.0
10	割引券や優待券 1.1	10	その他の Web サイトの情報 1.5
11	自分の意志外 (団体・ビジネス・帰省など) 0.8	11	旅行会社の店員からの勧め 0.2
12	旅行会社の店員からの勧め 0.2	12	割引券や優待券 0.0

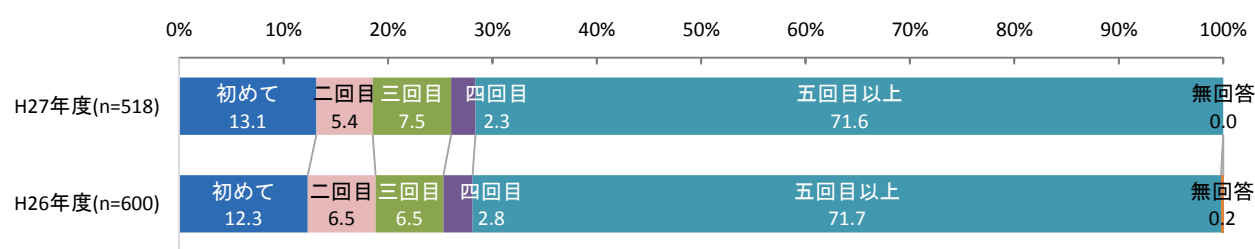
回答者を含む同行者数は、「1人」が平成26年度調査では10.5%であったが、平成27年度調査では6.3%と4.2ポイント減少した。一方「3人」が15.0%から20.8%、で5.8ポイント増加した。

同行人数 ※回答者を含む



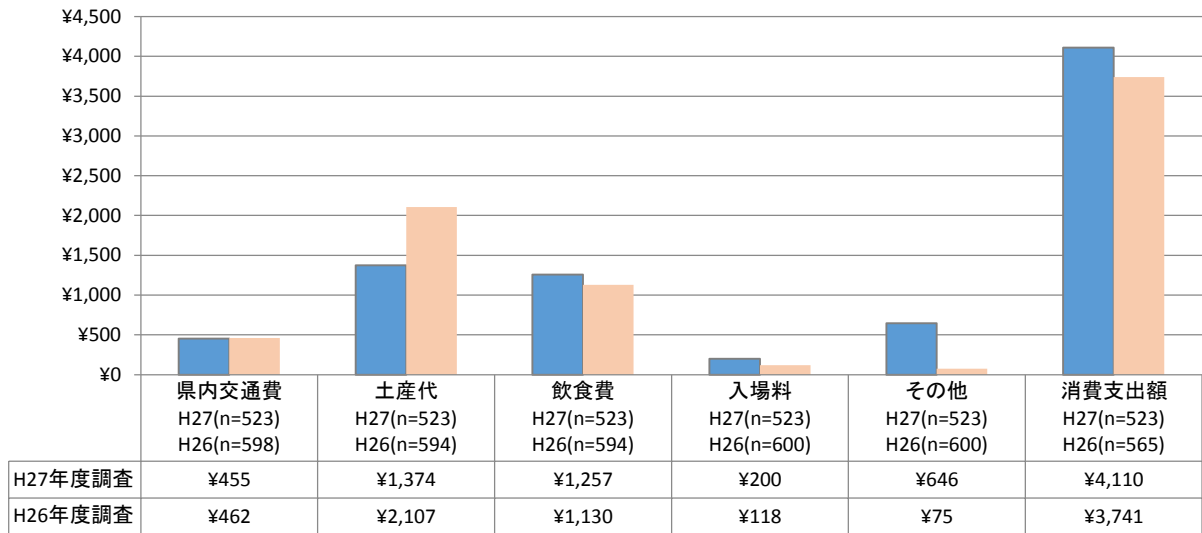
現在地周辺への来訪回数は、「初めて」が平成26年度調査では12.3%であったが、平成27年度調査では13.1%と0.8ポイント増加した。一方「二回目」は6.5%から5.4%と1.1ポイント減少した。

現在地周辺への来訪回数※周辺住民を除く



消費支出の総額は、平成26年度調査では3,741円であったが、平成27年度調査では4,110円に増加した。

消費支出 総額



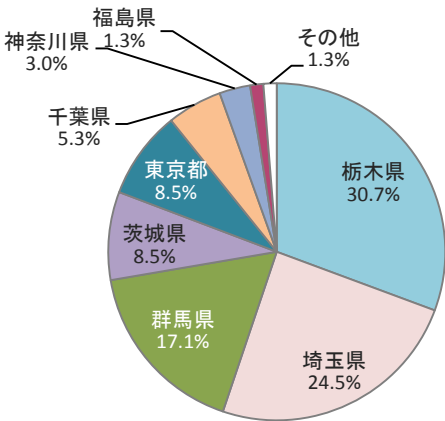
v. 県南エリア

①平成27年度調査結果

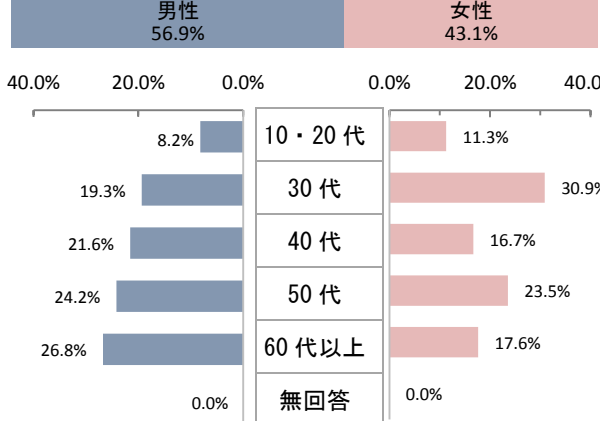
日帰り客 (県南エリア) サンプル数 : 473

お住まいは「栃木県」が最も多く30.7%、次いで「埼玉県」が24.5%、「群馬県」が17.1%であった。年代は、男性は「60歳代」が26.8%で最も多く、女性は「30歳代」が30.9%で最も多かった。調査地域周辺への来訪回数は、「五回目以上」のリピーターが54.7%で最も多く、次いで「初めて」が24.7%であった。栃木県での滞在時間は、「2～4時間未満」が44.0%で最も多かった。また、同行者数は「2人」が45.0%で最も多く、同行者の関係は「子ども連れ家族旅行」が41.4%、次いで「夫婦旅行」が28.8%であった。

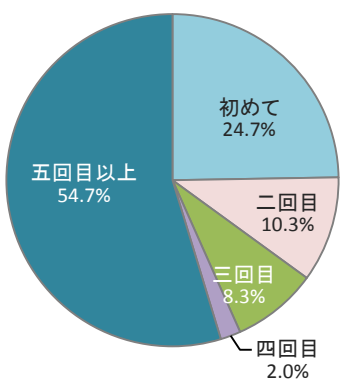
お住まい (n=473)



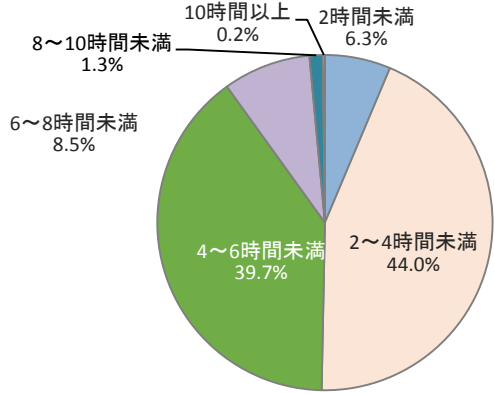
性別・年代 (n=473)



調査地域周辺への来訪回数 (n=457)

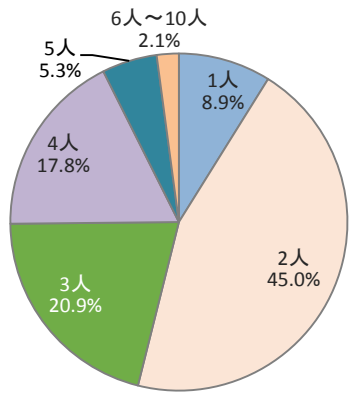


栃木県での滞在時間 (n=473)

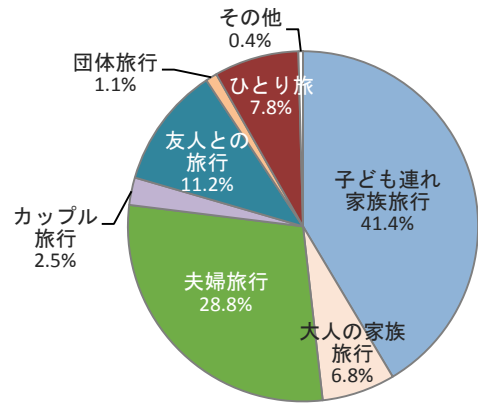


平均滞在時間 : 4 時間 06 分

同行者数 ※回答者を含む (n=473)

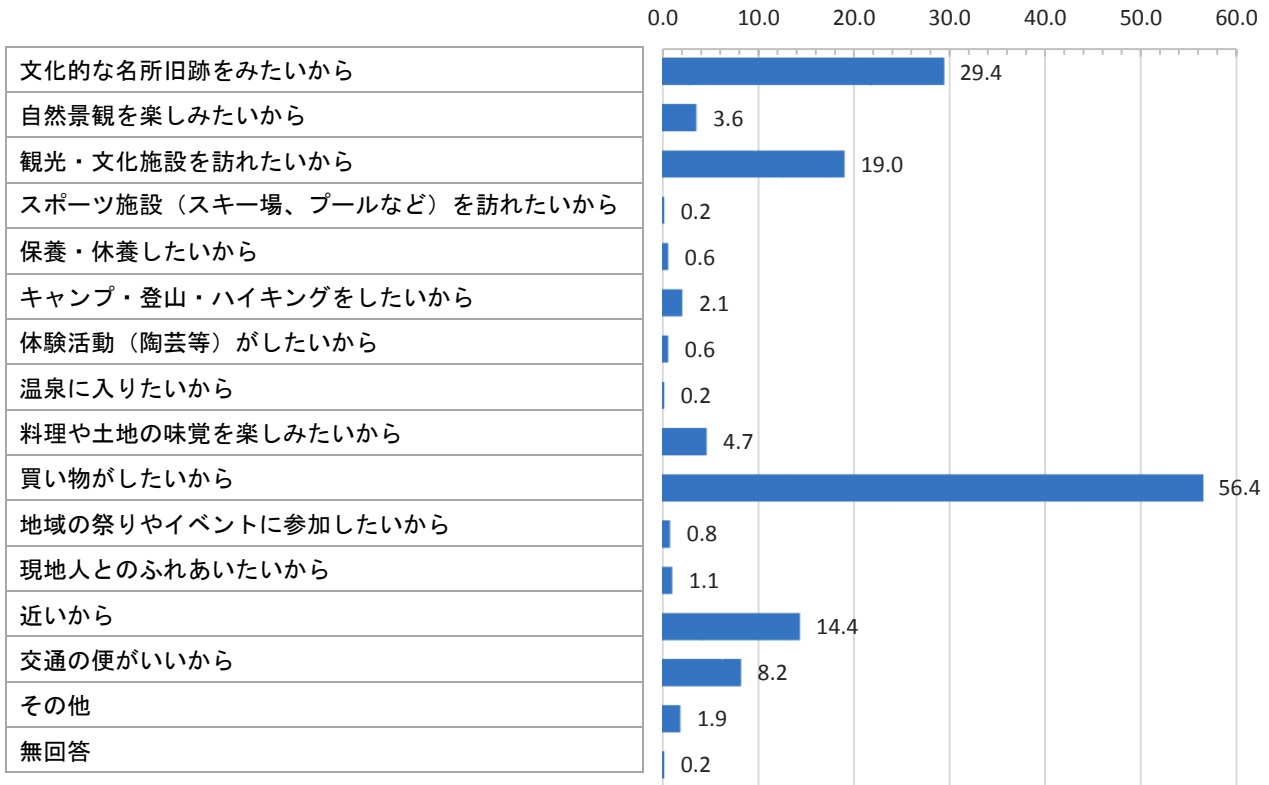


同行者の関係 (n=473)



旅行先に選んだ理由は「買い物がしたいから」が56.4%で最も多く、次いで「文化的な名所旧跡をみたいから」が29.4%であった。旅行先に選んだ情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が67.7%で最も多く、決め手となった情報源も「以前来訪した際の自身の経験」が61.3%で最も多かった。

旅行先に選んだ理由（複数回答）（n=473）



旅行先に選んだ情報源（複数回答）（n=473）

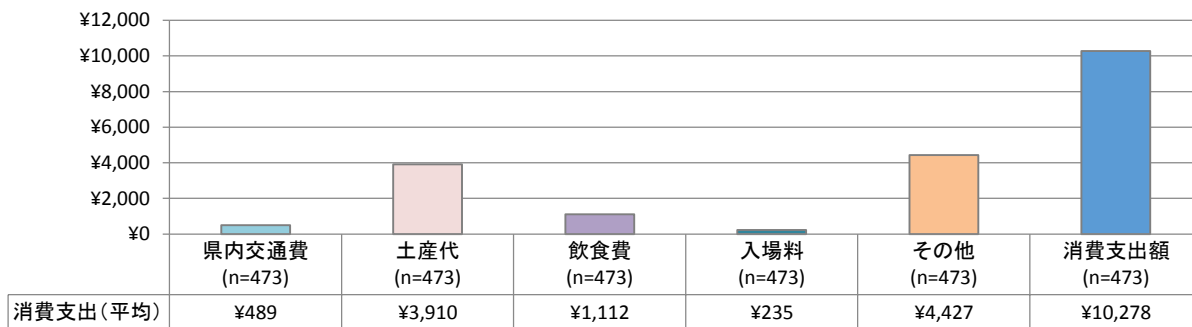
“決め手”となった情報源（単一回答）（n=473）



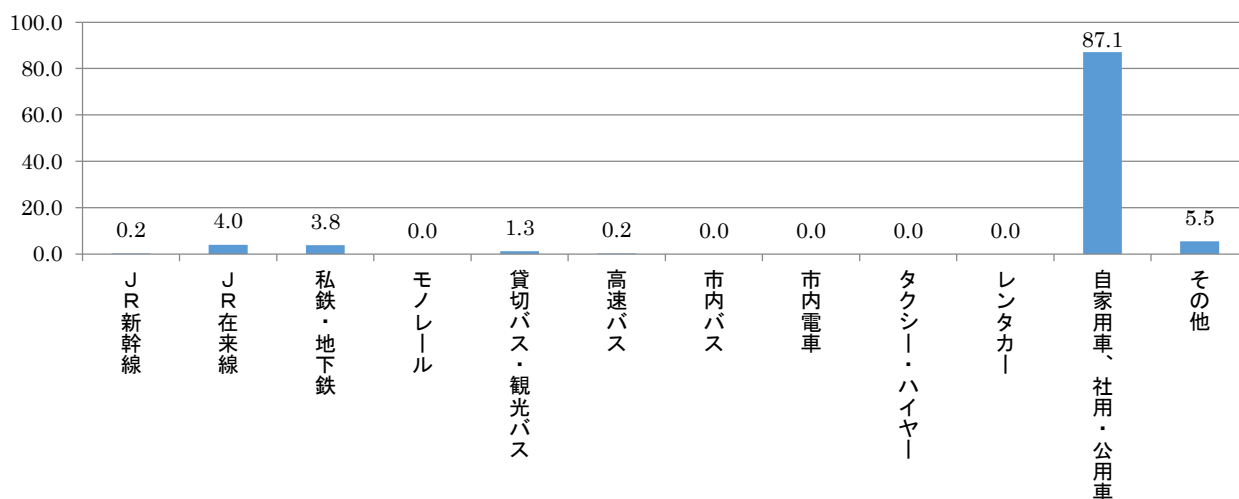
消費支出の平均は、総額で 10,278 円であった。内訳は、「土産代」が 3,910 円で最も多かった。利用交通機関は、「自家用車・社用・公用車」が 87.1%であった。

立ち寄り観光施設は、「あしかがフラワーパーク」が 21 人で最も多く、次いで「とちぎ蔵の街美術館」が 17 人であった。

消費支出（平均）



利用交通機関（複数回答）※（ ）内は施設に立ち寄った人数



立ち寄り観光施設（n=473）※（ ）内は施設に立ち寄った人数

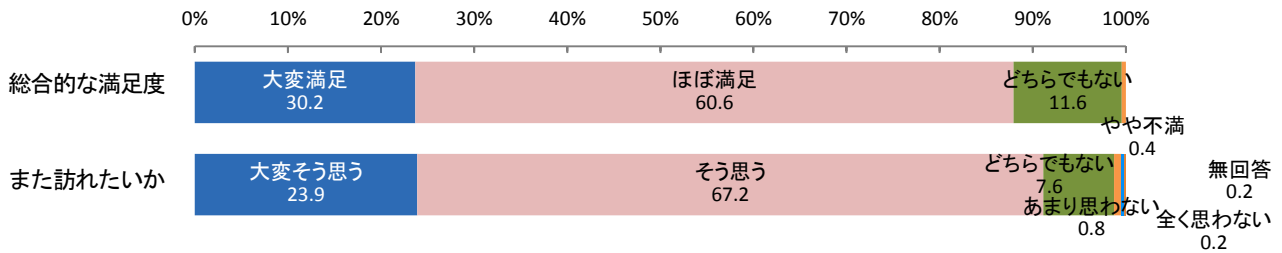
日光	県南	県南
二社一寺参拝者(1)	鏝阿寺(29)	岡田記念館(2)
足尾銅山観光(1)	あしかがフラワーパーク(21)	山本有三ふるさと記念館(2)
県央	とちぎ蔵の街美術館(17)	いわふねフルーツパーク(2)
ジャパンカップ(1)	佐野厄よけ大師(15)	名草巨石群(1)
	織姫公園(14)	ココ・ファーム・ワイナリー収穫祭(1)
	佐野プレミアム・アウトレット(7)	とちぎあじさいまつり(1)
	岩下記念館(6)	塚田歴史伝説館(1)
	出流山(4)	みかも山観光物産会館(1)
	栗田美術館(3)	道の駅どまんなかたぬま(1)
	太平山(2)	

※対象者が現在いる地点（調査地点）は立ち寄り観光施設にカウントしない。

足利学校（123）、佐野プレミアムアウトレット（273）、とちぎ山車会館（77）

調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた満足層が 90.8%であった。また訪れたいかは、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた再来訪意向層が 91.1%であった。

調査地域の総合満足度／再来訪意向 (n=473)

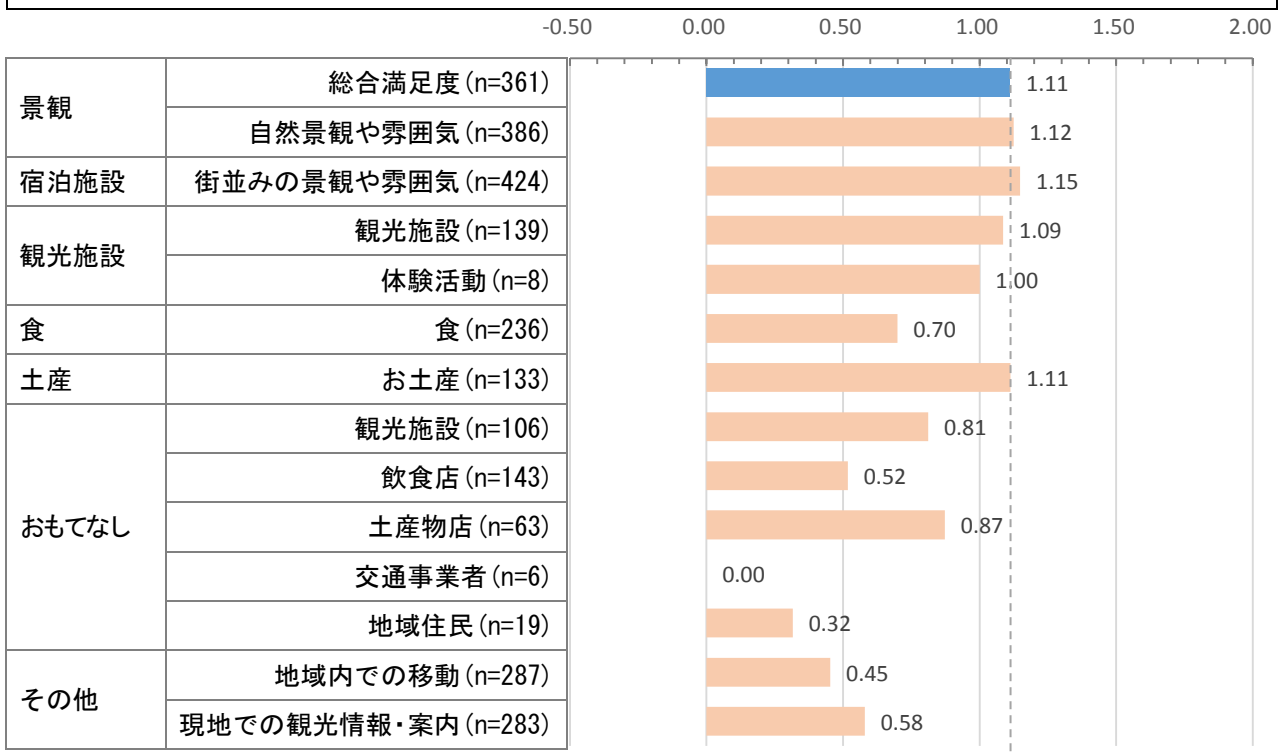


【加重平均値】

項目	加重平均値
総合的な満足度	1.11
また訪れたいか	1.14

「総合満足度」は 1.11 であった。満足度を項目別にみると、「宿泊施設 街並みの景観や雰囲気」に対する満足度は 1.15 でやや高い傾向にある。一方、「おもてなし 交通事業者」「おもてなし 飲食店」「おもてなし 地域住民」「その他 地域内での移動」「その他 現地での観光情報・案内」に対する満足度は低い傾向にある。

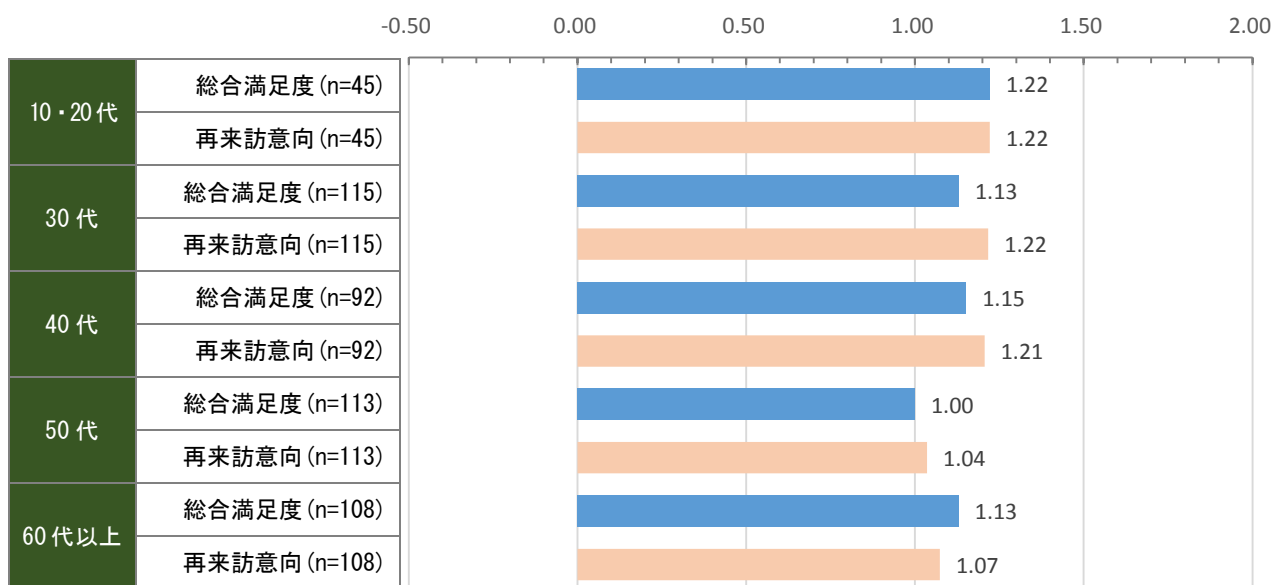
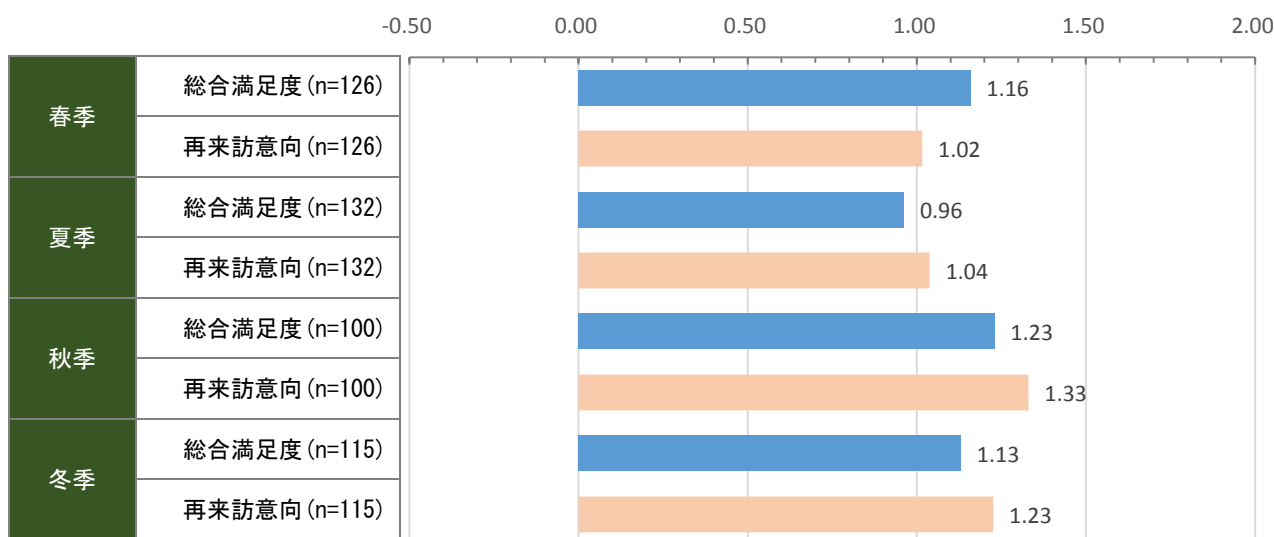
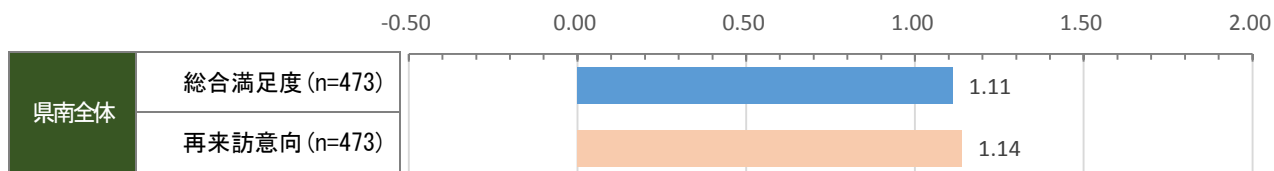
項目別満足度 (加重平均値)



調査地域の総合満足度／再来訪意向（季節別・年代別）

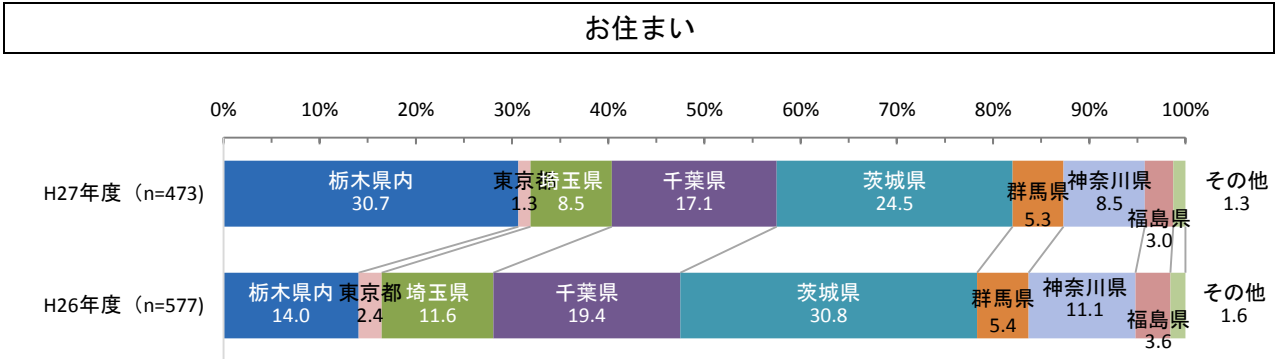
総合満足度を季節別にみると、「秋季」が1.23で最も高いが、四季による変動はほとんどない。また、再来訪意向についても、「春季」が1.33で最も高いが、四季による変動はほとんどない。

年代別にみると、総合満足度は「10・20代」が1.22で最も高く、再来訪意向は、「10・20代」「30代」がともに1.22で最も高かった。

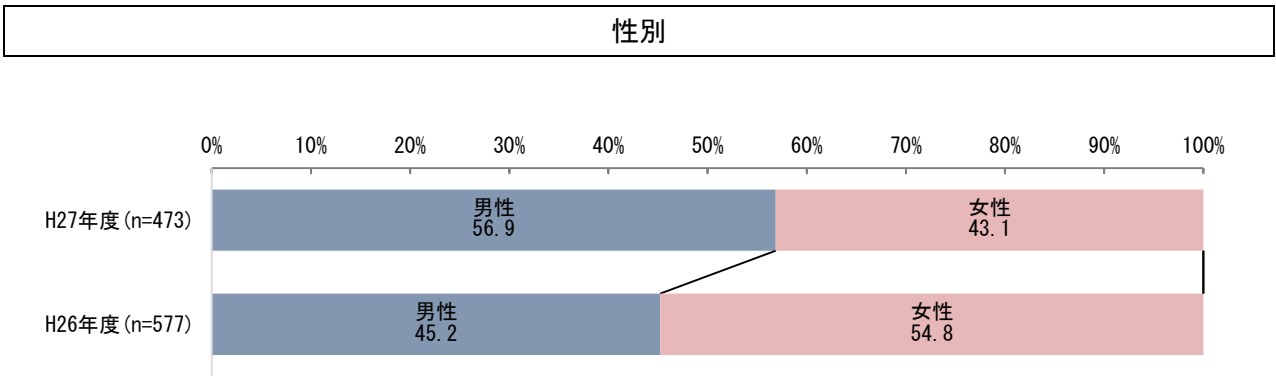


②過去調査との比較

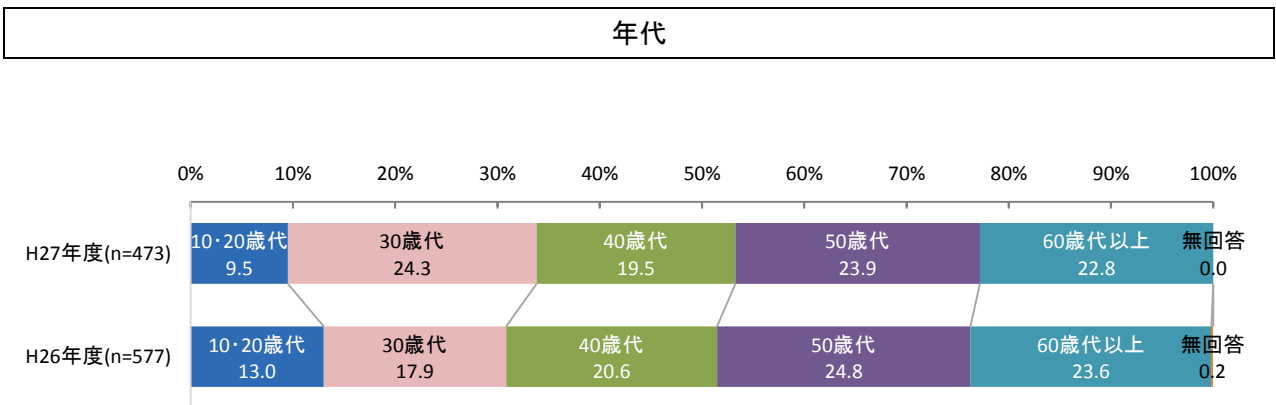
お住まいは、平成26年度調査では、栃木県内が14.0%であったが、平成27年度調査では30.7%と16.7ポイント増加した。「茨城県」が30.8%から24.5%で6.3ポイント減少し、「埼玉県」も11.6%から8.5%で3.1ポイント減少した。



性別は、平成26年度の調査では男女ほぼ半数であったが、平成27年度調査では「男性」が57.6%とやや増加している。



年代は、平成26年度調査、平成27年度調査とも、同様の傾向であった。



第2章 観光客調査 調査結果

1. 日帰り客 (2) エリアごと v. 県南エリア

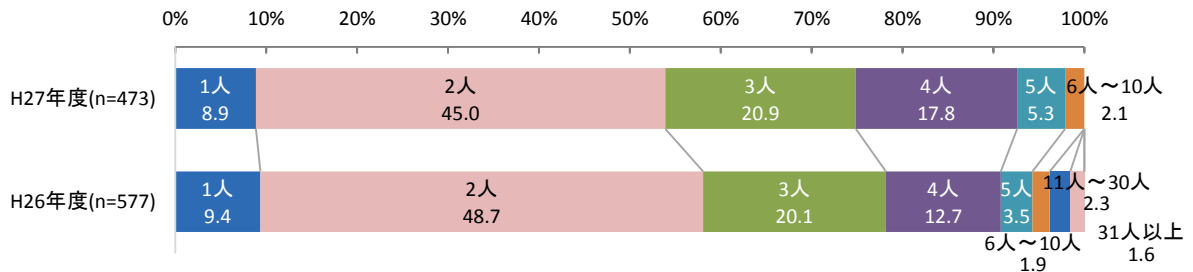
旅行先に選んだ情報源は、平成26年度調査では「以前来訪した際の自身の経験」が最も多く44.2%であったが、平成27年度調査では67.7%と23.5ポイント増加した。一方で、「家族や友人知人からの紹介・推奨」は平成26年度調査では23.6%であったが、平成27年度調査では17.3%と6.3%減少した。

旅行先に選んだ情報源

NO. 平成27年度調査 (n=377)		NO. 平成26年度調査 (n=328)	
1	以前来訪した際の自身の経験	67.7	44.2
2	家族や友人知人からの紹介・推奨	17.3	23.6
3	地域や施設の公式 Web サイトの情報	13.3	10.6
4	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	7.8	7.6
5	旅行雑誌・ガイドブックの記事	5.3	7.1
6	その他の Web サイトの情報	4.7	6.2
7	特に理由はないが、なんとなく	3.4	5.7
8	個人のブログやインターネット掲示板	3.2	2.4
9	旅行会社の旅行パンフレット	1.9	2.1
10	割引券や優待券	1.3	2.1
11	自分の意志外 (団体・ビジネス・帰省など)	1.1	0.5
12	旅行会社の店員からの勧め	0.0	0.3

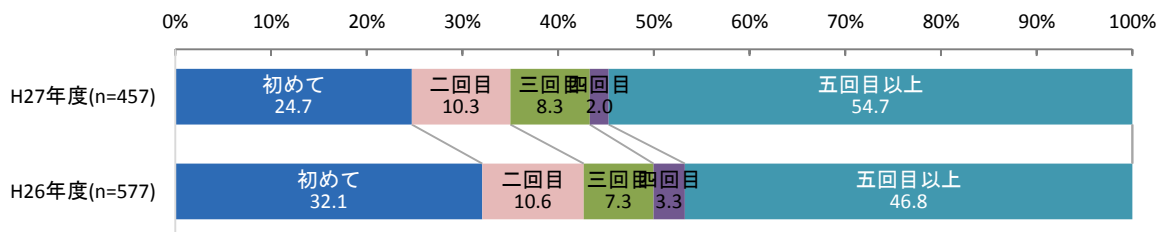
回答者を含む同行人数は、「2人」が平成26年度調査では48.7%であったが、平成27年度調査では45.0%と3.7ポイント減少した。一方「4人」が12.7%から17.8%で5.1ポイント増加した。

同行者数 ※回答者を含む



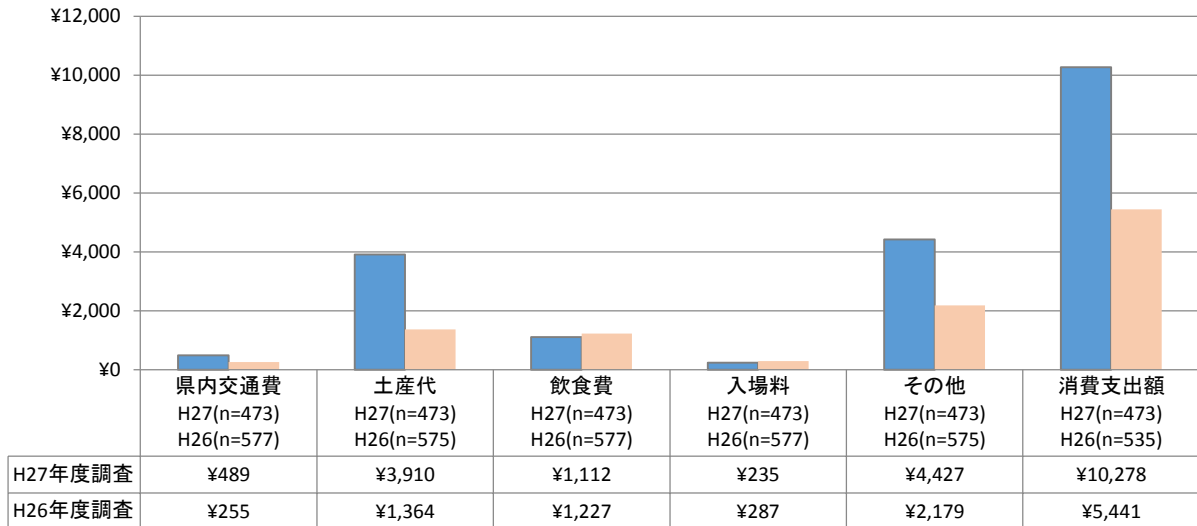
現在地周辺への来訪回数は、「初めて」が平成26年度調査では32.1%であったが、平成27年度調査では24.7%で7.4ポイント減少した。一方「五回目以上」のリピーターは46.8%から54.7%で7.9ポイント増加した。

現在地周辺への来訪回数※周辺住民を除く



消費支出の総額は、平成26年度調査では5,441円であったが、平成27年度調査では10,278円に増加した。内訳の「土産代」は、1,364円から3,910円と増加した。

消費支出 総額



2. 宿泊客

(1) 県全体

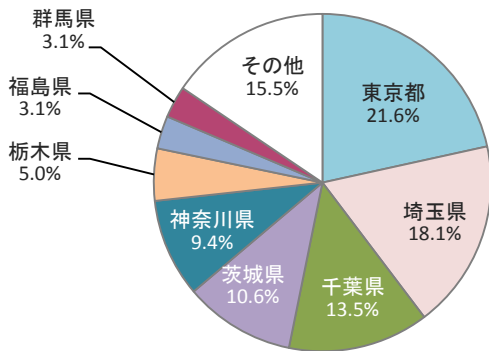
① 平成27年度調査結果

回答者の95.0%が県外居住者で「東京都」が21.6%で最も多く、次いで「埼玉県」が18.1%、「千葉県」が13.5%であった。

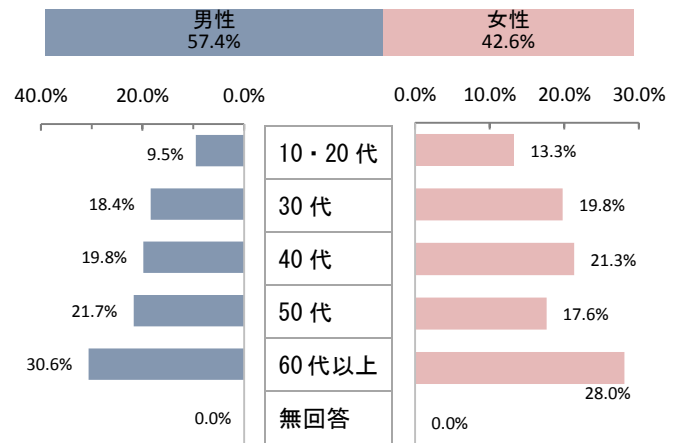
性別は、「男性」が57.4%、「女性」が42.6%で男性が女性より14.8ポイント高かった。

年代は、男性は「60歳代以上」が30.6%で最も多く、女性も「60歳代以上」が28.0%と最も多かった。

お住まい (n=1081)



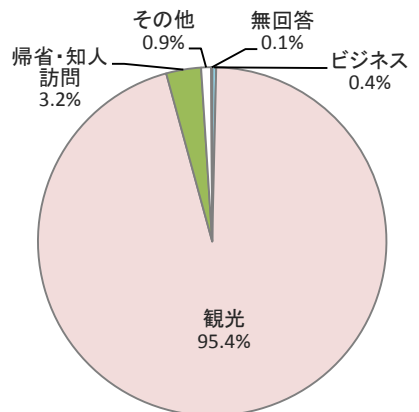
性別・年代 (n=1081)



旅行の主要目的は、「観光」が95.4%と9割を超えた。

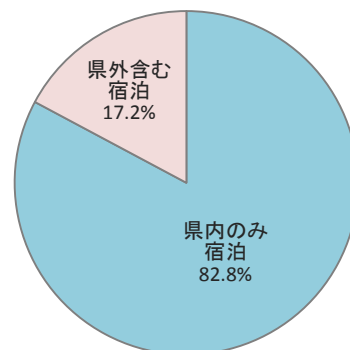
宿泊旅程は、「県内のみ宿泊」が82.8%と8割を超えた。

旅行の主要目的 (n=1081)



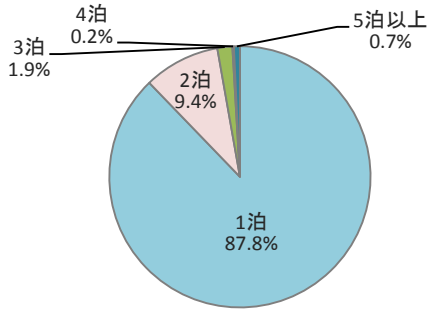
宿泊旅程 (n=157)

※今回の旅行の宿泊日数（県内に限らない）が2泊以上の方のみ集計

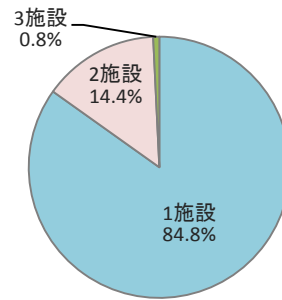


県内での宿泊日数は、「1泊」が87.8%と8割を超えた。県内に2泊以上した方の宿泊施設数は、「1施設」が84.8%と8割を超えた。県内での利用宿泊施設は「ホテル」が75.9%で最も多く、次いで「旅館」が15.4%であった。

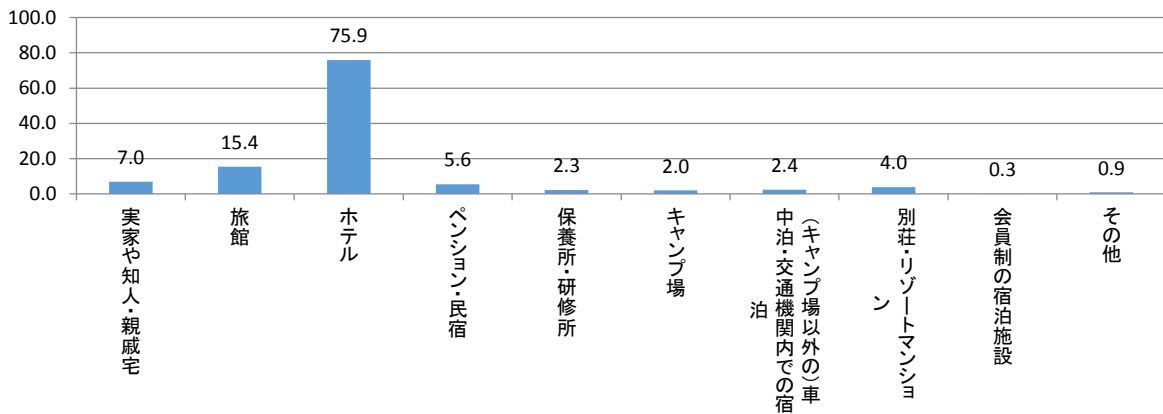
栃木県内での宿泊日数 (n=1081)



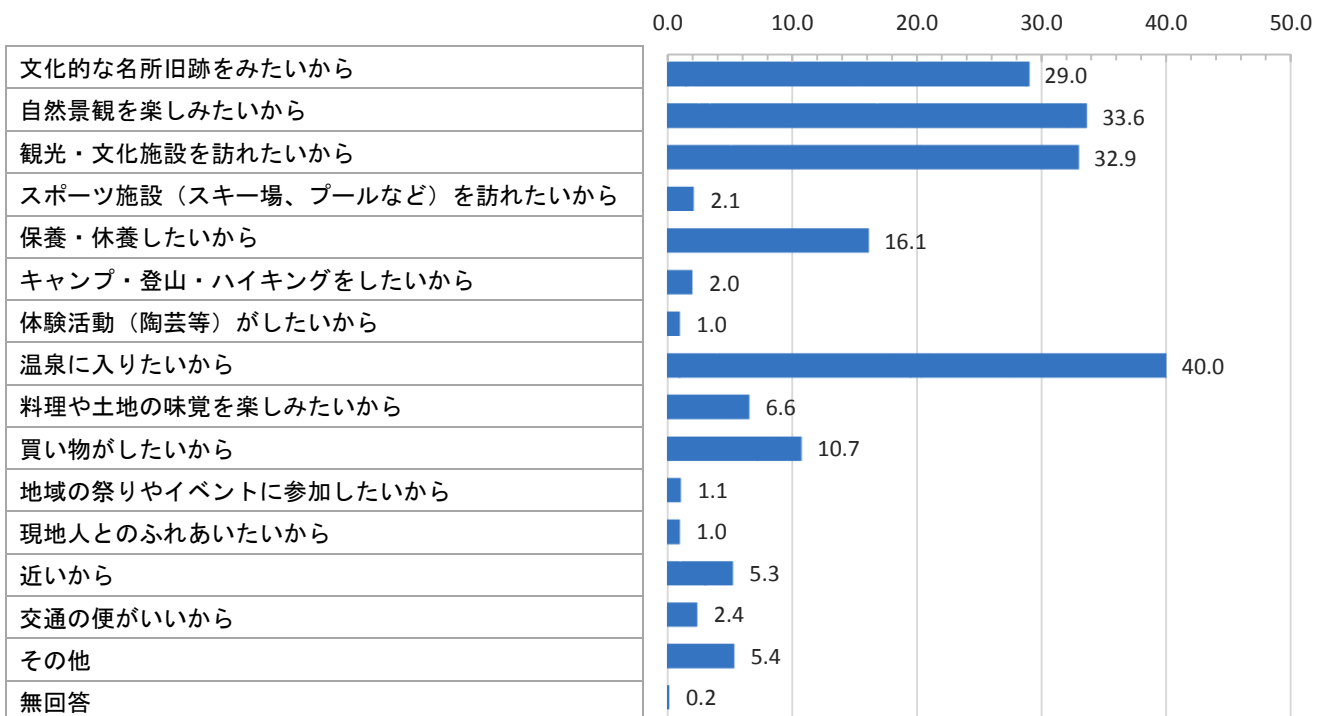
栃木県内の宿泊施設数 (n=132)



栃木県内での利用宿泊施設 (複数回答) (n=1081)



旅行先に選んだ理由は、「温泉に入りたいから」が40.0%で最も多く、次いで「自然景観を楽しみたいから」が33.6%、「観光・文化施設を訪れたいから」が32.9%、「文化的な名所旧跡をみたいから」が29.0%であった。

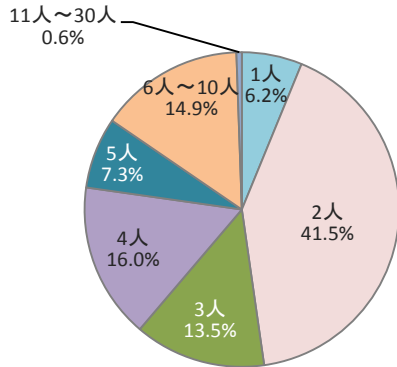


2. 宿泊客 (1) 県全体

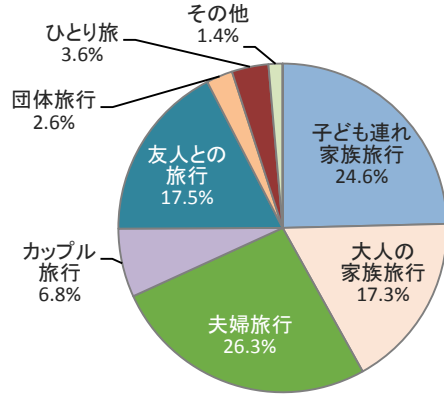
回答者を含む同行者数は、「2人」が41.5%で最も多く、次いで「4人」が16.0%、「3人」が13.5%であった。

同行者の関係は、「夫婦旅行」が26.3%で最も多く、次いで「子ども連れ家族旅行」が24.6%、「友人との旅行」が17.5%、「大人の家族旅行」が17.3%であった。

同行者数 ※回答者を含む (n=1081)

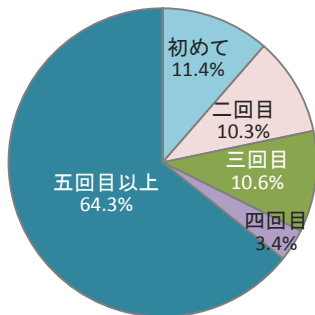


同行者の関係 (n=1081)



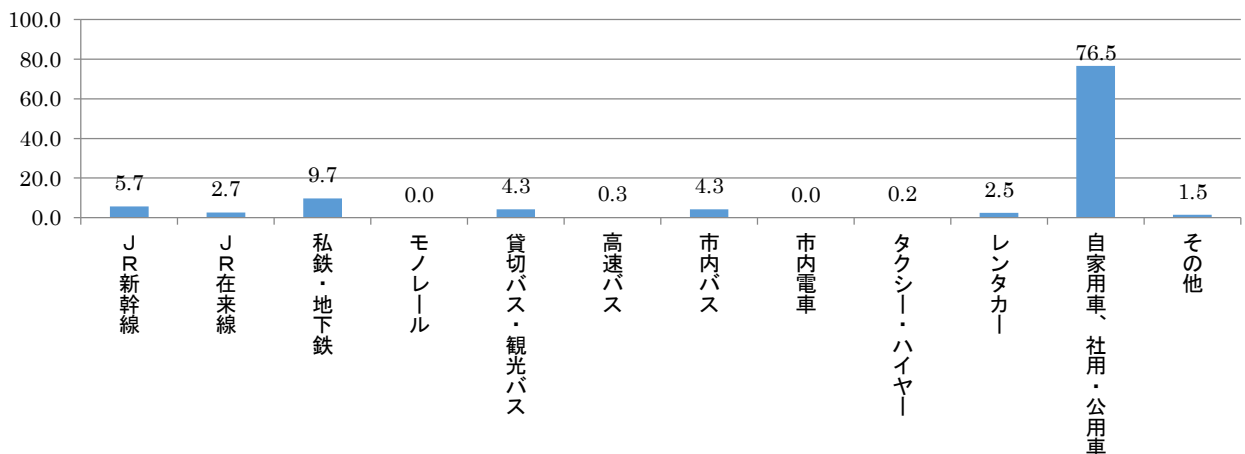
県外客の栃木県への来訪回数は、「五回目以上」が64.3%と6割を超えた。一方、「初めて」は11.4%であった。

県外客の栃木県への来訪回数 (n=1027)



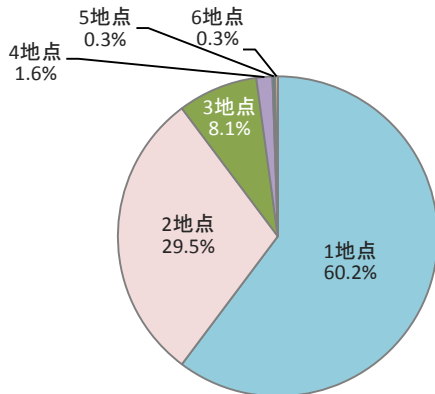
利用交通機関は、「自家用車、車用・公用車」が76.5%で大半を占めた。その他の交通機関としては「私鉄・地下鉄」が9.7%、「JR新幹線」が5.7%、「貸切バス・観光バス」「市内バス」が4.3%であった。

利用交通機関 (複数回答) (n=1081)



立ち寄り観光施設は、「1地点」が60.2%で最も多く、次いで「2地点」が29.5%であった。

立ち寄り観光施設数 (n=742)

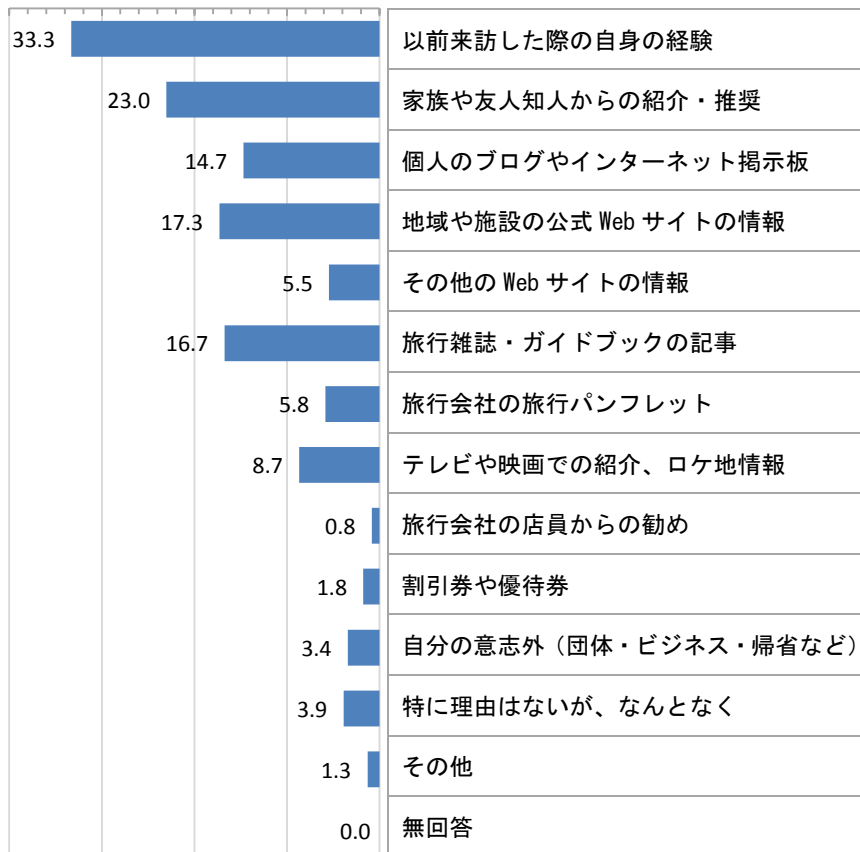


旅行先に選んだ情報源は、「以前来訪した際の自身の経験」が33.3%で最も多く、次いで「家族や友人知人からの紹介・推奨」が23.0%であった。

“決め手”となった情報源も、旅行先に選んだ情報源とほぼ同様の傾向で、「以前来訪した際の自身の経験」が27.6%で最も多く、次いで「家族や友人知人からの紹介・推奨」が19.1%であった。

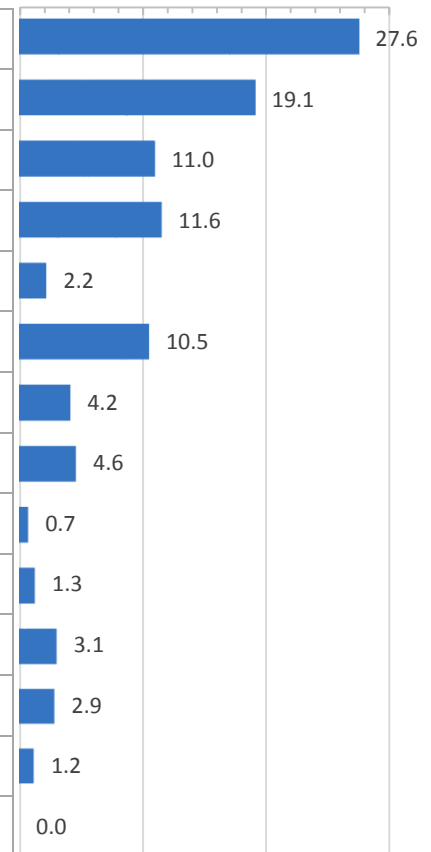
旅行先に選んだ情報源
(複数回答) (n=1081)

40.0 30.0 20.0 10.0 0.0



“決め手”となった情報源
(単一回答) (n=1081)

0.0 10.0 20.0 30.0



第2章 観光客調査 調査結果

2. 宿泊客 (1) 県全体

旅行先を選んだ“決め手”となった情報源 年代別

NO.	全体 (n=1081)	
1	以前来訪した際の自身の経験	27.6
2	家族や友人知人からの紹介・推奨	19.1
3	地域や施設の公式 Web サイトの情報	11.6
4	個人のブログやインターネット掲示板	11.0
5	旅行雑誌・ガイドブックの記事	10.5
6	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	4.6
7	旅行会社の旅行パンフレット	4.2
8	自分の意志外 (団体・ビジネス・帰省など)	3.1
9	特に理由はないが、なんとなく	2.9
10	その他の Web サイトの情報	2.2
11	割引券や優待券	1.3
12	旅行会社の店員からの勧め	0.7

NO.	10・20代 (n=120)	
1	個人のブログやインターネット掲示板	20.8
2	家族や友人知人からの紹介・推奨	20.0
3	旅行雑誌・ガイドブックの記事	15.8
4	地域や施設の公式 Web サイトの情報	12.5
5	以前来訪した際の自身の経験	9.2
6	旅行会社の旅行パンフレット	8.3
7	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	5.0
8	特に理由はないが、なんとなく	3.3
9	自分の意志外 (団体・ビジネス・帰省など)	2.5
10	旅行会社の店員からの勧め	0.8
11	割引券や優待券	0.8
12	その他の Web サイトの情報	0.0

NO.	30代 (n=205)	
1	家族や友人知人からの紹介・推奨	18.5
2	以前来訪した際の自身の経験	18.0
3	個人のブログやインターネット掲示板	18.0
4	地域や施設の公式 Web サイトの情報	15.6
5	旅行雑誌・ガイドブックの記事	9.3
6	その他の Web サイトの情報	6.3
7	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	4.9
8	旅行会社の旅行パンフレット	2.9
9	割引券や優待券	2.4
10	自分の意志外 (団体・ビジネス・帰省など)	2.0
11	特に理由はないが、なんとなく	1.5
12	旅行会社の店員からの勧め	0.0

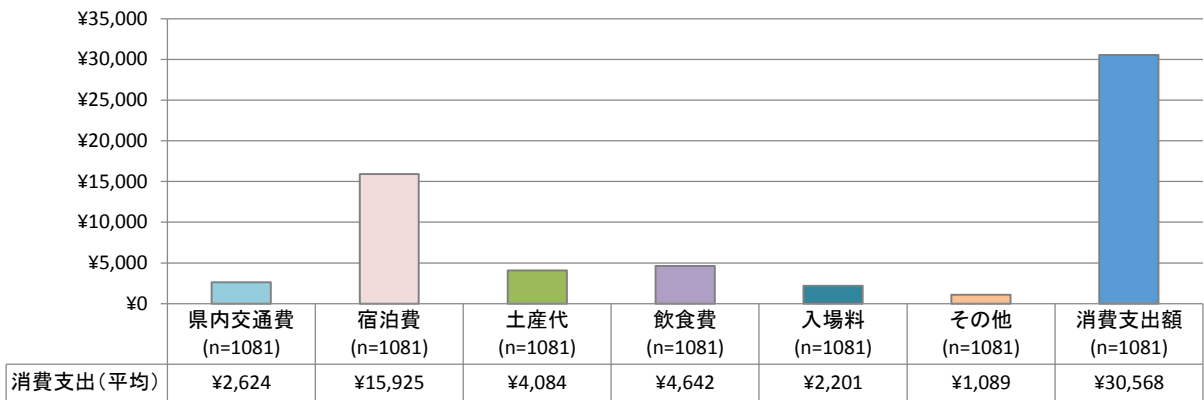
NO.	40代 (n=221)	
1	以前来訪した際の自身の経験	28.5
2	家族や友人知人からの紹介・推奨	19.5
3	地域や施設の公式 Web サイトの情報	12.7
4	個人のブログやインターネット掲示板	11.3
5	旅行雑誌・ガイドブックの記事	10.4
6	自分の意志外 (団体・ビジネス・帰省など)	4.5
7	旅行会社の旅行パンフレット	3.6
8	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	3.6
9	特に理由はないが、なんとなく	2.3
10	その他の Web サイトの情報	0.9
11	旅行会社の店員からの勧め	0.9
12	割引券や優待券	0.5

NO.	50代 (n=216)	
1	以前来訪した際の自身の経験	31.9
2	家族や友人知人からの紹介・推奨	16.2
3	地域や施設の公式 Web サイトの情報	13.9
4	旅行雑誌・ガイドブックの記事	12.5
5	個人のブログやインターネット掲示板	8.8
6	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	5.1
7	特に理由はないが、なんとなく	4.2
8	その他の Web サイトの情報	1.9
9	旅行会社の旅行パンフレット	1.9
10	自分の意志外 (団体・ビジネス・帰省など)	1.4
11	旅行会社の店員からの勧め	0.9
12	割引券や優待券	0.9

NO.	60代 (n=319)	
1	以前来訪した際の自身の経験	37.0
2	家族や友人知人からの紹介・推奨	21.0
3	旅行雑誌・ガイドブックの記事	8.2
4	地域や施設の公式 Web サイトの情報	6.3
5	旅行会社の旅行パンフレット	5.3
6	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	4.7
7	個人のブログやインターネット掲示板	4.1
8	自分の意志外 (団体・ビジネス・帰省など)	4.1
9	特に理由はないが、なんとなく	3.1
10	その他の Web サイトの情報	1.6
11	割引券や優待券	1.6
12	旅行会社の店員からの勧め	0.9

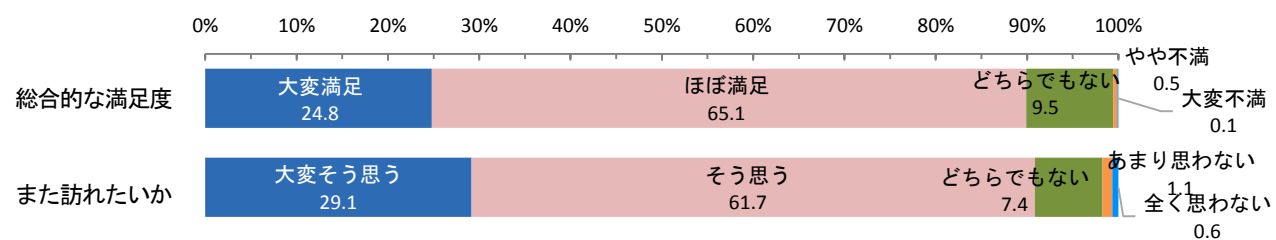
宿泊客一人当たりの消費支出平均は、総額で 30,568 円であった。
内訳は、「宿泊費」の消費支出平均が 15,925 円で最も多く、次いで「飲食費」が 4,642 円であった。

消費支出（平均）



調査地域への総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた【満足層】は 89.9%であった。また訪れたいかは、「大変そう思う」「そう思う」をあわせた【再来訪希望層】は 90.8%であった。

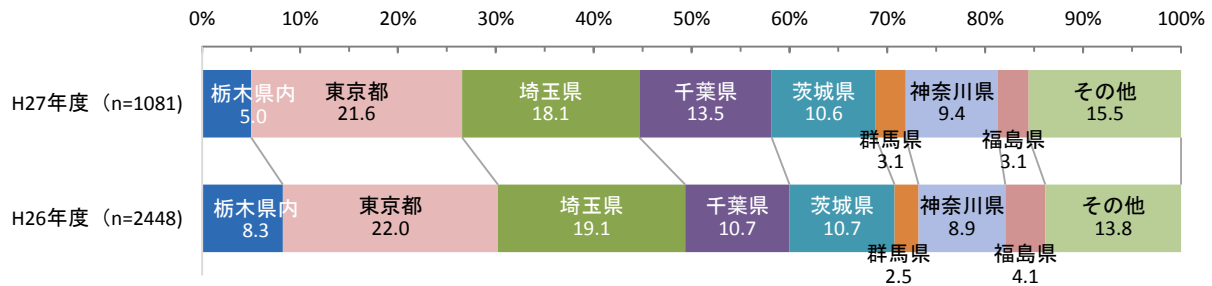
調査地域の総合満足度／再来訪意向 (n=1081)



②過去調査との比較

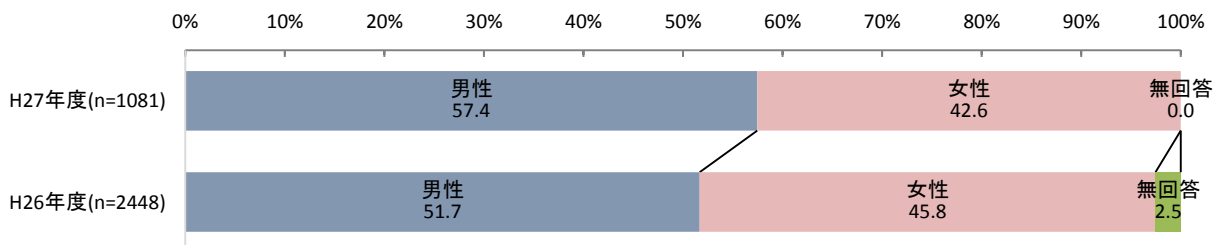
お住まいは、平成 26 年度調査と比較すると、平成 27 年度調査では県外居住者の割合がやや増加したものの、概ね同様の傾向であった。

お住まい



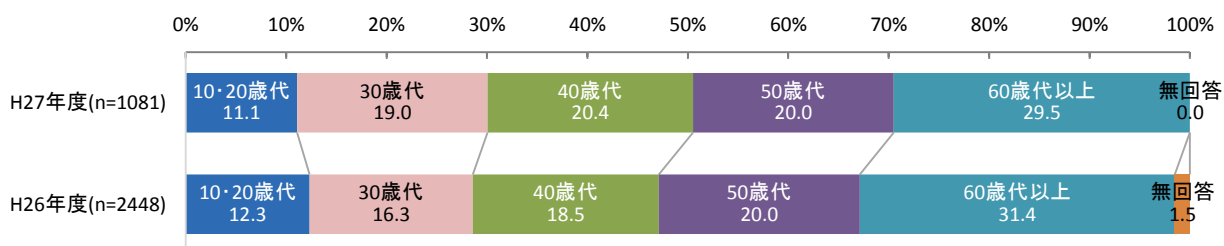
性別は、平成 26 年度の調査では男女ほぼ半数ずつであったが、平成 27 年度調査では「男性」が 57.4%とやや増加している。

性別



年代は、「30 歳代」が平成 26 年度調査では 16.3%であったが、平成 27 年度調査では 19.0%とやや増加している。一方、「60 歳代以上」が平成 26 年度調査では 31.4%であったが平成 27 年度調査では 29.5%とやや減少している。

年代



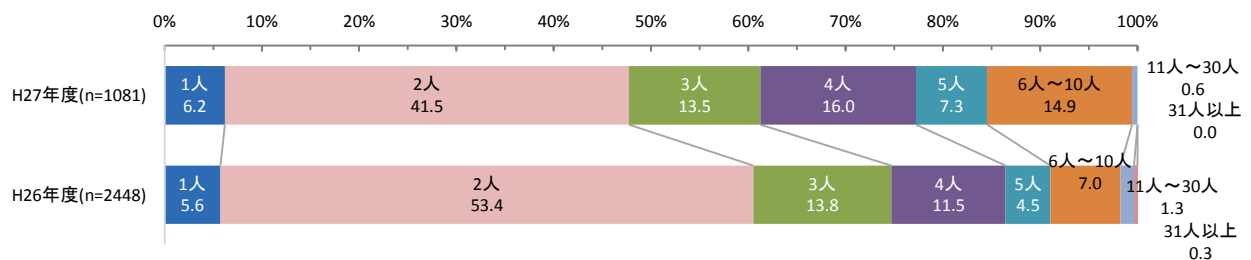
旅行先に選んだ情報源は、平成26年度調査では「以前来訪した際の自身の経験」が最も多く41.3%であったが、平成27年度調査では33.3%と8.0ポイント減少した。次いで「家族や友人知人からの紹介」は平成26年度調査では12.4%であったが、平成27年度調査では23.0%と10.6ポイント増加した。

旅行先に選んだ情報源

平成27年度調査 (n=1081)		平成26年度調査 (n=1415)	
1	以前来訪した際の自身の経験 33.3	1	以前来訪した際の自身の経験 41.3
2	家族や友人知人からの紹介・推奨 23.0	2	家族や友人知人からの紹介・推奨 12.4
3	個人のブログやインターネット掲示板 14.7	3	個人のブログやインターネット掲示板 11.2
4	地域や施設の公式Webサイトの情報 17.3	4	地域や施設の公式Webサイトの情報 17.4
5	その他のWebサイトの情報 5.5	5	その他のWebサイトの情報 19.9
6	旅行雑誌・ガイドブックの記事 16.7	6	旅行雑誌・ガイドブックの記事 18.1
7	旅行会社の旅行パンフレット 5.8	7	旅行会社の旅行パンフレット 10.2
8	テレビや映画での紹介、ロケ地情報 8.7	8	テレビや映画での紹介、ロケ地情報 5.4
9	旅行会社の店員からの勧め 0.8	9	旅行会社の店員からの勧め 0.9
10	割引券や優待券 1.8	10	割引券や優待券 4.8
11	自分の意思外(団体・ビジネス・帰省など) 3.4	11	自分の意思外(団体・ビジネス・帰省など) 3.5
12	特に理由はないが、なんとなく 3.9	12	特に理由はないが、なんとなく 2.0
	その他 1.3		その他 6.5
	無回答 0.0		無回答 9.3

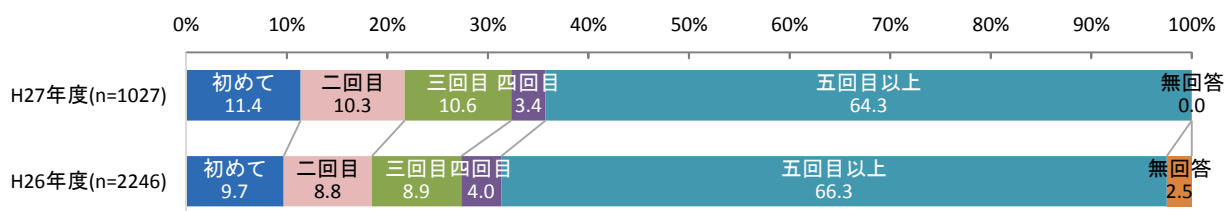
回答者を含む同行者数は、「4人」が平成26年度調査では11.5%であったが、平成27年度調査では16.0%と増加した。一方、「2人」が平成26年度調査では53.4%であったが、平成27年度調査では41.5%と減少した。

同行者数 ※回答者を含む



県外客の栃木県への来訪回数は、各項目で若干の変動はあるものの、概ね同様の傾向であった。

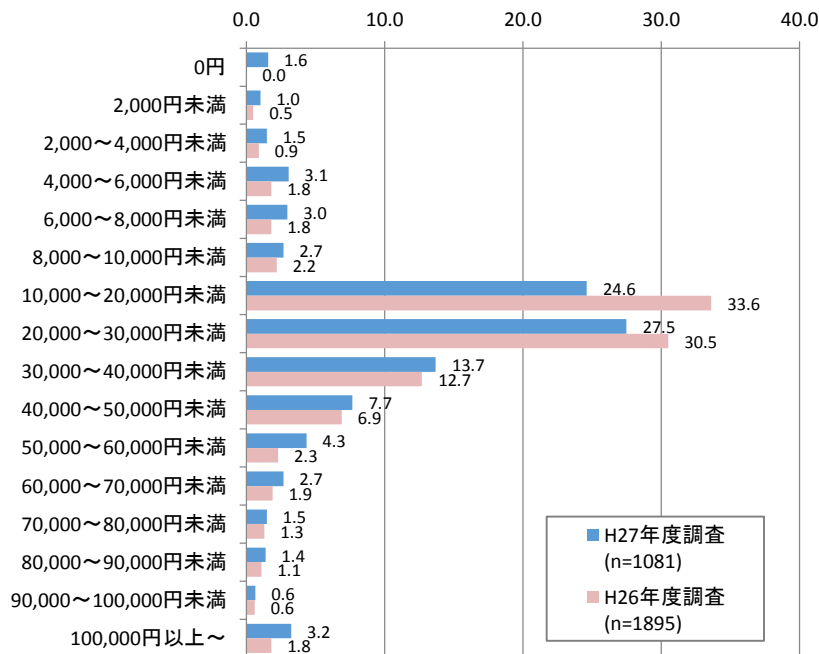
県外客の栃木県への来訪回数



2. 宿泊客 (1) 県全体

宿泊客一人当たりの消費支出の総額は、「10,000～20,000円未満」は平成26年度調査の33.6%に対し、平成27年度は24.6%で9.0ポイント減少し、「20,000～30,000円未満」も平成26年度の30.5%に対し、平成27年度は27.5%で3.0ポイント減少した。一方、「30,000～40,000円未満」は平成26年度の12.7%に対し、平成27年度は13.7%で1.0ポイント増加した。

消費支出 総額



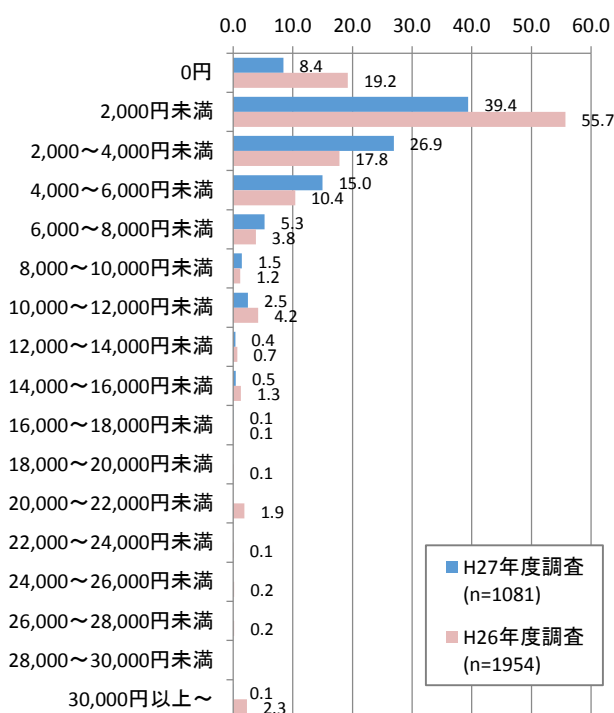
宿泊客の一人当たり平均

平成27年度調査 : 30,568円

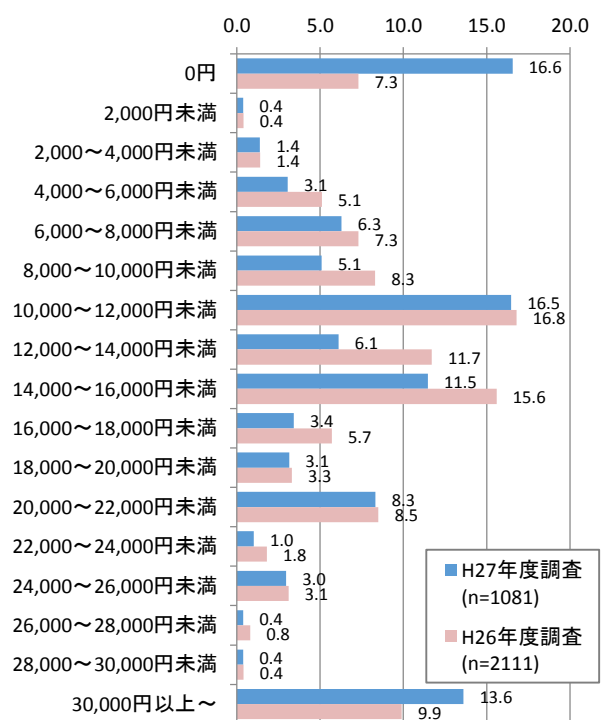
平成26年度調査 : 27,398円

宿泊客一人当たりの県内交通費は、「2,000円未満」が平成26年度調査の55.7%に対し、平成27年度は39.4%で16.3ポイント減少した。宿泊費は「0円」が平成26年度調査の7.3%に対し、平成27年度は16.6%で9.3ポイント増加した。一方、「30,000円以上」が9.9%から13.6%で3.7ポイント増加した。

消費支出 県内交通費

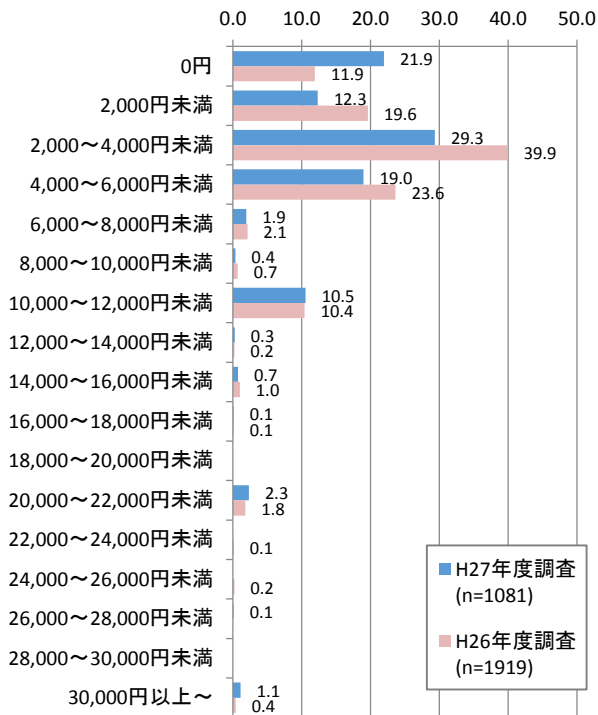


消費支出 宿泊費

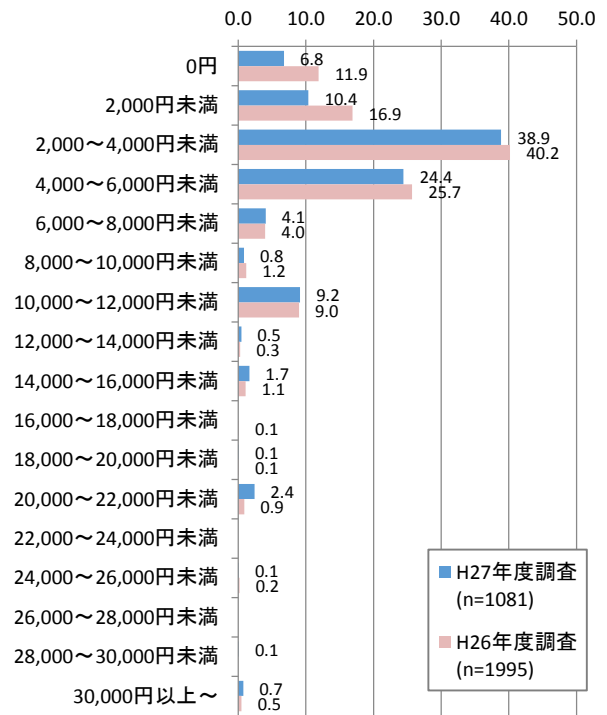


宿泊客一人当たりの土産代は、「2,000～4,000円未満」が平成26年度調査の39.9%に対し、平成27年度は29.3%で10.6ポイント減少した。全体の傾向としては「2,000円～6,000円未満」が約5割を占めている。飲食費は平成26年度調査と平成27年度調査でほぼ同様の結果であった。

消費支出 土産代



消費支出 飲食費



(2) エリアごと

i. 那須エリア

① 平成27年度調査結果

宿泊客（那須エリア）

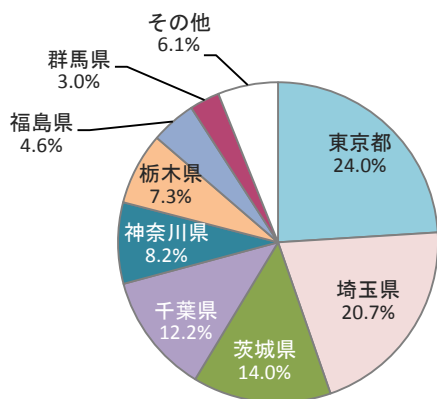
サンプル数：329

回答者の92.7%が県外居住者で「東京都」が24.0%で最も多く、次いで「埼玉県」が20.7%、「茨城県」が14.0%であった。

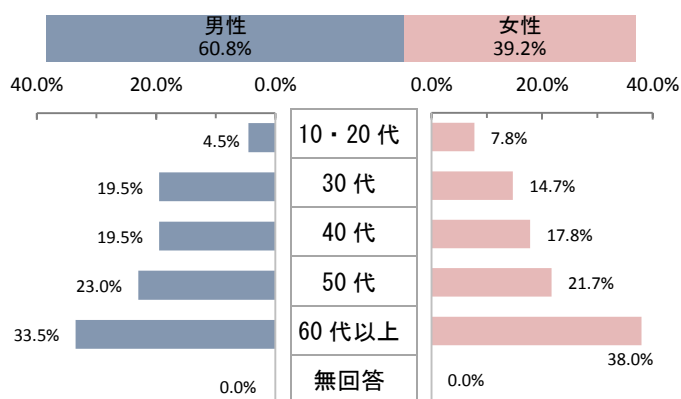
性別は「男性」が60.8%、「女性」が39.2%で男性が女性より21.6ポイント高かった。年代は、男女ともに「60歳代」が最も多く「男性」が33.5%、「女性」が38.0%であった。

調査地域周辺への来訪回数は、「五回目以上」が38.4%で最も多く、栃木県内の宿泊日数は「1泊」が89.4%で最も多かった。また、同行者数は「2人」が31.3%で最も多く、同行者の関係は「子ども連れ家族旅行」が28.6%で最も多く、次いで、「夫婦旅行」が24.3%であった。

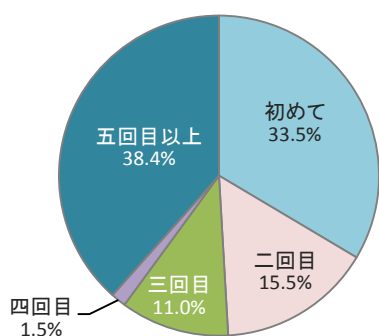
お住まい (n=329)



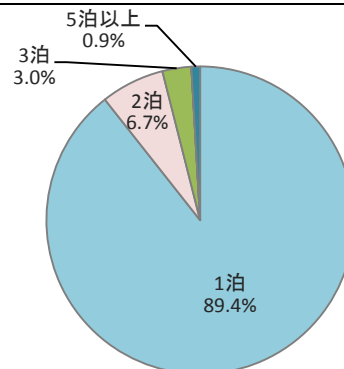
性別・年代 (n=329)



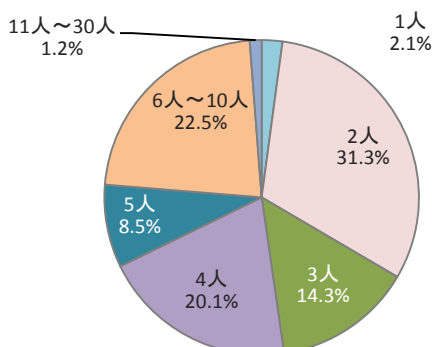
調査地域周辺への来訪回数 (n=329)



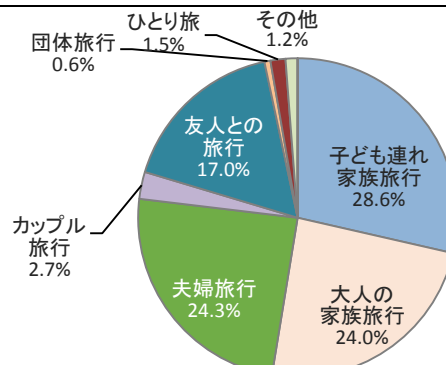
栃木県での宿泊日数 (n=329)



同行者数 ※回答者を含む (n=329)

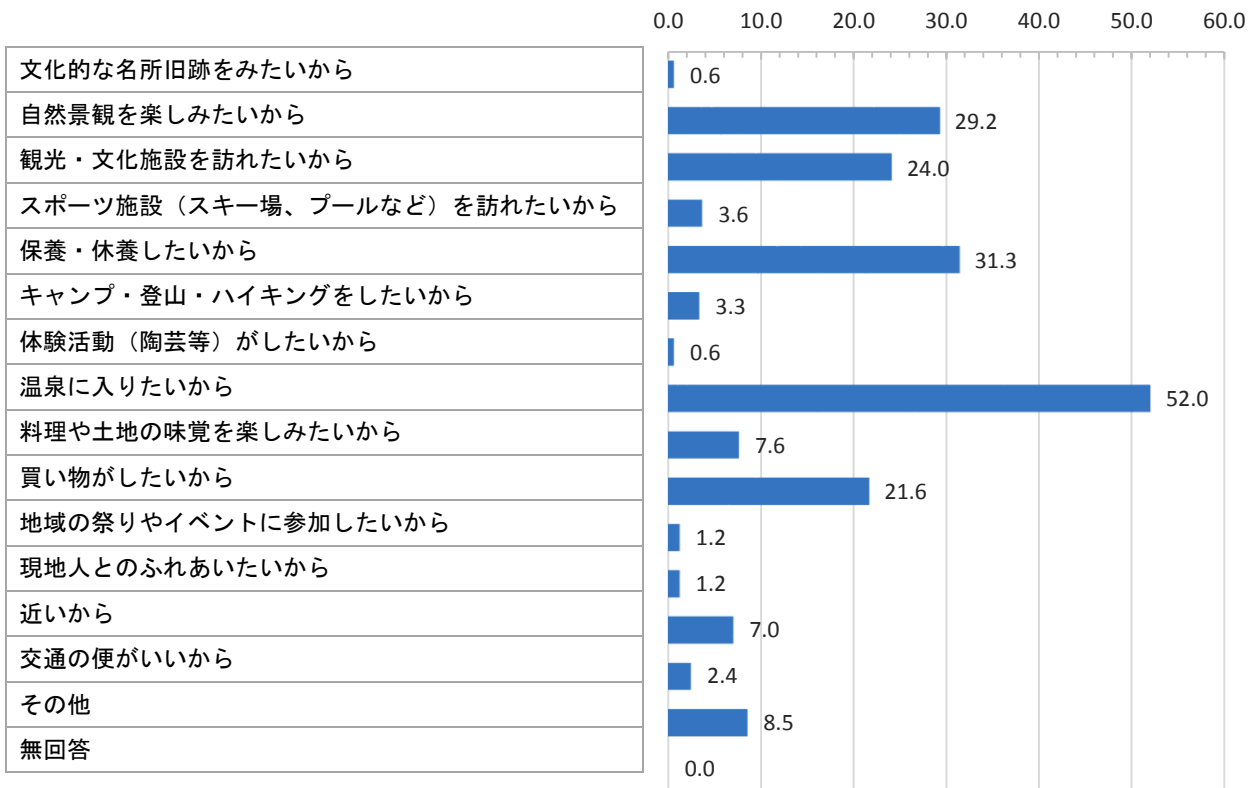


同行者の関係 (n=329)



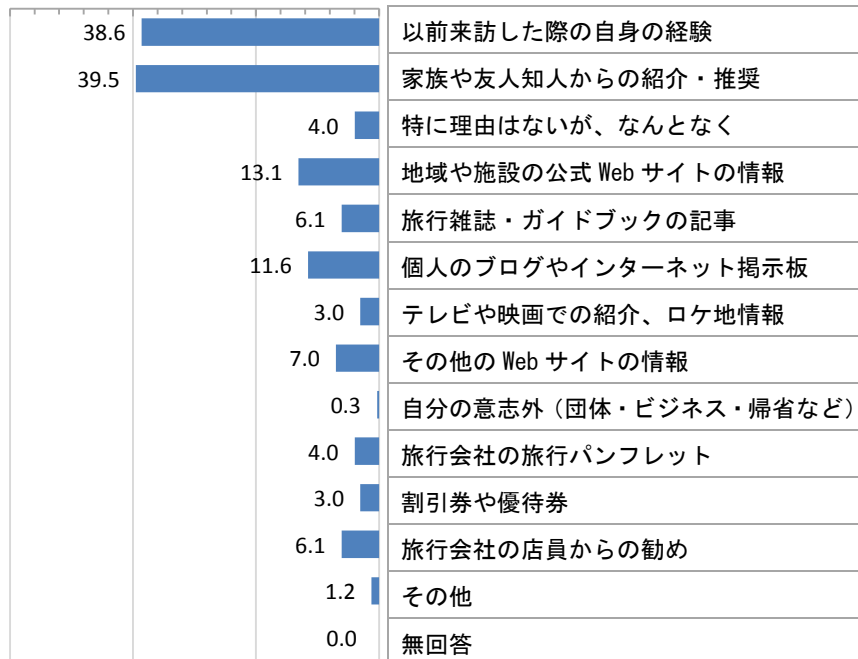
旅行先に選んだ理由は「温泉に入りたいから」が52.0%で最も多く、次いで「保養・休養したいから」が31.3%であった。旅行先に選んだ情報源は「家族や友人知人からの紹介・推奨」が39.5%で最も多く、決め手となった情報源も「家族や友人知人からの紹介・推奨」が34.7%で最も多かった。

旅行先に選んだ理由（複数回答）（n=329）



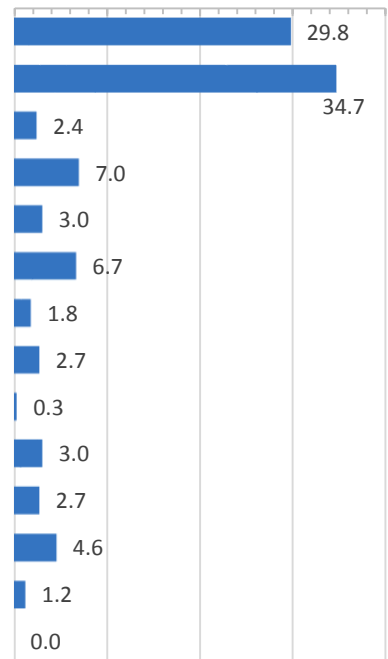
旅行先に選んだ情報源（複数回答）（n=329）

60.0 40.0 20.0 0.0



“決め手”となった情報源（単一回答）（n=329）

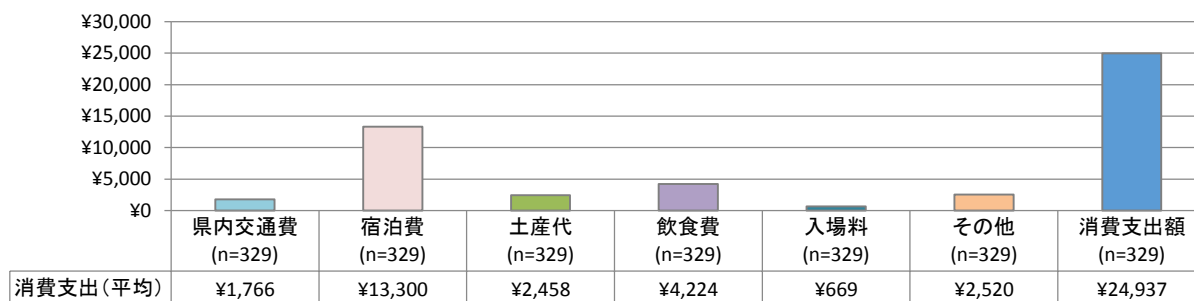
0.0 10.0 20.0 30.0 40.0



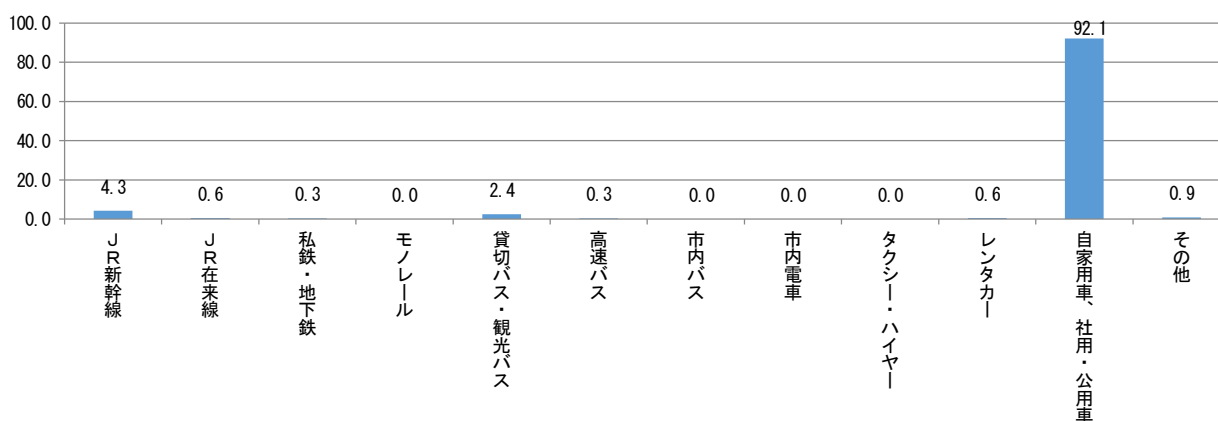
消費支出の平均は、総額で 24,937 円であった。利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が 92.1%で最も多かった。

立ち寄り観光施設は、「塩原温泉郷」が 62 人と最も多く、次いで「那須ガーデンアウトレット」と「千本松牧場」がともに 41 人であった。

消費支出（平均）



利用交通機関（複数回答）(n=329)



立ち寄り観光施設 (n=329) ※ () 内は施設に立ち寄った人数

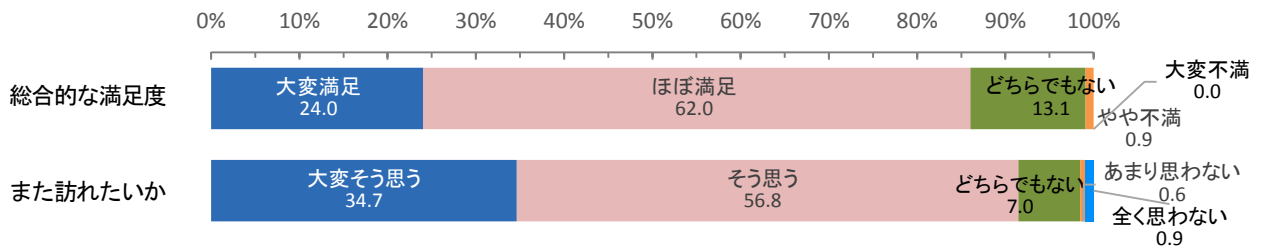
那須	那須	日光
塩原温泉郷 (62)	東山道伊王野 (2)	鬼怒川温泉 (3)
那須ガーデンアウトレット (41)	鹿の湯 (2)	湯西川温泉 (3)
千本松牧場 (41)	那須高原ビジターセンター (2)	華厳滝 (1)
ホテルエビナール那須 (12)	道の駅那須与一の郷 (1)	龍王峡 (1)
南ヶ丘牧場 (9)	那須野が原公園オートキャンプ場 (1)	
ホテルサンバレー那須 (9)	塩原カントリークラブ (1)	県央
りんどう湖ファミリー牧場 (8)	道の駅「湧水の郷しおや」 (1)	ろまんちっく村 (1)
那須岳 (茶臼岳) (7)	那須サファリパーク (1)	宇都宮美術館 (1)
もみじ谷大吊橋 (6)	那須ロープウェイ (1)	道の駅きつねがわ (1)
那須高原友愛の森 (6)	那須オルゴール美術館 (1)	
アグリパル塩原 (4)	キングダム 3D メルヘン水族館 (1)	県東
ハンターマウンテン塩原 (4)	那須アルパカ牧場 (1)	道の駅もてぎ (1)
那須ハイランドパーク (4)	那須伊王野カントリークラブ (1)	
道の駅「明治の森黒磯」 (3)		県南
那須どうぶつ王国 (3)		佐野プレミアム・アウトレット (3)
トリックアートの館 (3)		道の駅 しもつけ (1)
道の駅やいた (2)		
那須ステンドグラス美術館 (2)		

※対象者が現在いる地点（調査地点）は立ち寄り観光施設にカウントしない。

那須高原友愛の森 (119)、那須ガーデンアウトレット (78)、アグリパル塩原 (132)

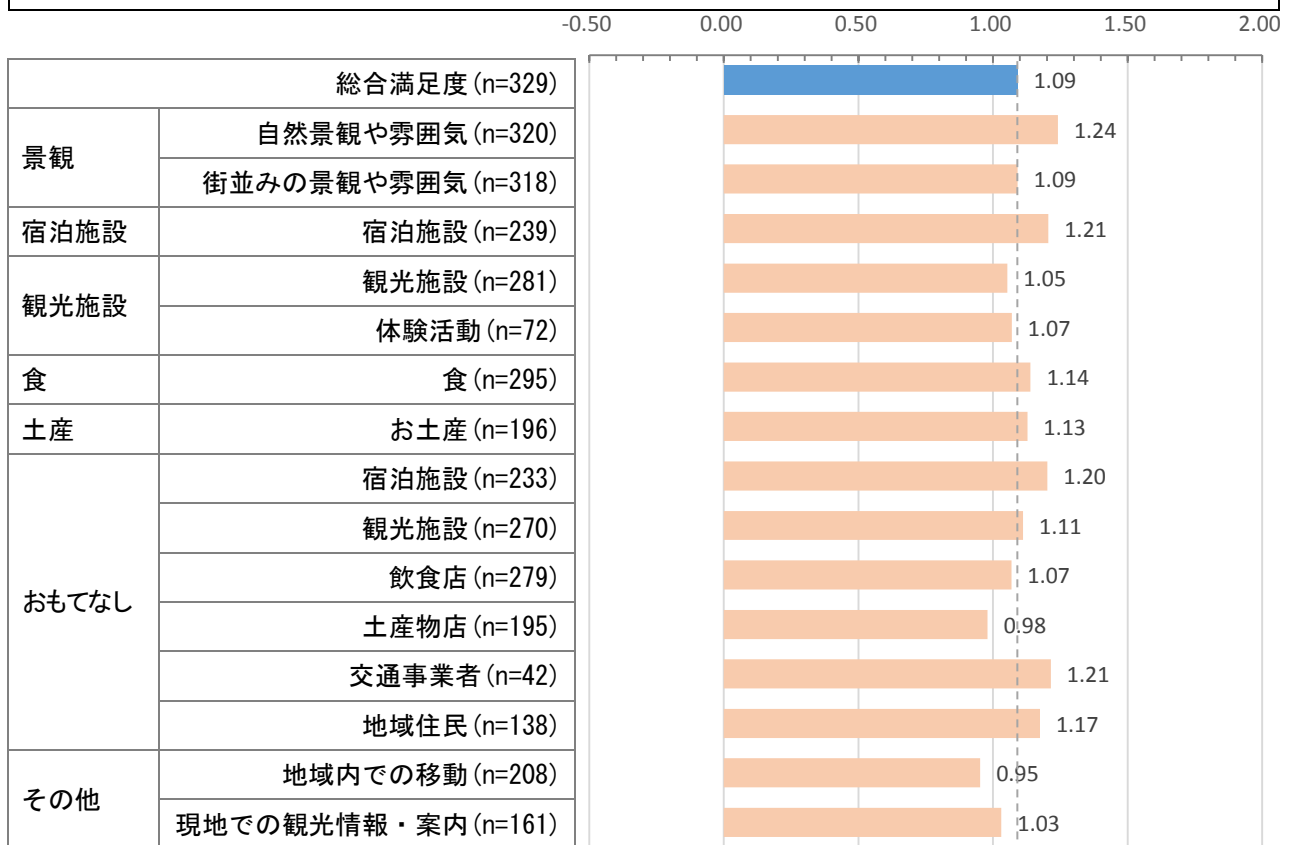
調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた満足層が 86.0%であった。また訪れたいかは、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた再来訪意向層が 91.5%であった。

調査地域の総合満足度／再来訪意向 (n=329)



「総合満足度」は 1.09 であった。満足度を項目別にみると、「景観 自然景観や雰囲気」に対する満足度は 1.24 で最も高く、次いで「おもてなし 交通事業者」、「おもてなし 宿泊施設」に対する満足度が高い傾向にある。

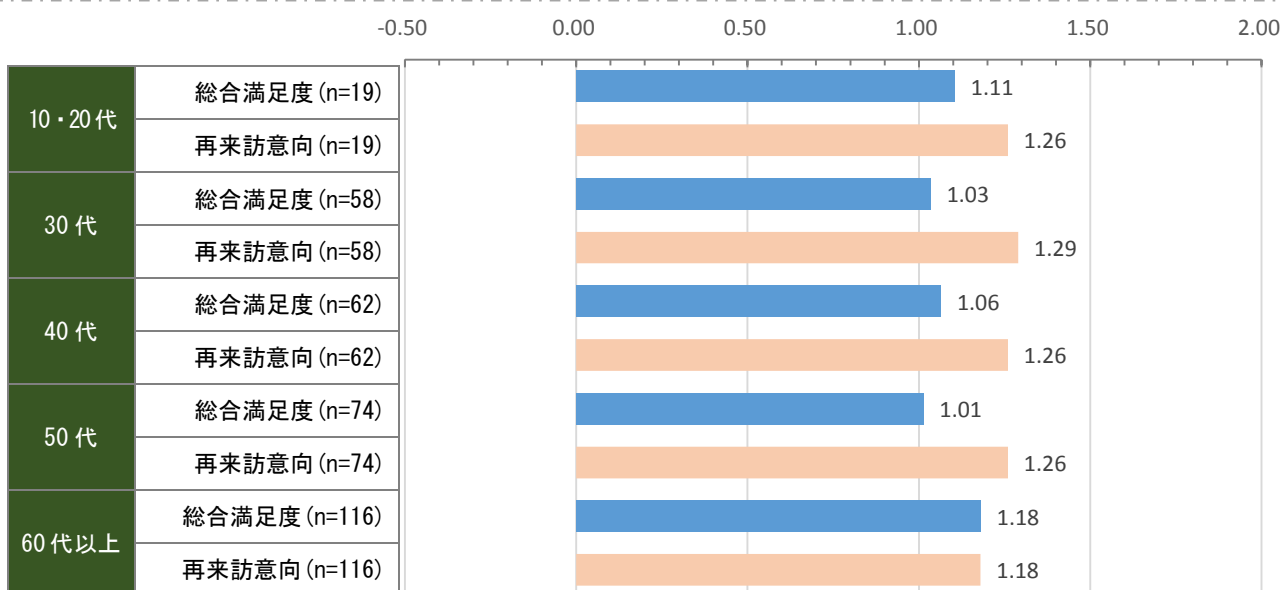
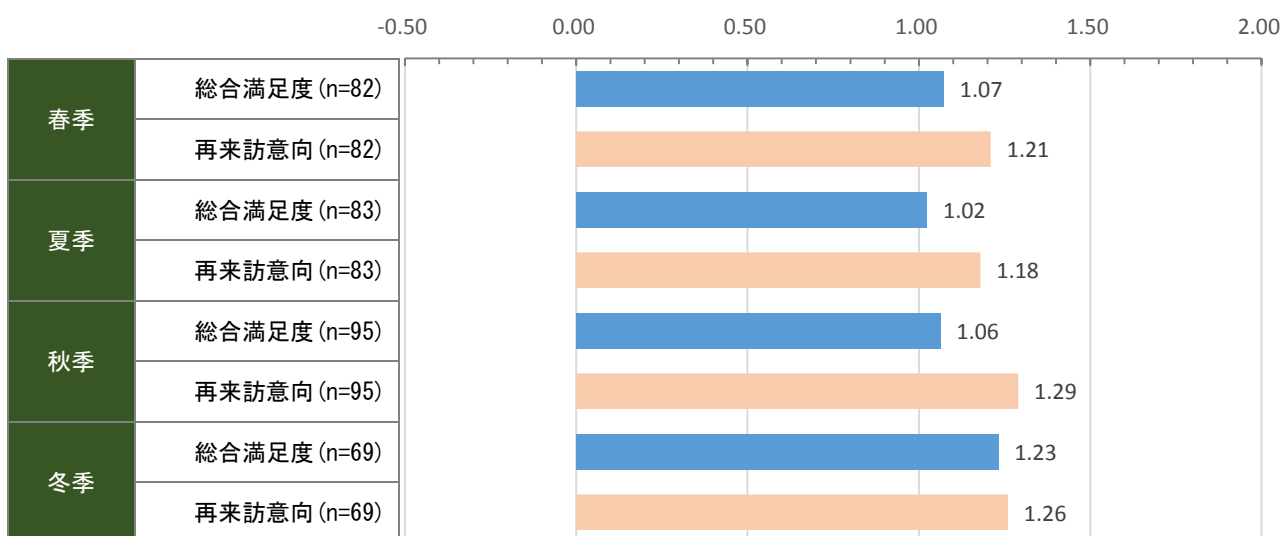
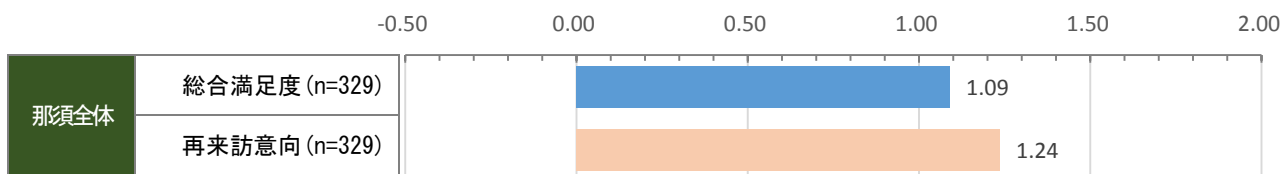
項目別満足度 (加重平均値)



調査地域の総合満足度／再来訪意向（季節別・年代別）

総合満足度を季節別にみると、「冬季」が1.23で最も高く、「春季」「夏季」「秋季」はほぼ同様の傾向であった。また、再来訪意向は、「秋季」が1.29で最も高かった。

年代別にみると、総合満足度は「60代以上」が1.18で最も高く、再来訪意向については「30代」が1.29で最も高かった。



ii. 日光エリア

①平成27年度調査結果

宿泊客（日光エリア）

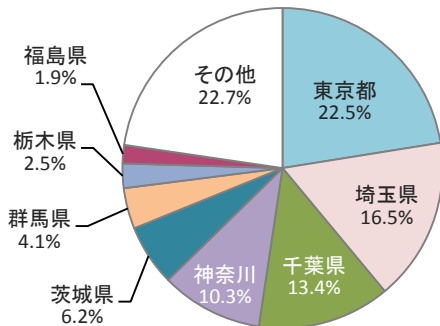
サンプル数：485

回答者の97.5%が県外居住者で「東京都」が22.5%で最も多く、次いで「埼玉県」が16.5%、「千葉県」が13.4%であった。

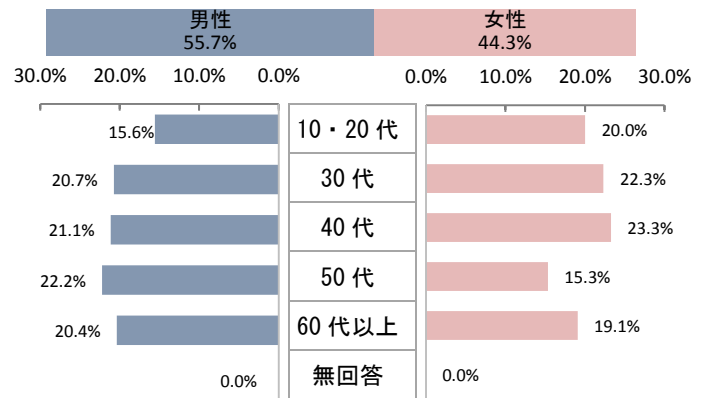
性別は、「男性」が55.7%、「女性」が44.3%で男性が女性より11.4ポイント高かった。年代は、男性では「50代」が22.2%で最も多く、女性では「40代」が23.3%で最も多かった。

調査地域周辺への来訪回数は、「初めて」が45.4%で最も多く、栃木県内の宿泊日数は「1泊」が88.5%で最も多かった。また、同行者数は「2人」が50.1%で最も多く、同行者の関係は「夫婦旅行」が27.0%で最も多く、次いで、「子ども連れ家族旅行」が21.2%であった。

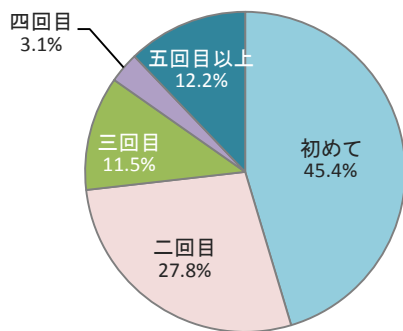
お住まい (n=485)



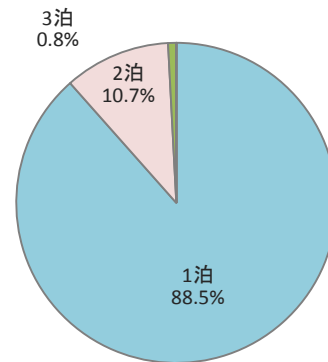
性別・年代 (n=485)



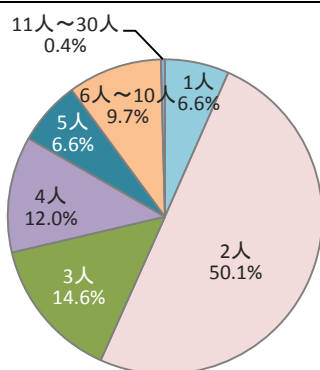
調査地域周辺への来訪回数 (n=485)



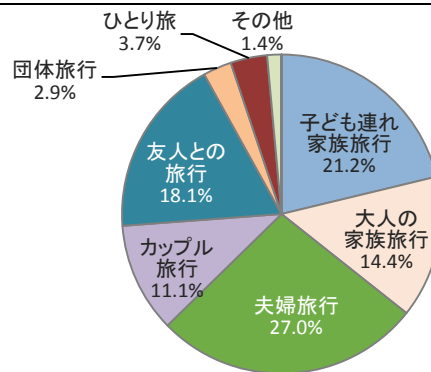
栃木県での宿泊日数 (n=485)



同行者数 ※回答者を含む (n=485)

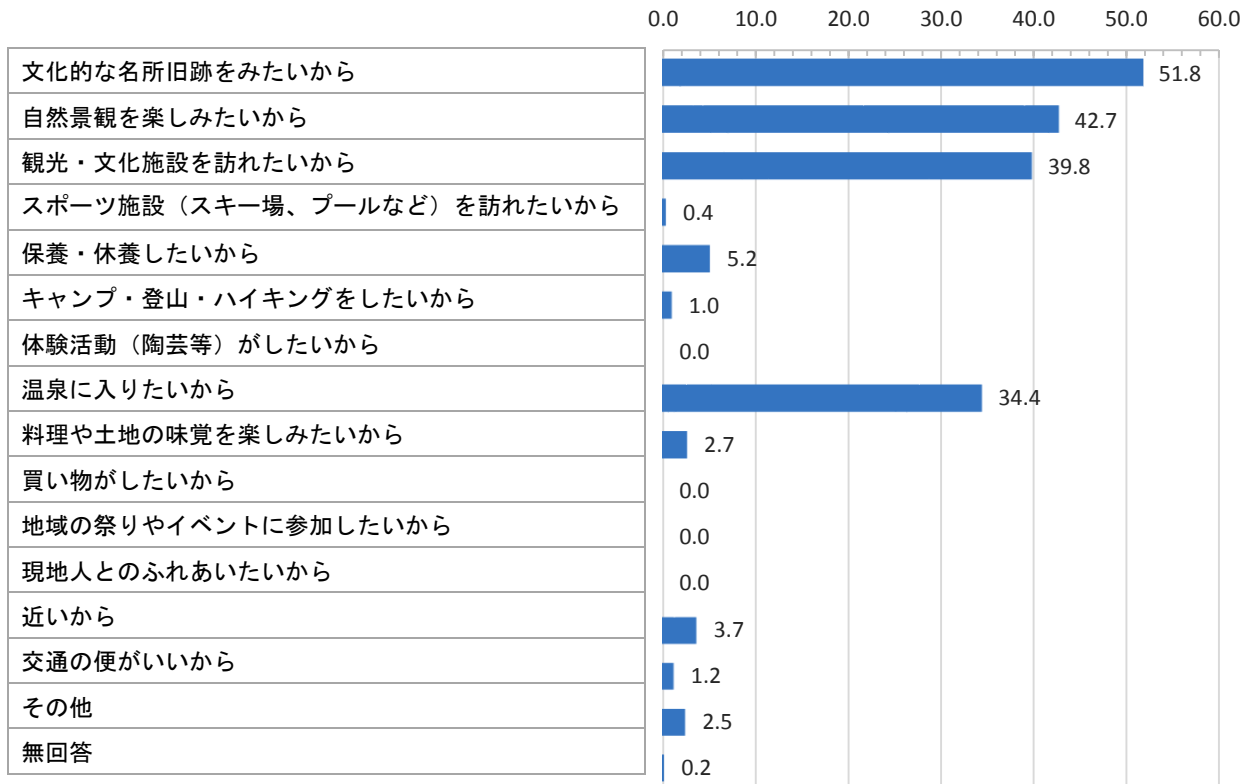


同行者の関係 (n=485)



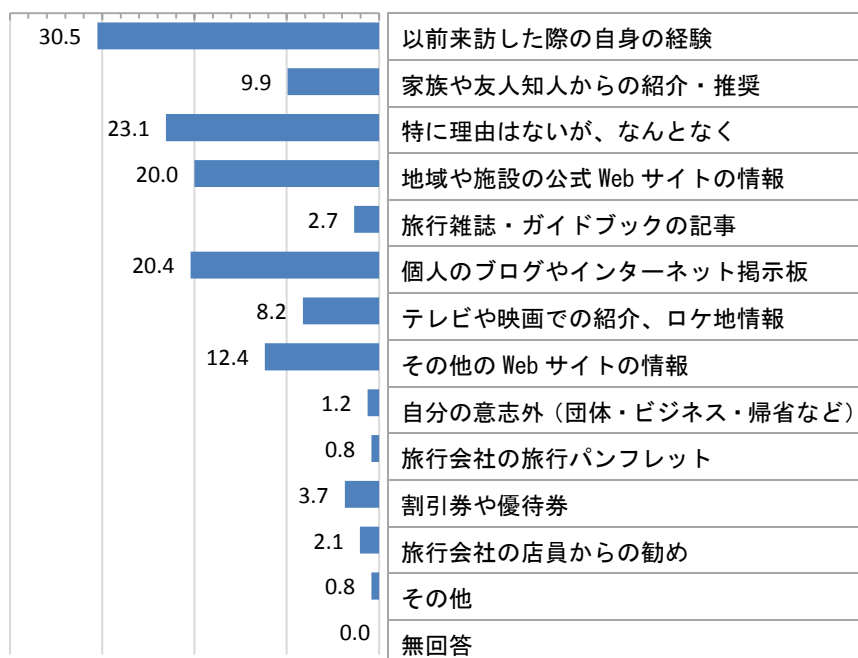
旅行先に選んだ理由は「文化的な名所旧跡をみたいから」が51.8%で最も多く、次いで「自然景観を楽しみたいから」が42.7%であった。旅行先に選んだ情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が30.5%で最も多く、決め手となった情報源も「以前来訪した際の自身の経験」が26.8%で最も多かった。

旅行先に選んだ理由（複数回答）(n=485)



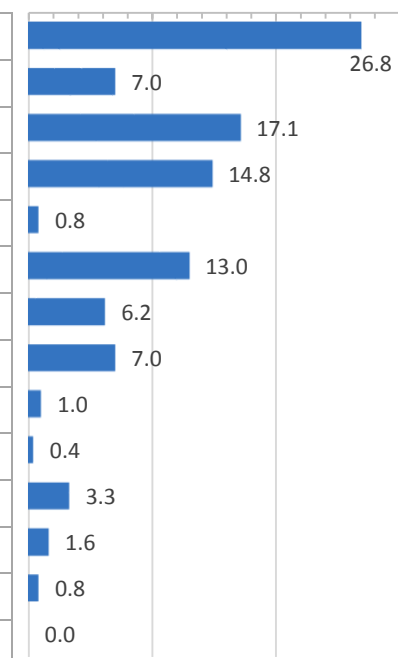
旅行先に選んだ情報源（複数回答）(n=485)

40.0 30.0 20.0 10.0 0.0



“決め手”となった情報源（単一回答）(n=485)

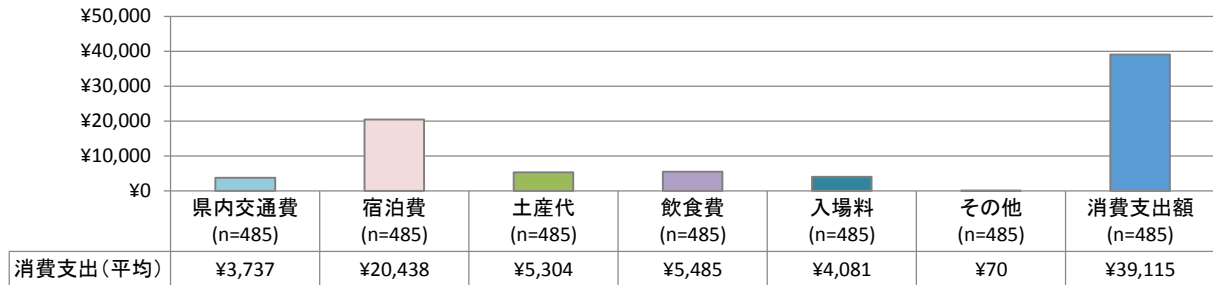
0.0 10.0 20.0 30.0



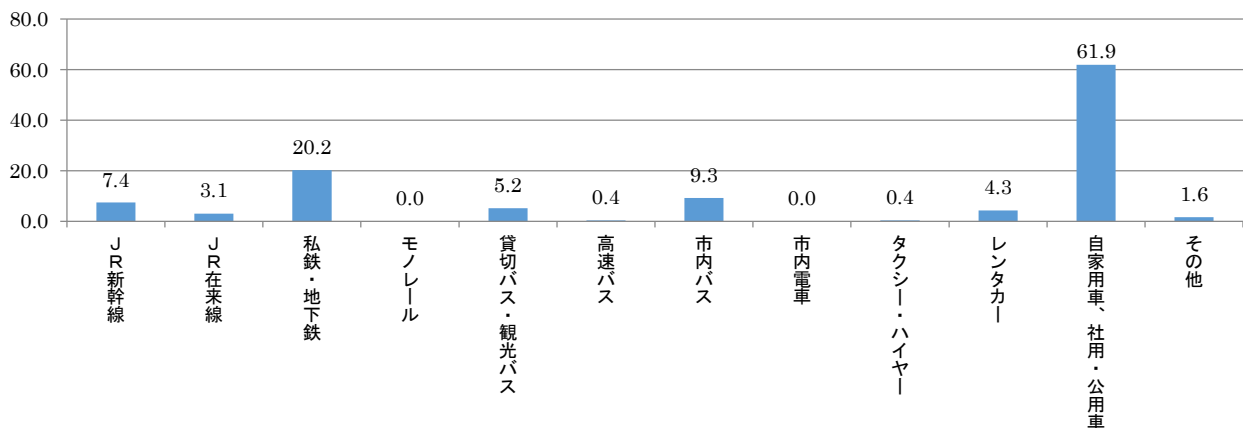
消費支出の平均は、総額で 39,115 円であった。利用交通機関は、「自家用車、社用・公用車」が 61.9%で最も多かった。

立ち寄り観光施設は、「二社一寺」が 175 人と最も多く、次いで「鬼怒川温泉」が 159 人であった。

消費支出（平均）



利用交通機関（複数回答）(n=485)



立ち寄り観光施設 (n=485) ※ () 内は施設に立ち寄った人数

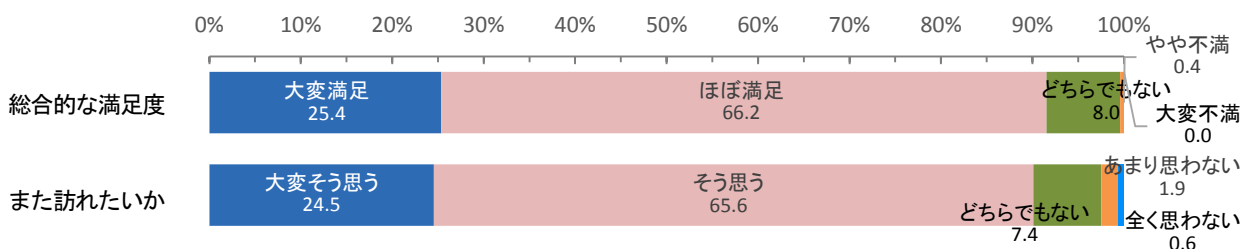
那須	日光	県央
塩原温泉郷(11)	日光湯元温泉(25)	大谷資料館(5)
那須ガーデンアウトレット(3)	戦場ヶ原・小田代原(16)	栃木県子ども総合科学館(1)
りんどう湖ファミリー牧場(3)	川治温泉(16)	古峯神社(1)
もみじ谷大吊橋(1)	龍王峡(16)	
ハンターマウンテン塩原(1)	湯滝・湯の湖(12)	県南
那須どうぶつ王国(1)	東武ワールドスクウェア(10)	佐野プレミアム・アウトレット(4)
那須サファリパーク(1)	湯西川温泉(9)	佐野厄よけ大師(3)
那須ハイランドパーク(1)	大笹牧場(8)	あしかがフラワーパーク(2)
那須ロープウェイ(1)	とりっくあーとぴあ日光(5)	都賀カンツリー倶楽部(1)
那須オルゴール美術館(1)	明智平(4)	おもちゃのまちバンダイミュージアム(1)
那須高原友愛の森(1)	日光田母沢御用邸記念公園(3)	
ホテルエピナール那須(1)	イタリア大使館別荘記念公園(3)	
日光	霧降の滝(3)	
二社一寺参拝者(175)	二荒山神社中宮祠(2)	
鬼怒川温泉(159)	小杉放菴記念日光美術館(1)	
中禅寺湖(79)	神事流鏝馬・秋季(日光東照宮)(1)	
華厳滝(39)	3D宇宙・恐竜館(1)	
日光江戸村(32)	道の駅湯西川(1)	

※対象者が現在いる地点（調査地点）は立ち寄り観光施設にカウントしない。

二社一寺(134)、華厳の滝(158)、東武ワールドスクウェア(193)

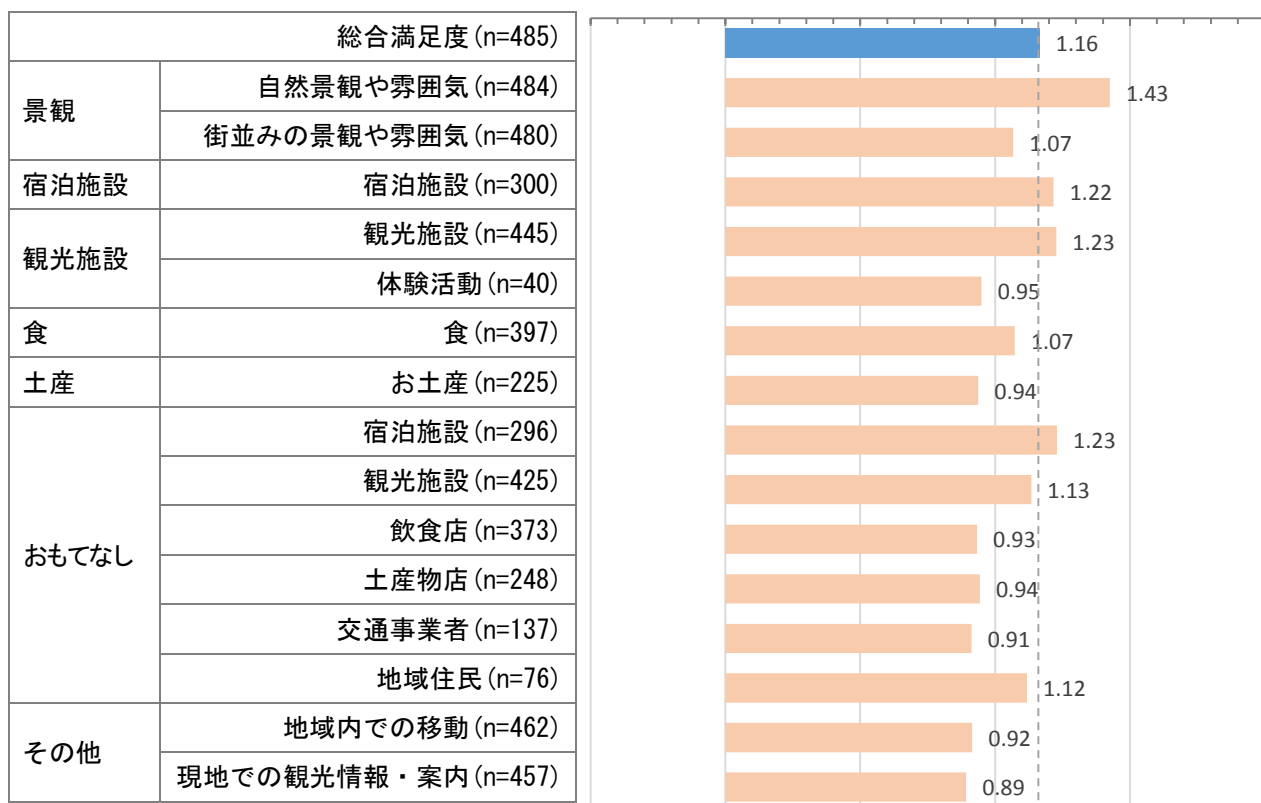
調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた満足層が 91.6%で 9 割を超えた。また、訪れたいかは「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた再来訪意向層が 90.1%であった。

調査地域の総合満足度／再来訪意向 (n=485)



「総合満足度」は 1.16 であった。満足度を項目別にみると、「景観 自然景観や雰囲気」に対する満足度は 1.43 で最も高く、次いで「観光施設 観光施設」、「おもてなし 宿泊施設」に対する満足度が高い傾向にあった。

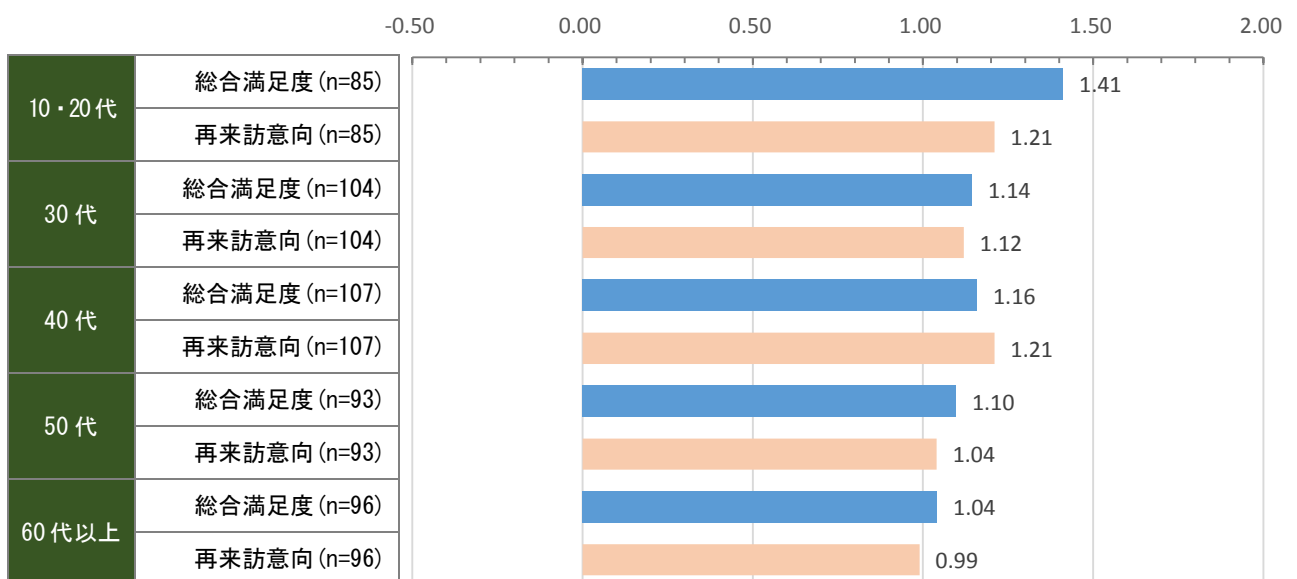
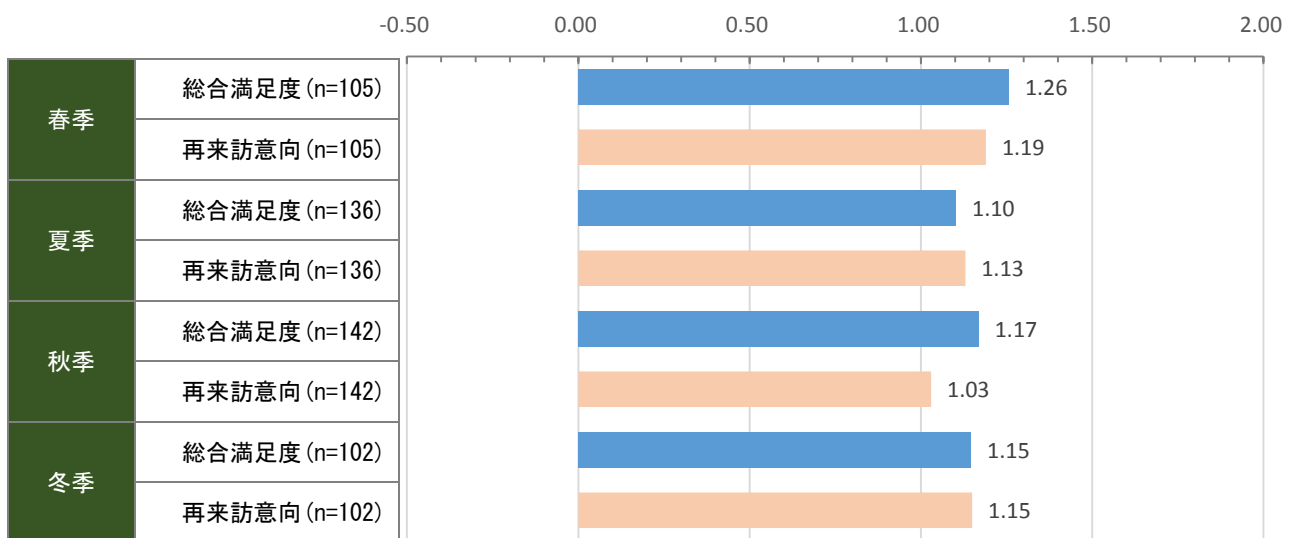
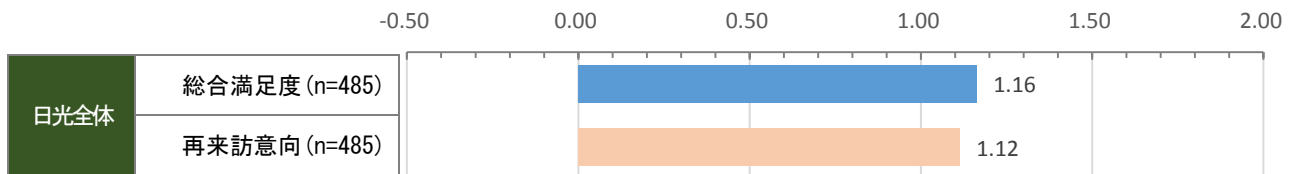
総合満足度 (n=485)



調査地域の総合満足度／再来訪意向（季節別・年代別）

総合満足度を季節別にみると、「春季」が1.26で最も高いが、四季による変動はほとんどない。また、再来訪意向も、「春季」が1.19で最も高く、四季による変動はほとんどみられない。

年代別にみると、総合満足度は「10・20代」が1.41で最も高く、再来訪意向については「10.20代」と「40代」が1.21で最も高かった。



iii. 県央エリア

① 平成27年度調査結果

宿泊客（県央エリア）

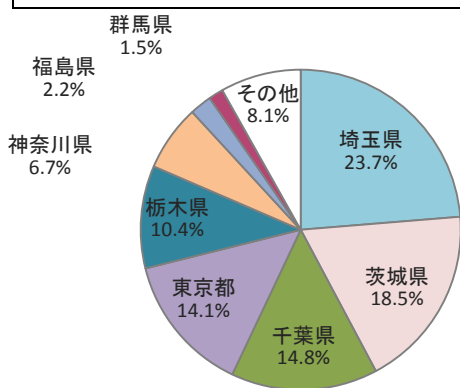
サンプル数：135

回答者の89.6%が県外居住者で「埼玉県」が23.7%で最も多く、次いで「茨城県」が18.5%、「千葉県」が14.8%であった。

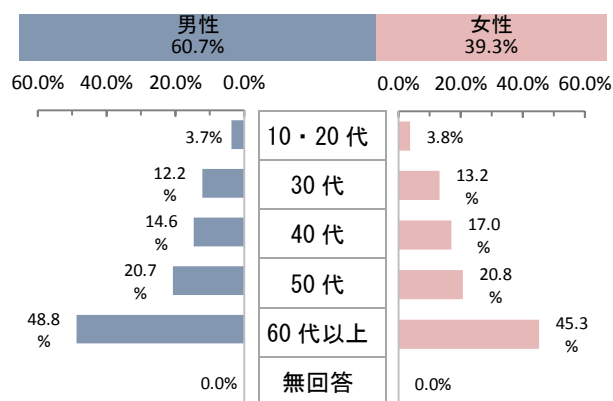
性別は、「男性」が60.7%、「女性」が39.3%で男性が女性より21.4ポイント高かった。年代は、男女ともに「60代」が最も多く「男性」が48.8%、「女性」が45.3%であった。

調査地域周辺への来訪回数は、「初めて」が50.4%で最も多く、栃木県内の宿泊日数は「1泊」が88.1%で最も多かった。また、同行者数は「2人」が42.2%で最も多く、同行者の関係は「夫婦旅行」が32.6%で最も多く、次いで、「子ども連れ家族旅行」が20.7%であった。

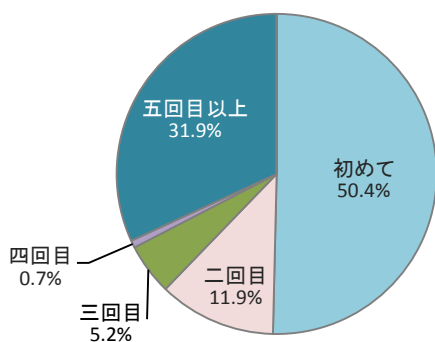
お住まい (n=135)



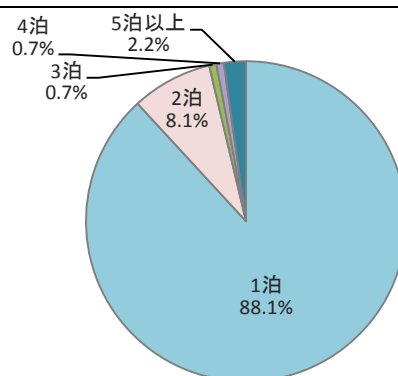
性別・年代 (n=135)



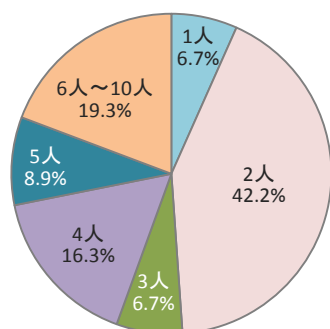
調査地域周辺への来訪回数 (n=135)



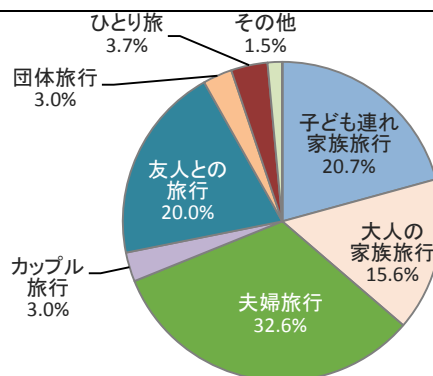
栃木県での宿泊日数 (n=135)



同行者数 ※回答者を含む (n=135)

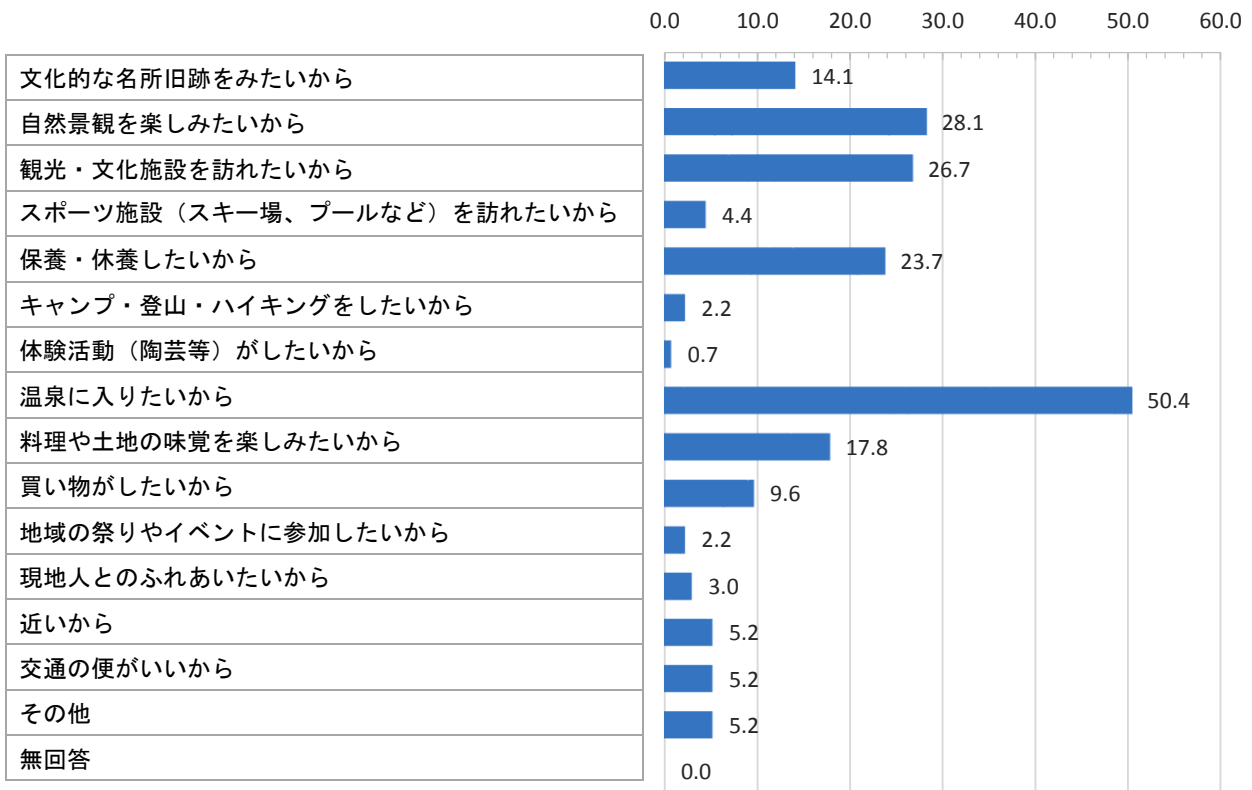


同行者の関係 (n=135)

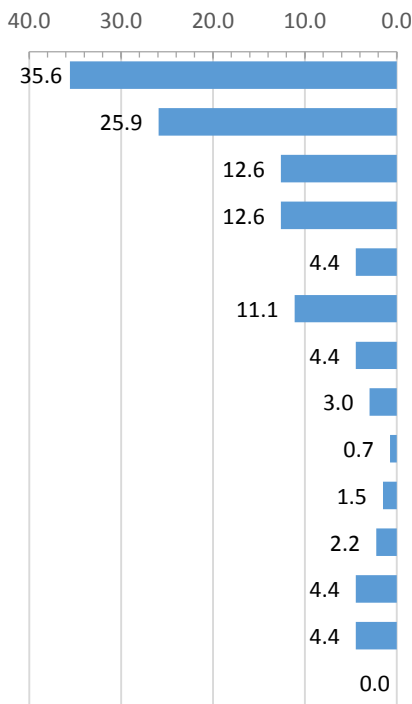


旅行先に選んだ理由は「温泉に入りたいから」が50.4%で最も多く、次いで「自然景観を楽しみたいから」が28.1%であった。旅行先に選んだ情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が35.6%で最も多く、決め手となった情報源も「以前来訪した際の自身の経験」が29.6%で最も多かった。

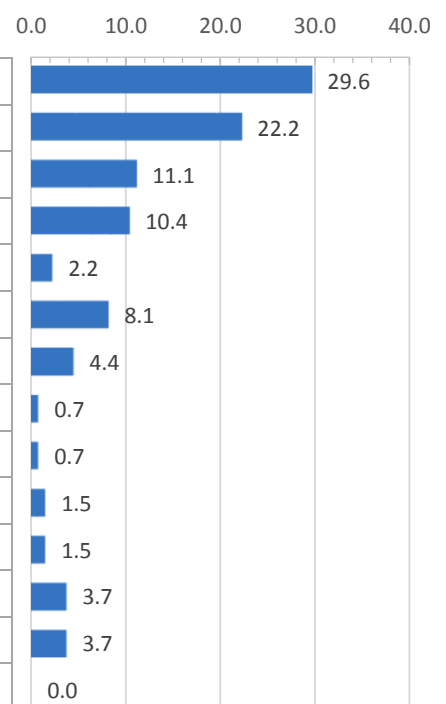
旅行先に選んだ理由（複数回答）（n=135）



旅行先に選んだ情報源（複数回答）（n=135）



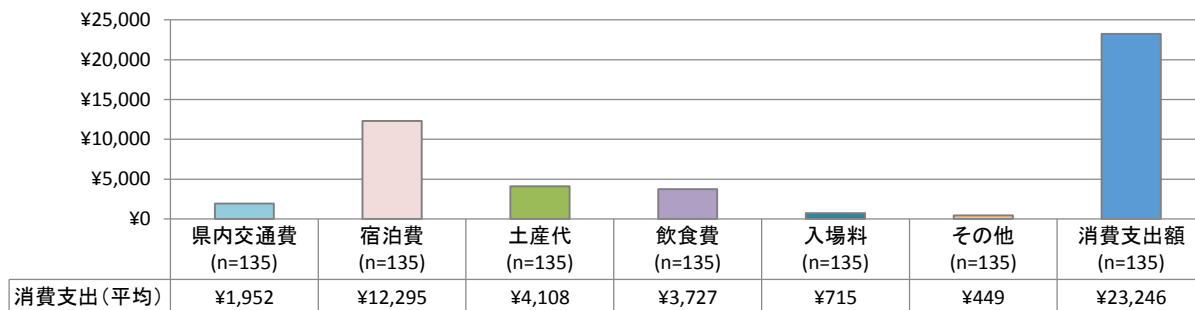
“決め手”となった情報源（単一回答）（n=135）



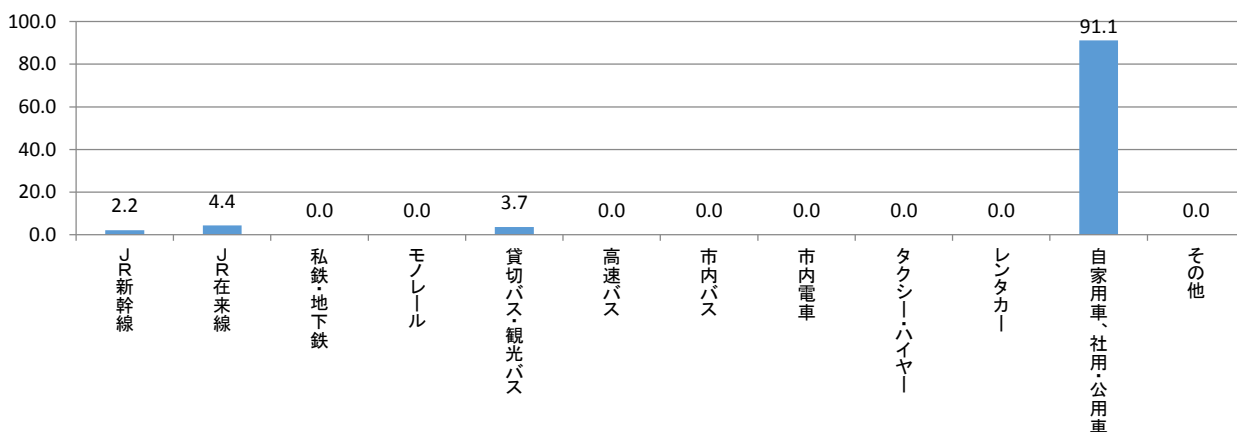
消費支出の平均は、総額で 23,246 円であった。利用交通機関は、「自家用車・社用・公用車」が 91.1%で最も多かった。

立ち寄り観光施設は、「二社一寺参拝者」と「鬼怒川温泉」が 19 人で最も多く、次いで「塩原温泉郷」が 10 人であった。

消費支出（平均）



利用交通機関（複数回答）(n=135)



立ち寄り観光施設 (n=135) ※ () 内は施設に立ち寄った人数

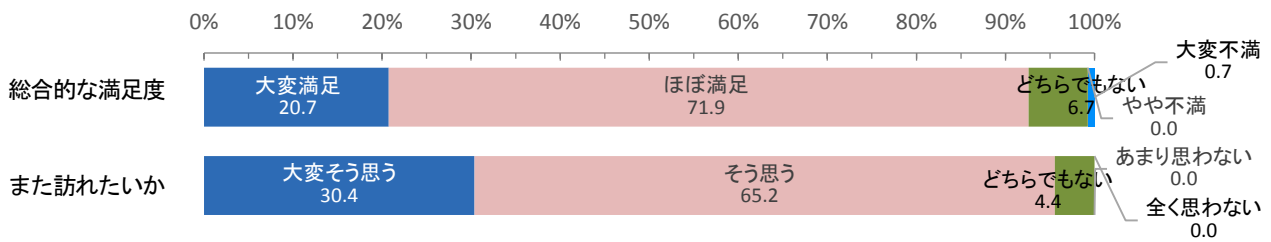
那須	日光	県央
塩原温泉郷 (10)	二社一寺参拝者 (19)	道の駅ばとう (8)
那須ガーデンアウトレット (4)	鬼怒川温泉 (19)	大谷資料館 (7)
栃木県なかがわ水遊園 (2)	華厳滝 (7)	ろまんちっく村 (1)
もみじ谷大吊橋 (2)	中禅寺湖 (4)	宇都宮動物園 (1)
道の駅那須与一の郷 (1)	日光田母沢御用邸記念公園 (2)	いわむらかずお絵本の丘美術館 (1)
黒羽観光やな (1)	日光湯元温泉 (2)	馬頭温泉郷 (1)
南ヶ丘牧場 (1)	とりっくあーとぴあ日光 (2)	まほろばの湯湯親館 (1)
那須どうぶつ王国 (1)	大笹牧場 (1)	県東
那須サファリパーク (1)	湯滝・湯の湖 (1)	益子焼 (1)
鹿の湯 (1)	川治温泉 (1)	大瀬観光やな (1)
芦野温泉 (1)	東武ワールドスクウェア (1)	道の駅もてぎ (1)
ホテルエビナール那須 (1)	湯西川温泉 (1)	県南
馬頭広重美術館 (1)		佐野プレミアム・アウトレット (4)
		あしががフラワーパーク (1)

※対象者が現在いる地点（調査地点）は立ち寄り観光施設にカウントしない。

ろまんちっく村 (61)、道の駅きつれがわ (35)、道の駅ばとう (39)

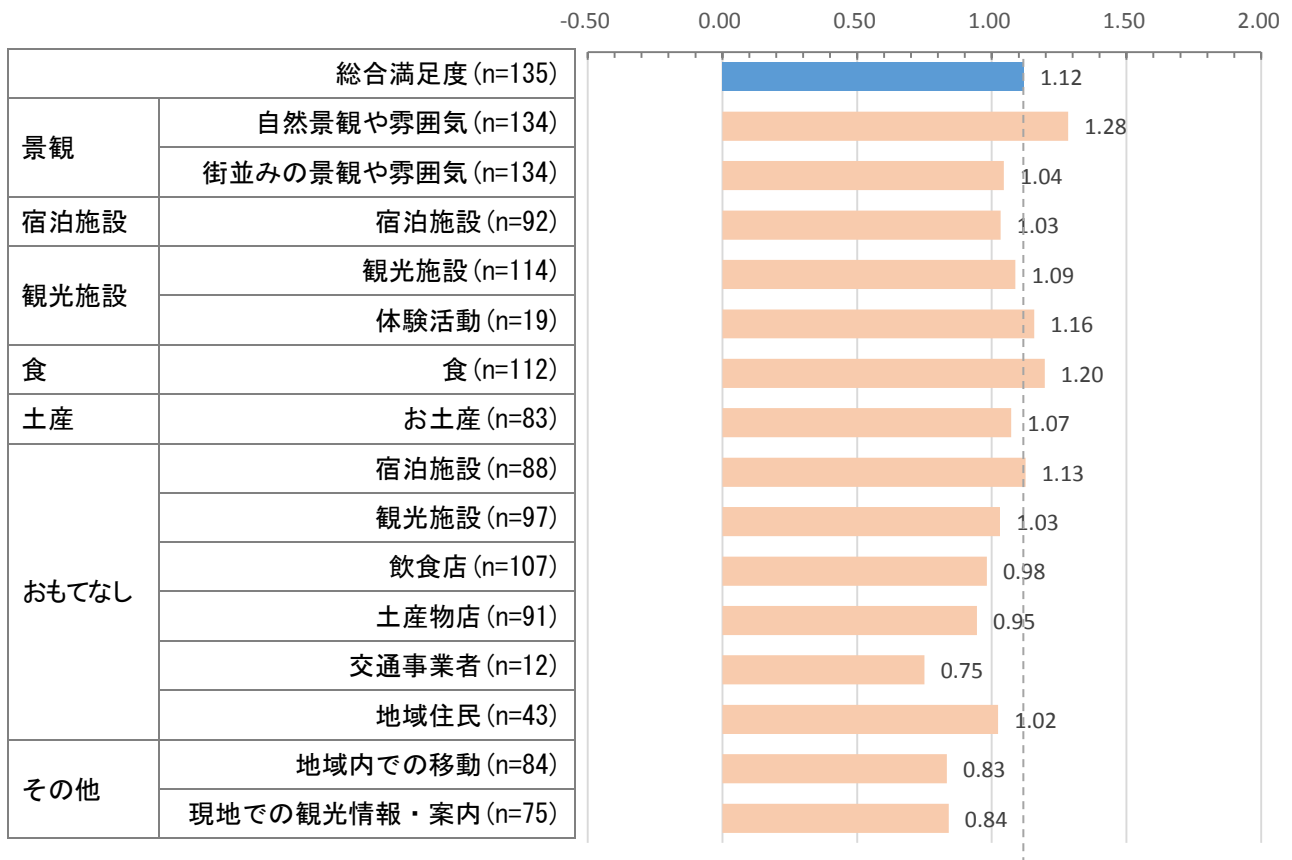
調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた満足層が 92.6%であった。また訪れたいかは、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた再来訪意向層が 95.6%であった。

調査地域の総合満足度／再来訪意向 (n=135)



「総合満足度」は 1.12 であった。満足度を項目別にみると、「景観 自然景観や雰囲気」に対する満足度は 1.28 で最も高く、次いで「食 食」、「観光施設 体験活動」に対する満足度が高い傾向にあった。

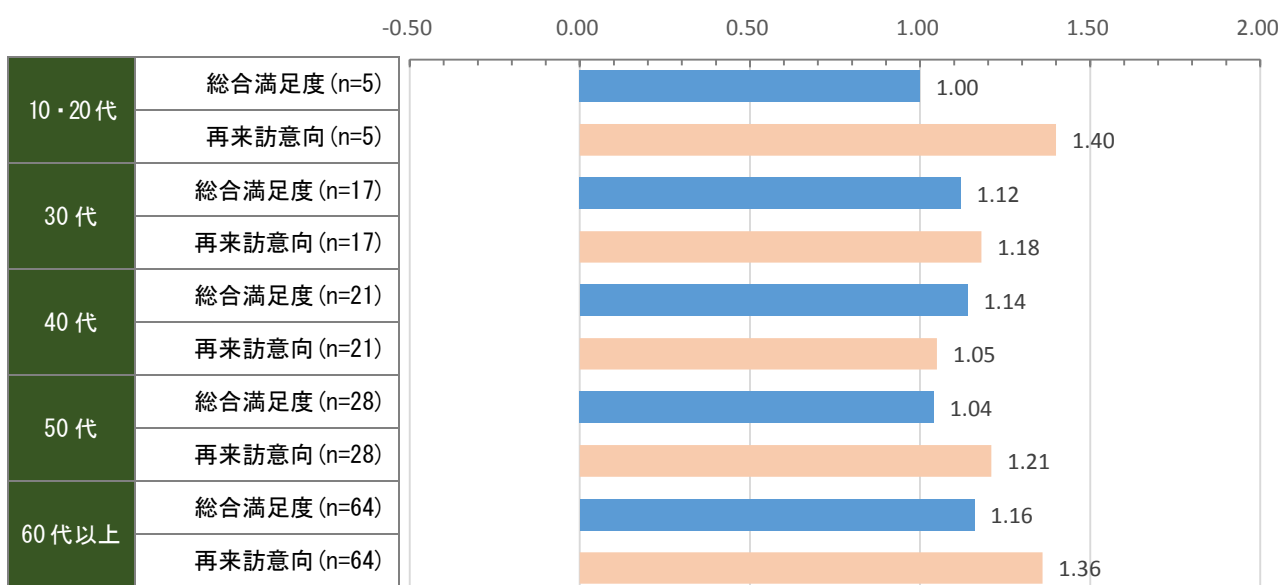
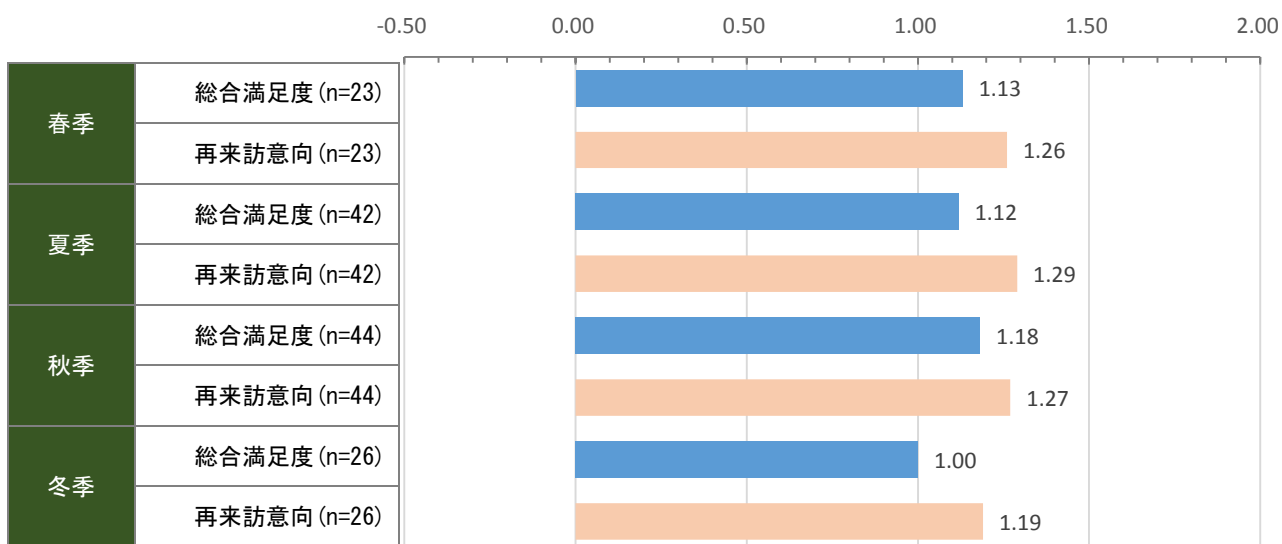
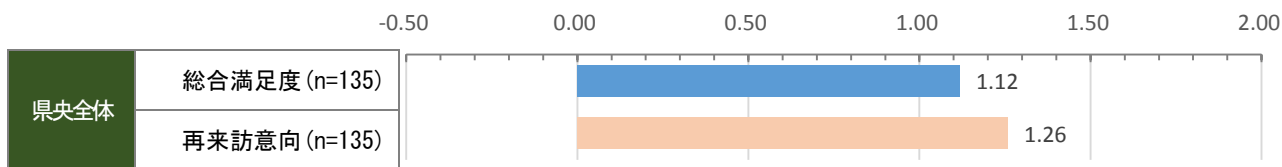
項目別満足度 (加重平均値)



調査地域の総合満足度／再来訪意向（季節別・年代別）

総合満足度を季節別にみると、「秋季」が1.18で最も高く、再来訪意向については、「夏季」が1.29で最も高かった。

年代別にみると、総合満足度は「60代」が1.16で最も高く、再来訪意向については「10.20代」が1.40で最も高かった。



iv. 県東エリア

① 平成27年度調査結果

宿泊客（県東エリア）

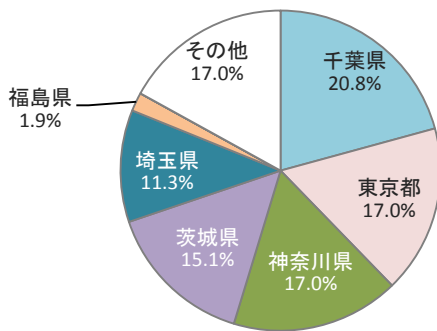
サンプル数：53

回答者の100.0%が県外居住者で「千葉県」が20.8%で最も多く、次いで「東京都」と「神奈川県」が17.0%であった。

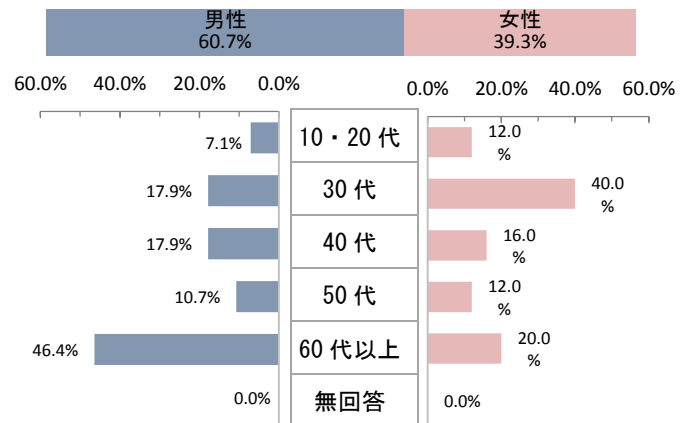
性別は「男性」が60.7%、「女性」が39.3%で男性が女性より21.4ポイント高かった。年代は、男性は「60歳代」が46.4%、女性は「30歳代」が40.0%で最も多かった。

調査地域周辺への来訪回数は、「初めて」が50.9%で最も多く、栃木県内の宿泊日数は「1泊」が69.8%で最も多かった。また、同行者数は「2人」が28.3%で最も多く、同行者の関係は「子ども連れ家族旅行」が37.7%で最も多く、次いで、「夫婦旅行」が20.8%であった。

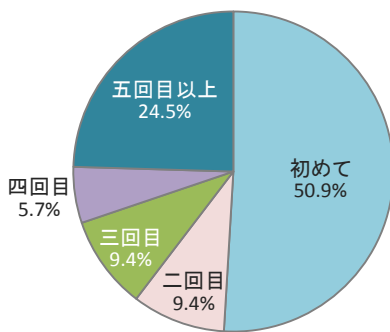
お住まい (n=53)



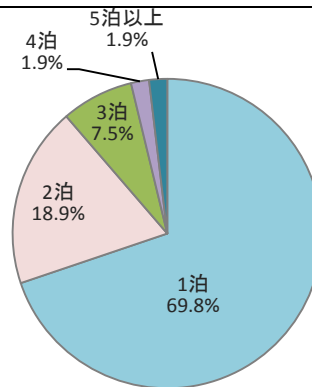
性別・年代 (n=53)



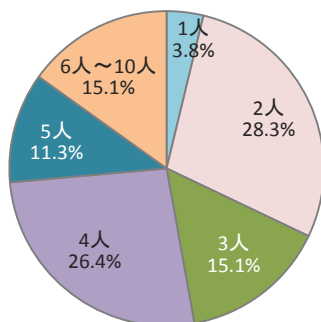
調査地域周辺への来訪回数 (n=53)



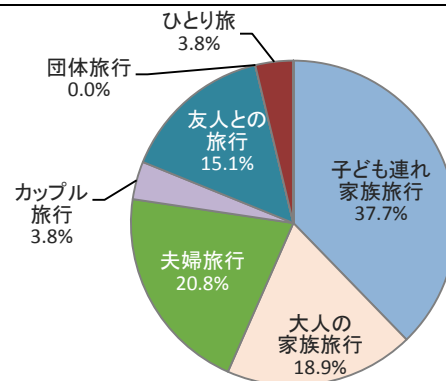
栃木県での宿泊日数 (n=53)



同行人数 ※回答者を含む (n=53)

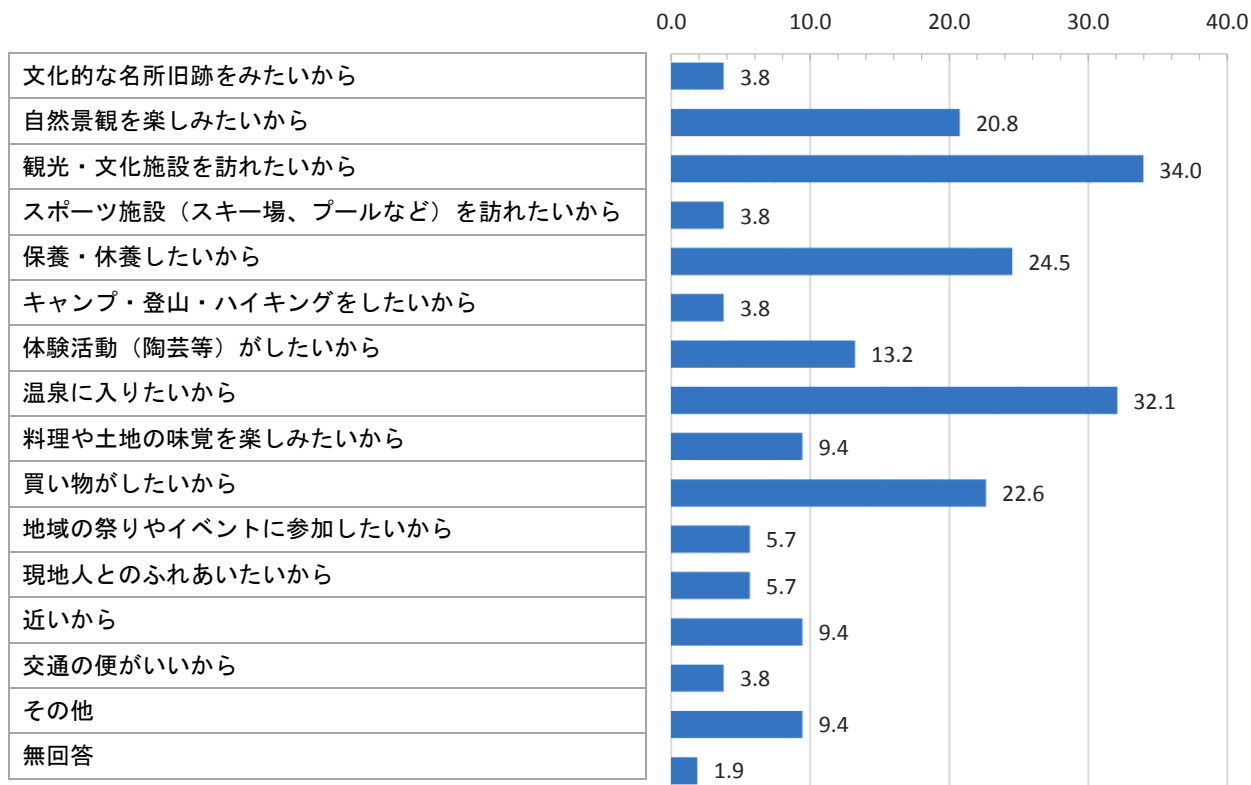


同行者の関係 (n=53)



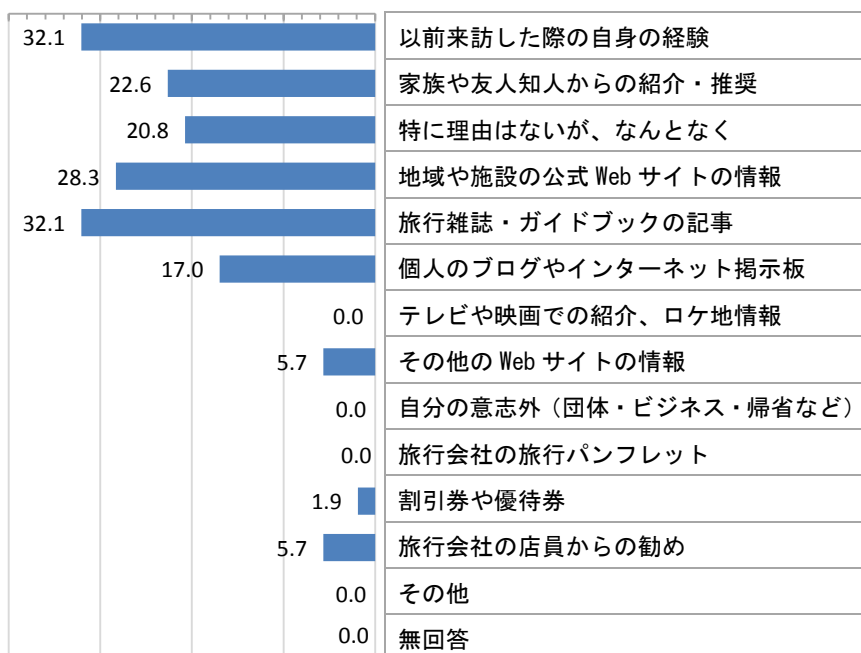
旅行先に選んだ理由は「観光・文化施設を訪れたいから」が34.0%で最も多く、次いで「温泉に入りたいから」が32.1%であった。旅行先に選んだ情報源は「以前来訪した際の自身の経験」と「旅行雑誌・ガイドブックの記事」が32.1%で最も多く、決め手となった情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が24.5%で最も多かった。

旅行先に選んだ理由（複数回答）(n=53)



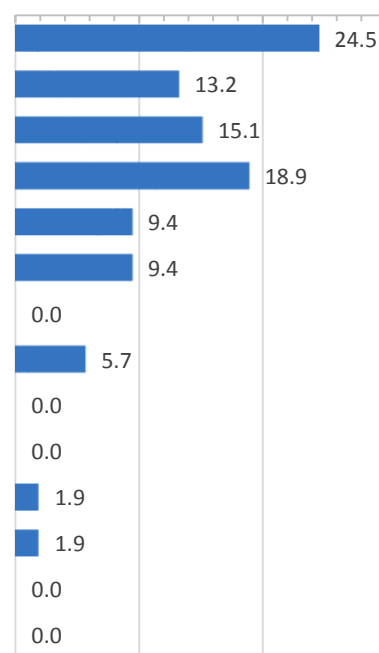
旅行先に選んだ情報源（複数回答）(n=53)

40.0 30.0 20.0 10.0 0.0



“決め手”となった情報源（単一回答）(n=53)

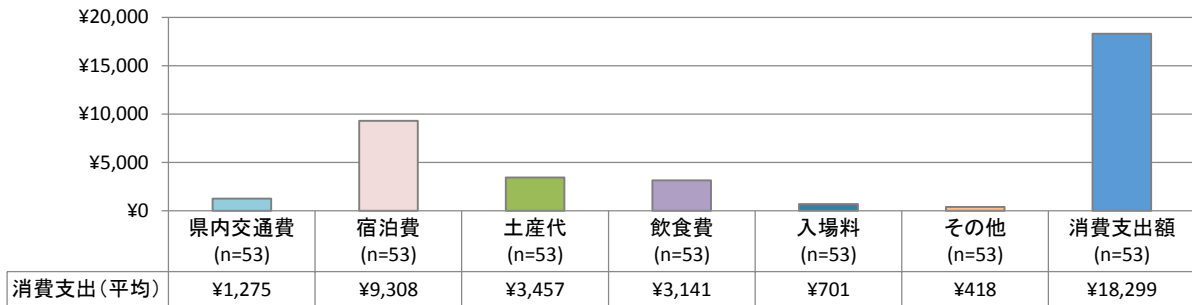
0.0 10.0 20.0 30.0



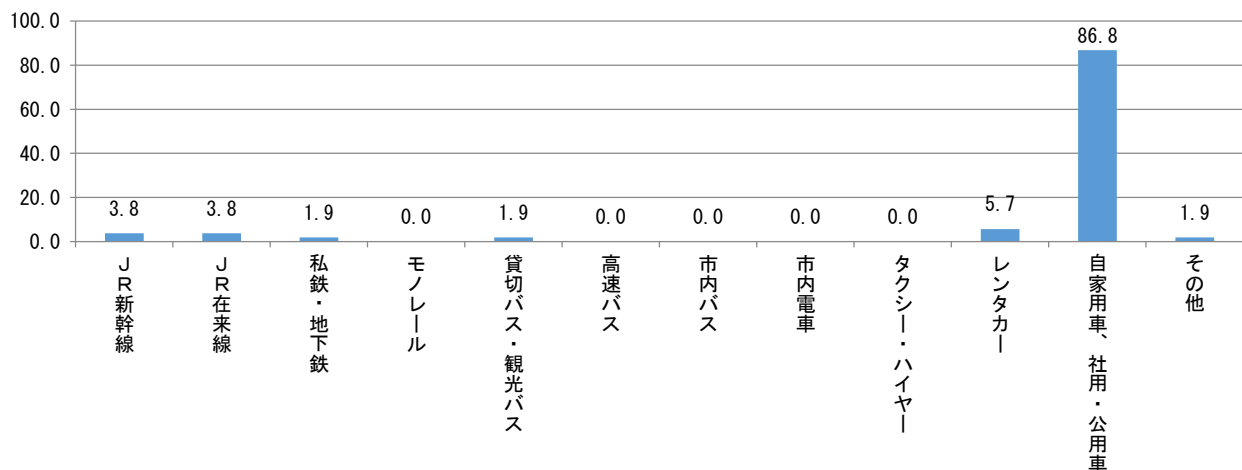
消費支出の平均は、総額で 18,229 円であった。利用交通機関は、「自家用車・社用・公用車」が 86.8%で最も多かった。

立ち寄り観光施設は「ツインリンクもてぎ」が 10 人と最も多く、次いで「鬼怒川温泉」の 5 人であった。

消費支出（平均）



利用交通機関（複数回答）（n=53）



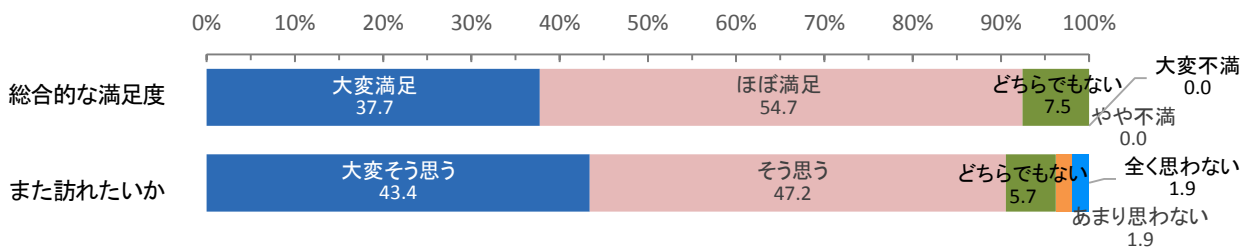
立ち寄り観光施設（n=53）※（ ）内は施設に立ち寄った人数

那須	日光	県東
塩原温泉郷(2)	鬼怒川温泉(5)	ツインリンクもてぎ(10)
千本松牧場(1)		道の駅もてぎ(2)
ホテルサンバレー那須(1)		真岡井頭温泉(1)
	県央	大瀬観光やな(1)
	道の駅きつれがわ(1)	道の駅サシバの里いちかい(1)
	元気あっぷむら(1)	県南
		太平山(1)

※対象者が現在いる地点（調査地点）は立ち寄り観光施設にカウントしない。
道の駅もてぎ（18）、陶芸メッセ益子（24）、道の駅はが（11）

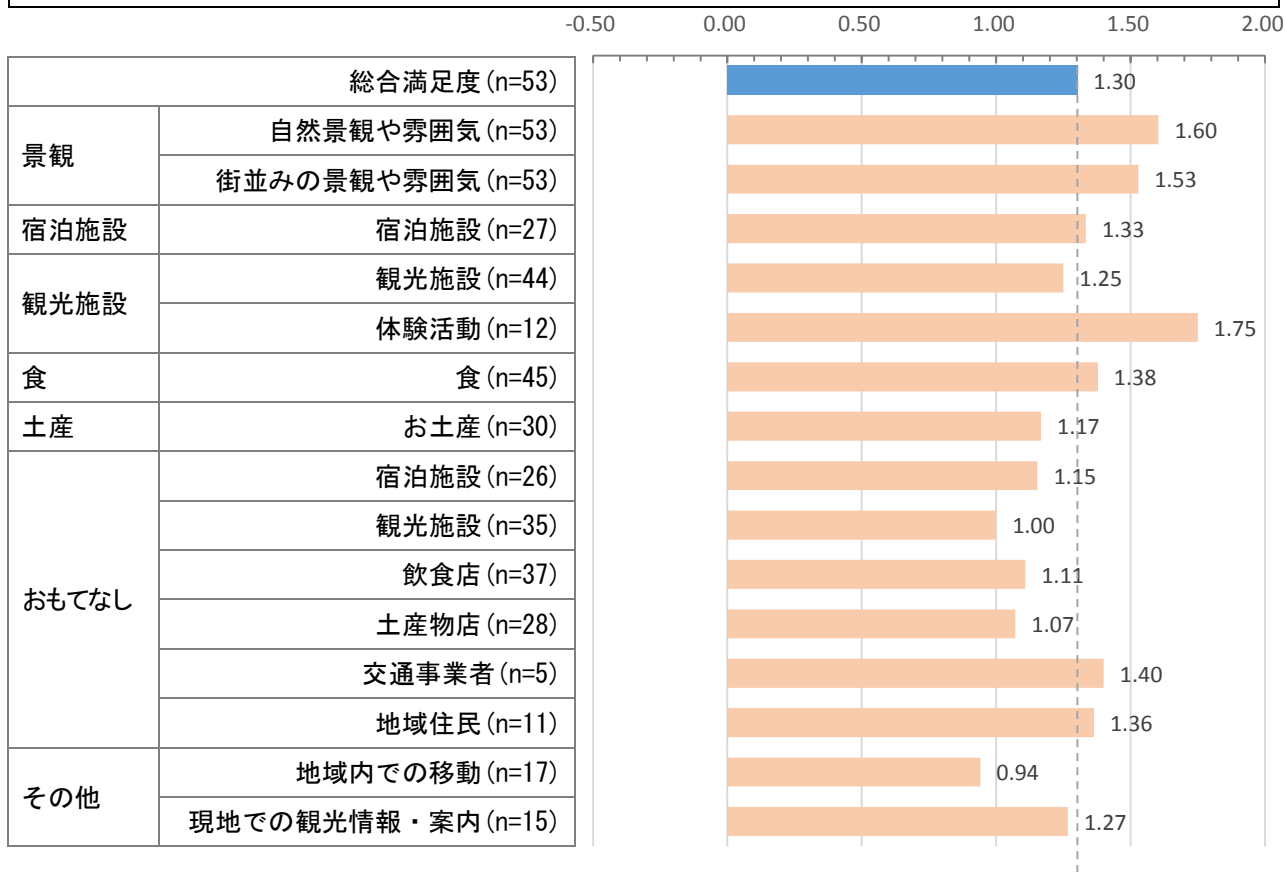
調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた満足層が 92.4%であった。また訪れたいかは、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた再来訪意向層が 90.6%であった。

調査地域の総合満足度／再来訪意向 (n=53)



「総合満足度」は 1.30 であった。満足度を項目別にみると、「観光施設 体験活動」に対する満足度は 1.75 で最も高く、次いで「景観 自然景観や雰囲気」、「景観 街並みの景観や雰囲気」に対する満足度が高い傾向にあった。

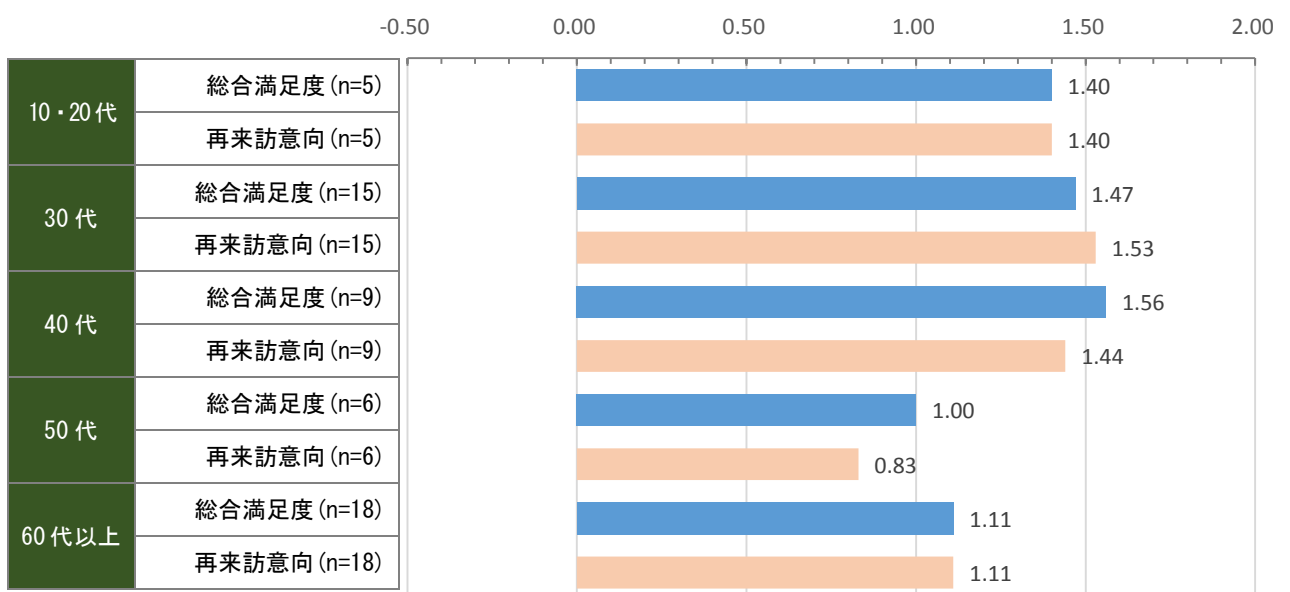
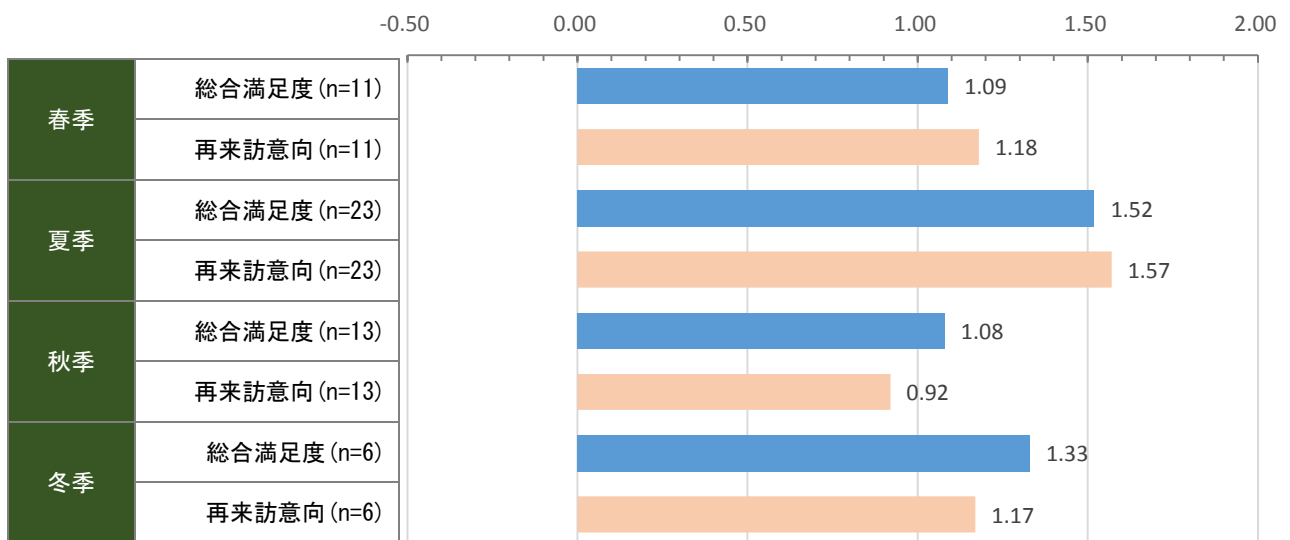
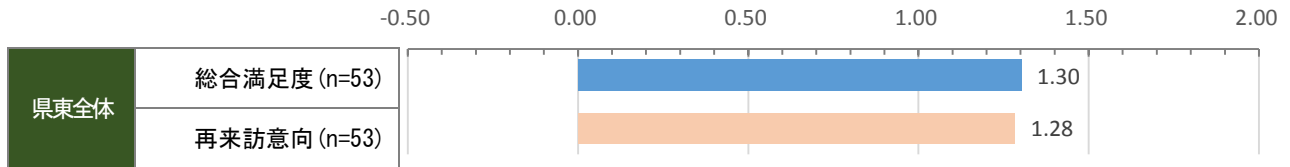
項目別満足度 (加重平均値)



調査地域の総合満足度／再来訪意向（季節別・年代別）

総合満足度を季節別にみると、「夏季」が1.52で最も高かった。また、再来訪意向についても、「夏季」が1.57で最も高かった。

年代別にみると、総合満足度は「40代」が1.56で最も高く、再来訪意向については「30代」が1.53で最も高かった。



v. 県南エリア

① 平成27年度調査結果

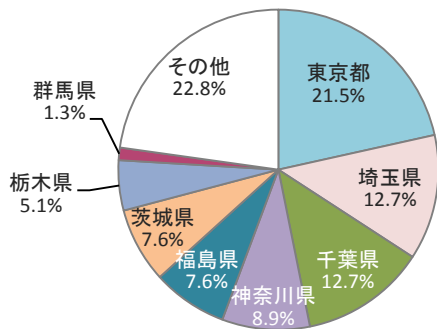
日帰り客 (県南エリア) サンプル数 : 79

回答者の94.9%が県外居住者で「東京都」が21.5%で最も多く、次いで「埼玉県」と「千葉県」が12.7%であった。

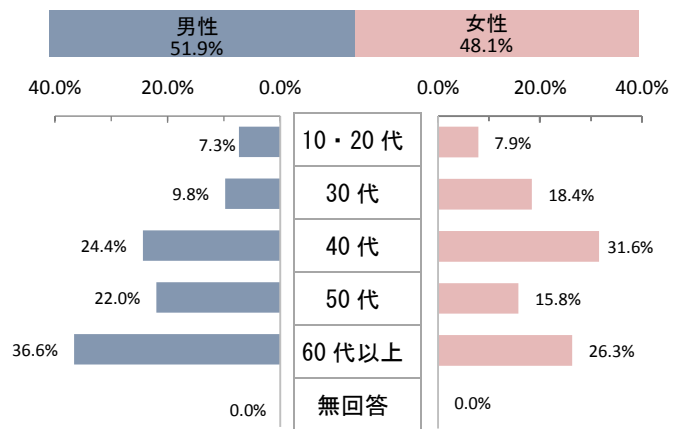
性別は、「男性」が51.9%、「女性」が48.1%で男性が女性より3.8ポイント高かった。年代は、男性は「60代以上」が36.6%、女性は「40代」が31.6%で最も多かった。

調査地域周辺への来訪回数は、「初めて」が57.0%で最も多く、栃木県内の宿泊日数は「1泊」が88.6%で最も多かった。また、同行者数は「2人」が39.2%で最も多く、同行者の関係は「子ども連れ家族旅行」が26.6%で最も多く、次いで、「夫婦旅行」が22.8%であった。

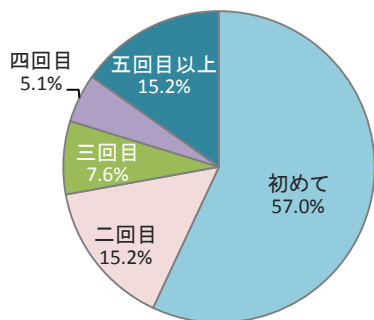
お住まい (n=79)



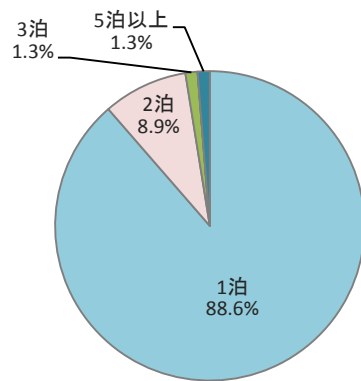
性別・年代 (n=79)



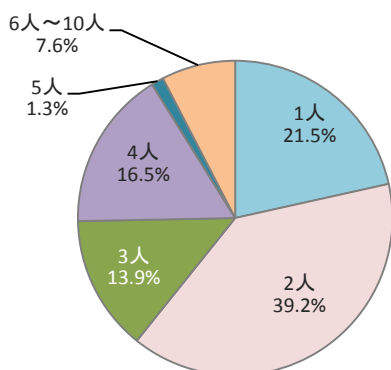
調査地域周辺への来訪回数 (n=79)



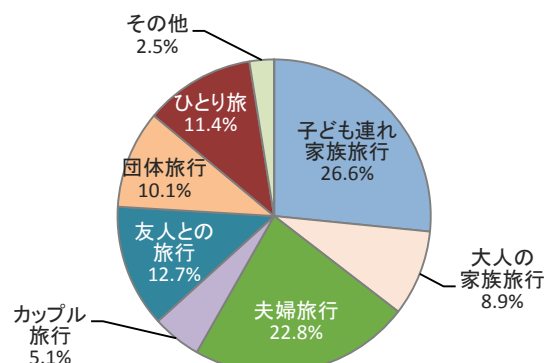
栃木県での宿泊日数 (n=79)



同行人数 ※回答者を含む (n=79)

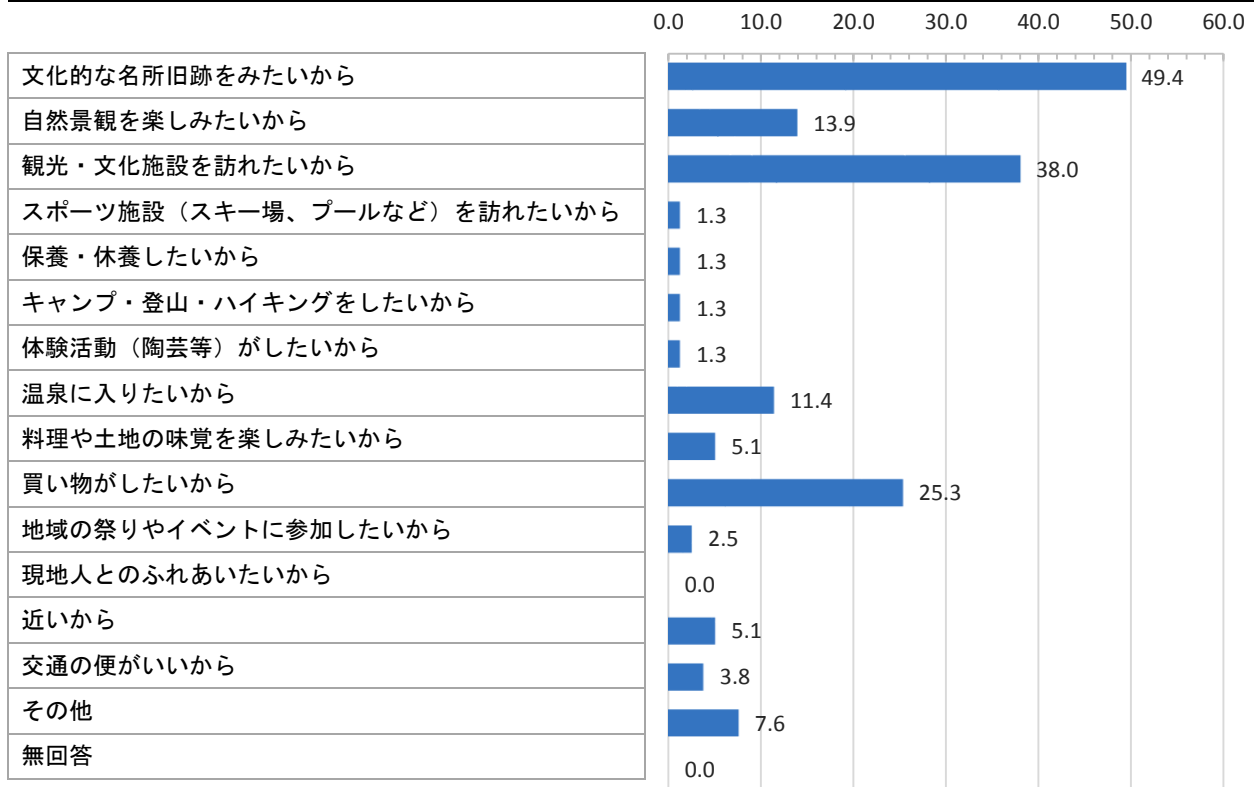


同行者の関係 (n=79)



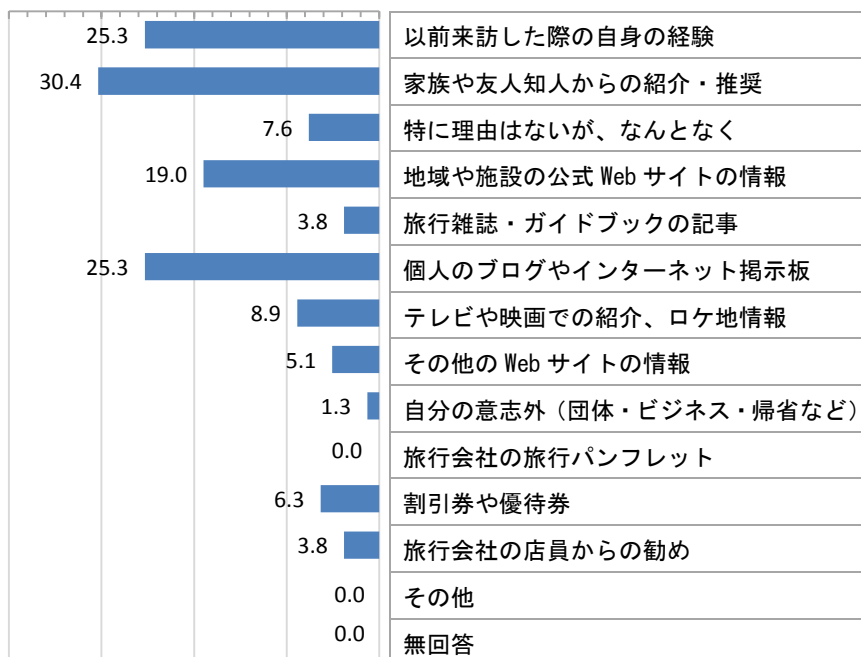
旅行先に選んだ理由は「文化的な名所旧跡をみたいから」が49.4%で最も多く、次いで「観光・文化施設を訪れたいから」が38.0%であった。旅行先に選んだ情報源は「家族や友人知人からの紹介・推奨」が30.4%で最も多く、決め手となった情報源も「家族や友人知人からの紹介・推奨」が27.8%で最も多かった。

旅行先に選んだ理由（複数回答）(n=79)



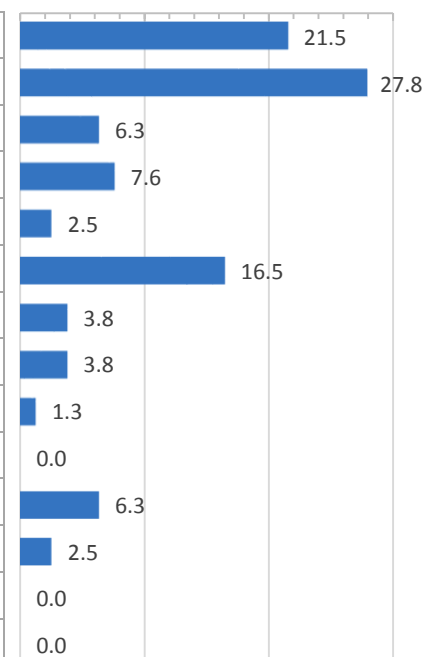
旅行先に選んだ情報源（複数回答）(n=79)

40.0 30.0 20.0 10.0 0.0



“決め手”となった情報源（単一回答）(n=79)

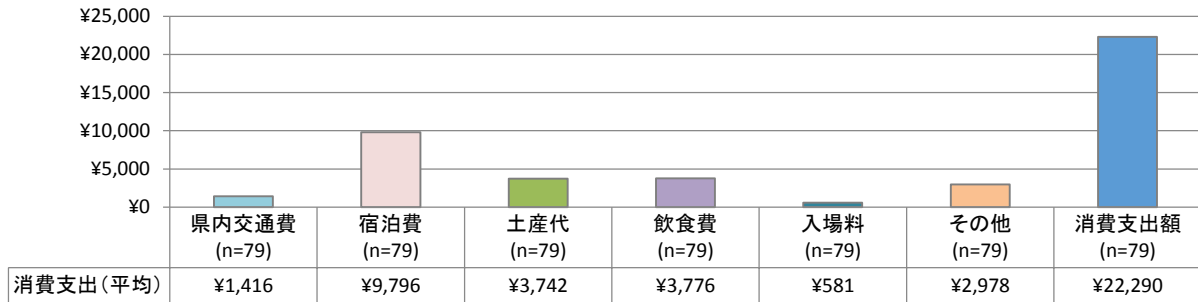
0.0 10.0 20.0 30.0



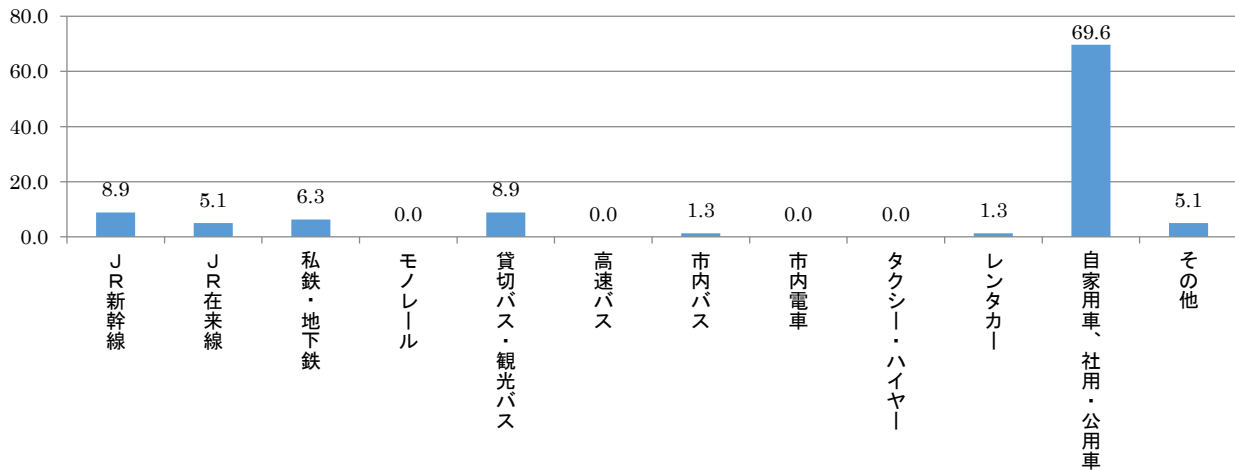
消費支出の平均は、総額で 22,290 円であった。利用交通機関は、「自家用車・社用・公用車」が 69.6%で最も多かった。

立ち寄り観光施設は、「鬼怒川温泉」が 13 人で最も多く、次いで「鑿阿寺」が 9 人であった。

消費支出（平均）



利用交通機関（複数回答）（n=79）



立ち寄り観光施設（n=485）※（ ）内は施設に立ち寄った人数

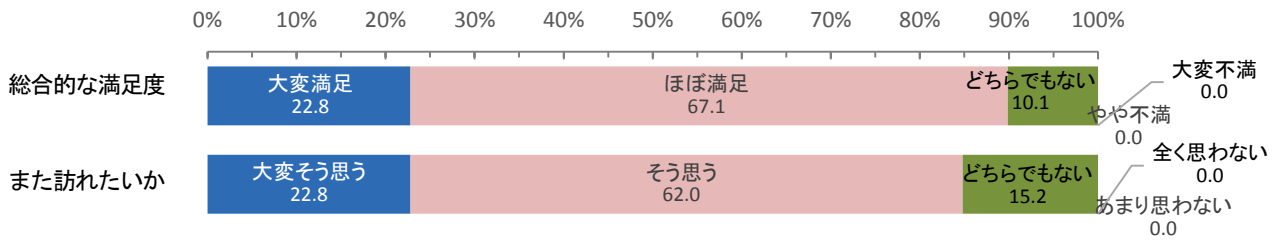
那須	県央	県南
塩原温泉郷 (5)	大谷資料館 (1)	鑿阿寺 (9)
那須どうぶつ王国 (3)	栃木県立美術館 (1)	佐野厄よけ大師 (5)
那須ガーデンアウトレット (1)		佐野プレミアム・アウトレット (5)
南ヶ丘牧場 (1)		あしかがフラワーパーク (4)
日光	県東	栗田美術館 (3)
鬼怒川温泉 (13)	ツインリンクもてぎ (1)	織姫公園 (2)
足尾銅山観光 (2)		とちぎあじさいまつり (2)
大笹牧場 (1)		とちぎ蔵の街美術館 (2)
二社一寺参拝者 (1)		太平山 (1)
川治温泉 (1)		出流山 (1)
		蔵の街遊覧船 (1)

※対象者が現在いる地点（調査地点）は立ち寄り観光施設にカウントしない。

足利学校（38）、佐野プレミアムアウトレット（22）、とちぎ山車会館（19）

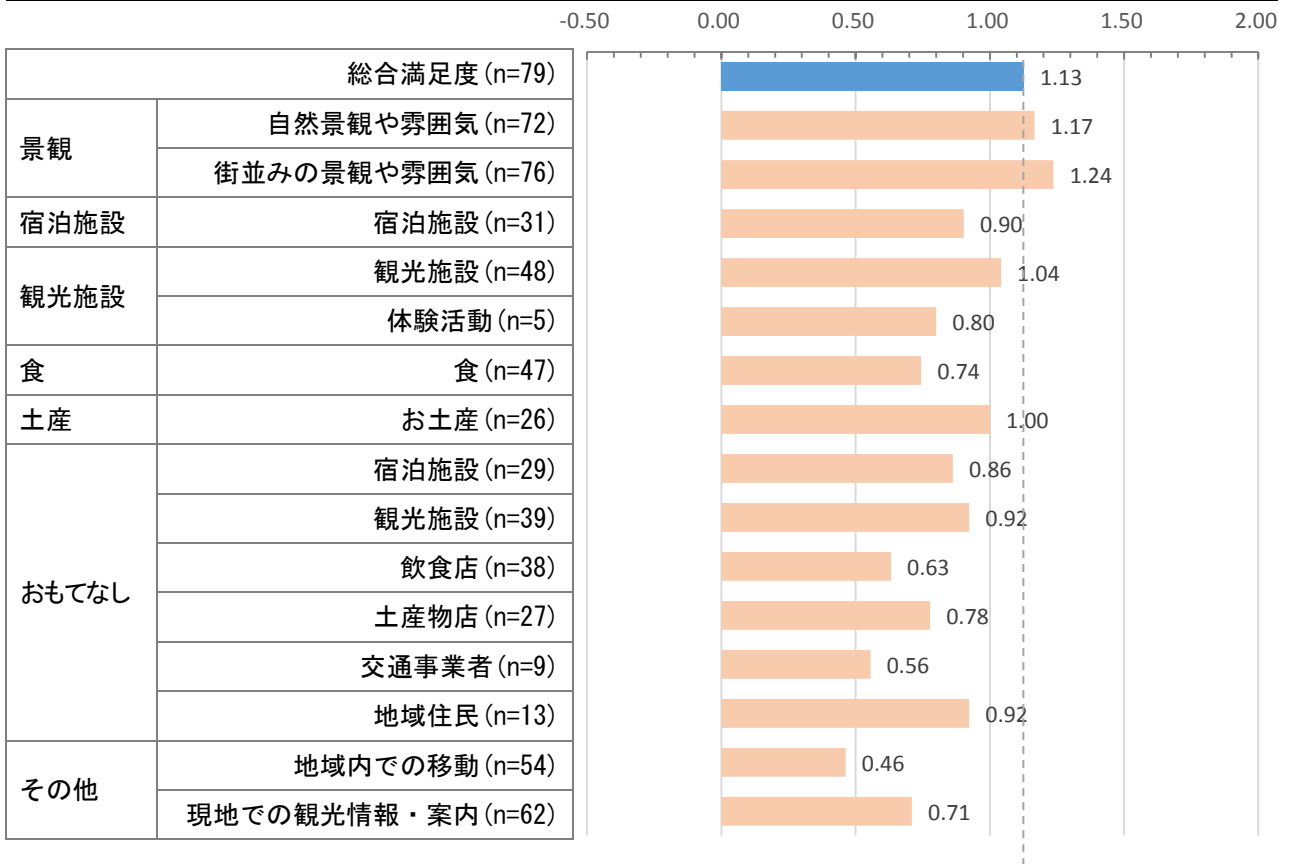
調査地域の総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた満足層が 89.9%であった。また訪れたいかは、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた再来訪意向層が 84.8%であった。

調査地域の総合満足度／再来訪意向 (n=217)



「総合満足度」は 1.13 であった。満足度を項目別にみると、「景観 街並みの景観や雰囲気」に対する満足度は 1.24 で最も高く、次いで「景観 自然景観や雰囲気」が 1.17%であった。

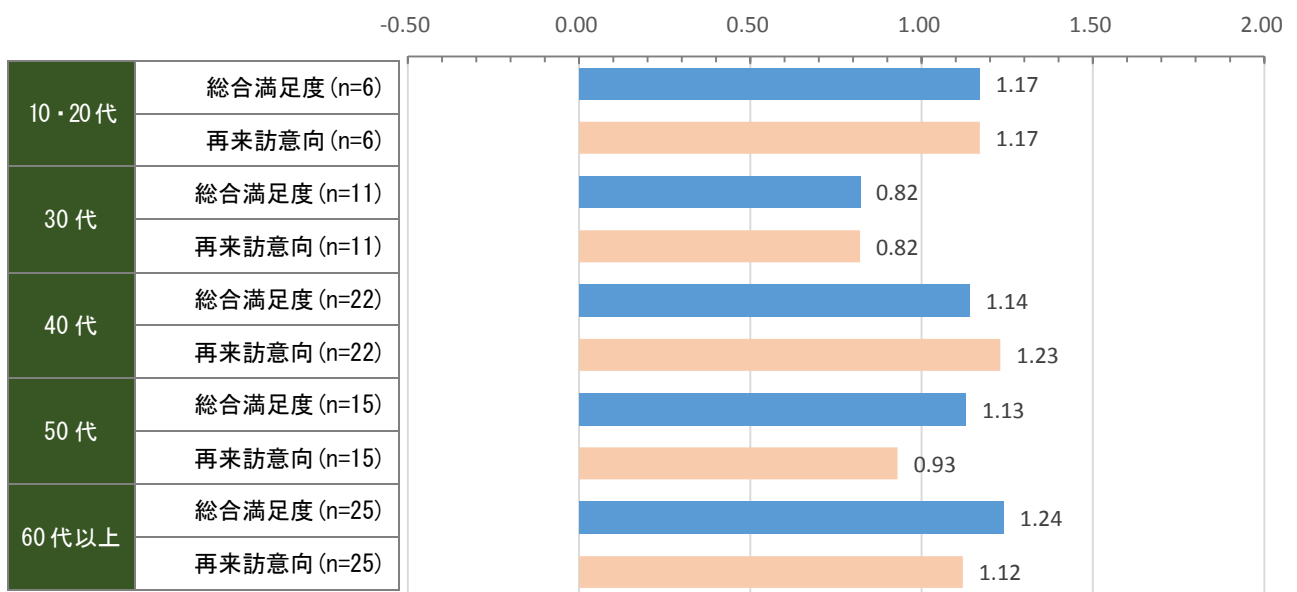
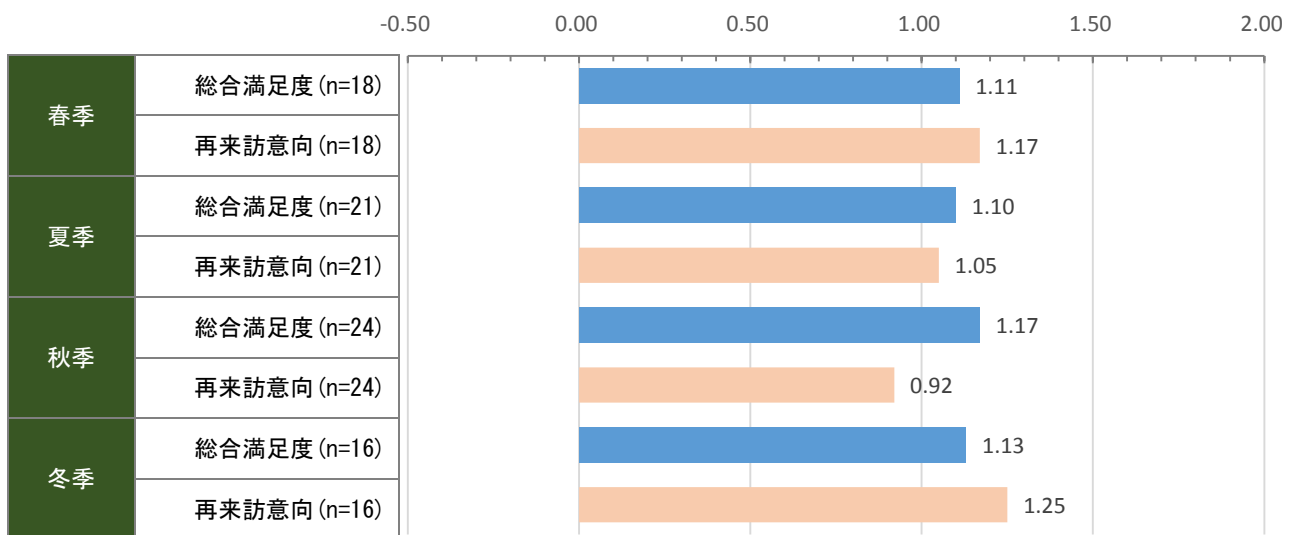
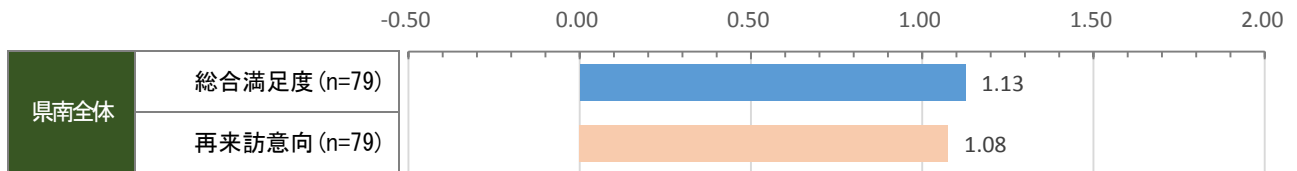
項目別満足度 (加重平均値)



調査地域の総合満足度／再来訪意向（季節別・年代別）

総合満足度を季節別にみると、「夏季」が1.23で最も高いが、四季をとおしてほぼ同様の傾向であった。また、再来訪意向は、「春季」が1.38で最も高かった。

年代別にみると、総合満足度は「60代以上」が1.24で最も高く、再来訪意向については、「40代」が1.23と最も高かった。



參考資料 調查票

平成 27 年度 栃木県観光動態調査

ようこそ栃木県へお越しくださいました。今回のご来訪を心から歓迎いたします。
 本調査は、県内の観光地をより一層満足いただけるものとしていくために、観光客の皆様の声をお聞かせいただくアンケート調査です。
 お手数ではございますが、ご協力をお願い申し上げます。

調査実施者：栃木県産業労働観光部観光交流課（電話028-623-3210）

※ 2人以上でいらしている場合には、どなたかお一人が代表してご記入ください。
 ※ 欄は具体的にご記入ください。その他は、該当する項目を選択してください。

問1. あなたのお住まい(都道府県・市町村)、性別、年代をお答えください。

お住まい	<input type="text"/> 都・道・府・県	<input type="text"/> 市・町・村	性別	1. 男性 2. 女性	
年代	1. 10歳未満 6. 50歳代	2. 10歳代 7. 60歳代	3. 20歳代 8. 70歳代	4. 30歳代 9. 80歳以上	5. 40歳代

問2. 今回の旅行の栃木県内での滞在時間や宿泊数をお答えください。

・日帰りの方 → 栃木県での滞在時間 時間

・宿泊の方 → 全宿泊数 泊

うち 栃木県内での宿泊数 泊

↓

	宿泊地域	宿泊施設 (宿泊施設の分類は 下表から選択)
一泊目	<input type="text"/>	<input type="text"/>
二泊目	<input type="text"/>	<input type="text"/>

【表】 宿泊施設の分類

①実家や知人・親戚宅	②旅館	③ホテル	④ペンション・民宿
⑤保養所・研修所	⑥キャンプ場	⑦(キャンプ場以外の)車中泊・交通機関内での宿泊	
⑧別荘・リゾートマンション	⑨会員制の宿泊施設	⑩その他	

問3. 今回の旅行の主要な目的は何ですか。該当するものに○をつけてください。※1つだけ

1. ビジネス	2. 観光
3. 帰省・知人訪問	4. (1～3のどれでもない) その他

問4. 現在いらっしゃる地域を旅行先に選んだ理由は何ですか。該当するものに○をつけてください。※いくつでも

1. 文化的な名所旧跡を見たいから	2. 自然景観を楽しみたいから
3. 観光・文化施設を訪れたいから	4. スポーツ施設(スキー場、プールなど)を訪れたいから
5. 保養・休養したいから	6. キャンプ・登山・ハイキングをしたいから
7. 体験活動(陶芸等)がしたいから	8. 温泉に入りたいから
9. 料理や土地の味覚を楽しみたいから	10. 買い物がしたいから
11. 地域の祭やイベントに参加したいから	12. 現地の人とふれあいたいから
13. 近いから	14. 交通の便がいいから
15. その他 ()	

問5. 今回の旅行の同行者の人数、ご関係についてお答えください。

同行者 人（※自分を含む）

（該当するものに○をつけてください。※1つだけ）

1. 子ども連れの家族旅行 2. 大人の家族旅行 3. 夫婦旅行 4. カップル旅行
5. 友人との旅行 6. 職場や団体などの旅行 7. ひとり旅 8. その他

問6. 栃木県への来訪回数、現在いらっしゃる地域への来訪回数についてお答えください。

該当するものに○をつけてください。※1つだけ

（1）栃木県への来訪回数（※栃木県民の方は回答不要です。）

1. 初めて 2. 二回目 3. 三回目 4. 四回目 5. 五回目以上

（2）現在地周辺への来訪回数（※周辺住民の方は回答不要です。）

1. 初めて 2. 二回目 3. 三回目 4. 四回目 5. 五回目以上

問7. 今回の旅行で訪れた栃木県内の観光地と移動に用いた交通機関をご記入ください。これから訪問する観光地についても予定をご記入ください。

※観光地は「栃木県観光マップ」を参考にご記入ください。また、交通機関は下表より番号をお選びください。

○居住地から調査地点まで

○調査地点から居住地まで

【表】交通機関

① J R 新幹線	② J R 在来線	③ 私鉄・地下鉄	④ モノレール	⑤ 貸切バス・観光バス
⑥ 高速バス	⑦ 市内バス	⑧ 市内電車	⑨ タクシー・ハイヤー	
⑩ レンタカー	⑪ 自家用車、社用・公用車	⑫ その他（飛行機、徒歩、2輪車等）		

問8. 今回の旅行で、栃木県の前に立ち寄った（又は後に立ち寄る予定の）都道府県があればご記入ください。

※交通機関は上表から選択

問9. 今回の旅行の一人当たりの費用(これから使う予定も含めて)を下欄の項目別にご記入ください。

※ 交通費は高速料金やガソリン代や駐車場代を含め、栃木県内分・栃木県外分を分けて記入してください。

※ 今回の旅行がパック旅行である場合、費用が栃木県内分のみか、栃木県外分を含むかを選択してください。

	使用費用	
	栃木県内分	栃木県外分
①交通費	円	円
②宿泊費	円	
③土産代	円	
④飲食費	円	
⑤入場料	円	
⑥その他	円	
⑦パック料金	円	← <input type="checkbox"/> 栃木県内分のみ <input type="checkbox"/> 栃木県外分含む

問10. 現在いらっしゃる地域を選んだ際の情報源は何ですか。該当するものに○をつけてください。※いくつでも

1. 以前来訪した際の自身の経験	2. 家族や友人知人からの紹介・推奨
3. 個人のブログやインターネット掲示板	4. 地域や施設の公式webサイトの情報
5. その他のwebサイトの情報	6. 旅行雑誌・ガイドブックの記事
7. 旅行会社の旅行パンフレット	8. テレビや映画での紹介、ロケ地情報
9. 旅行会社の店員からの勧め	10. 割引券や優待券
11. 自分の意志外(団体・ビジネス・帰省など)	12. 特に理由はないが、なんとなく
13. その他()	

問11. 問10の中で、選んだ“決め手”となったものを1つだけ選んで 内に記入してください。

問12. 実際に訪問されて、現在いらっしゃる地域の以下の項目の満足度はいかがでしたか。※それぞれ1つだけ

	大変良かった	まあまあ良かった	どちらでもない	やや悪かった	非常に悪かった	利用していない 該当しない
①自然景観や雰囲気	5	4	3	2	1	0
②街並みの景観や雰囲気	5	4	3	2	1	0
③宿泊施設	5	4	3	2	1	0
④観光施設	5	4	3	2	1	0
⑤体験活動	5	4	3	2	1	0
⑥食	5	4	3	2	1	0

		大変良かった	まあまあ良かった	どちらでもない	やや悪かった	非常に悪かった	利用していない 該当しない
⑦お土産		5	4	3	2	1	0
⑧おもてなし	宿泊施設	5	4	3	2	1	0
	観光施設	5	4	3	2	1	0
	飲食店	5	4	3	2	1	0
	土産物店	5	4	3	2	1	0
	交通事業者（バス・タクシー等）	5	4	3	2	1	0
	地域住民	5	4	3	2	1	0
⑨地域内での移動		5	4	3	2	1	0
⑩現地での観光情報・案内		5	4	3	2	1	0

問13. 実際に訪問されて、現在いらっしゃる地域の総合的な満足度はいかがでしたか。※1つだけ

大変満足	ほぼ満足	どちらでもない	やや不満	大変不満
5	4	3	2	1

問14. 現在いらっしゃる地域へまた訪れたいと思いますか。※1つだけ

大変そう思う	そう思う	どちらでもない	あまり思わない	全く思わない
5	4	3	2	1

問15. 以下の項目のうち、12都県と比べて、栃木県の魅力が1位だと感じるものを教えてください。※いくつでも
(宮城県、福島県、茨城県、群馬県、埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県、山梨県、静岡県、長野県、新潟県)

1. 魅力的な観光スポット・イベントがある	2. 魅力的な宿泊施設がある
3. 魅力的な温泉がある	4. 魅力的な食べ物がある（宿泊時の食事を除く）
5. 魅力的な自然・景観がある	6. 街歩きが楽しめる
7. 買い物が楽しめる	8. スポーツが楽しめる（ゴルフ、テニス、スキーなど）
9. アウトドアが楽しめる （登山、釣り、自転車、川遊びなど）	10. 各種体験が楽しめる （農業体験、フルーツ狩り、手作りなど）
11. 魅力的なレジャー施設がある （遊園地、テーマパークなど）	

(回答終了日時： 月 日 時 分)

☆☆ アンケートは以上です。御協力ありがとうございました。☆☆